



平成25年度

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2013

静岡市美術館年報 No.4

目 次

| | |
|---|----|
| 1. 基本理念・沿革 | |
| 1-1 基本理念 | 3 |
| 1-2 沿革 | 3 |
| 1-3 平成25(2013)年度事業一覧 | 4 |
| 2. 展覧会事業 | |
| 2-1 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 6 |
| 2-2 静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから | 13 |
| 2-3 はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 22 |
| 2-4 徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜 | 28 |
| 2-5 テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展 | 41 |
| 3. 交流事業(教育普及事業) | |
| 3-1 交流事業 | 52 |
| 1)ミュージアム教室・展示解説/2)Shizubi Project 3 わたし死としてのキノコ 今村源/3)Shizubiシネマアワー/4)ピーター・パラカンの「音を見る。アートを聴く。」/5)しずびオープンアトリエ/6)しずびチビッコプログラム/7)暦とあそぶワークショップ/8)プレゼントワークショップ/9)静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」/10)夜店市 | |
| 3-2 連携事業 | 63 |
| 4. 受託事業等 | |
| 4-1 受託事業 | 65 |
| 4-2 その他事業 | 67 |
| 5. 調査研究・研修受入等 | |
| 5-1 調査研究 | 68 |
| 5-2 研修受入等 | 69 |
| 5-3 博物館実習 | 69 |
| 5-4 視察等受入 | 70 |
| 6. 収蔵品・図書等 | |
| 6-1 収蔵品 | 71 |
| 6-2 画像貸出等 | 71 |
| 6-3 図書等 | 71 |
| 7. 広報活動 | |
| 7-1 広報印刷物 | 72 |
| 7-2 ウェブサイト | 73 |
| 7-3 施設広報記録 | 73 |
| 8. 管理運営 | |
| 8-1 利用者数 | 74 |
| 8-2 過去展覧会一覧 | 78 |
| 8-3 組織図・職員名簿 | 79 |
| 8-4 条例・施行規則 | 80 |
| 8-5 施設・建築概要 | 82 |

1. 基本理念・沿革

1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の25階建ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。

展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク



ロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広(アートディレクター)

1-2 沿革

平成18(2006)年

- 3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定
- 8月1日 有識者による「(仮称)静岡市立美術館基本計画懇話会」設置

平成19(2007)年

- 3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定
- 4月1日 「静岡市新美術館準備検討委員会」設置(委員長：白井嘉尚静岡大学教授)
- 6月5日 「第1回静岡市新美術館準備検討委員会」開催以降、平成21(2009)年3月23日まで計7回開催
- 7月4日 「葵タワー」着工

平成20(2008)年

- 3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年

- 7月8日 美術館内装建築工事着工 [内装設計：(株)丹青研究所、内装建築工事：(株)木内建設]
- 7月16日 静岡市美術館条例制定
- 11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年

- 3月24日 静岡市が(財)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定
- 3月31日 「葵タワー」竣工
- 4月1日 「葵タワー」オープン
- 4月21日 静岡市美術館竣工
- 5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催
9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施
- 10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催
- 10月2日 開館記念展<I> 「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催(-11月28日)

平成23(2011)年

- 5月9日 当館のヴィジュアル・アイデンティティ(含：ロゴマーク)が「ワンショウ(ONE Show)」の銀賞を受賞

平成24(2012)年

- 1月4日 当館エントランスに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」が設置され、除幕式を実施

平成25(2013)年

- 9月14日 来館100万人達成記念式典を実施

※過去展覧会一覧については、78-79頁を参照。

1-3 平成25(2013)年度事業一覧

| | 展覧会 | 交流事業 |
|-------------|---|--|
| 平成25(2013)年 | | |
| 4月 | 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 4月20日-6月23日<開館57日間> | 1日 Kids Art Project Shizuoka (-3月31日) 28日 暦とあそぶワークショップ vol.4 「こどもの日だ! 家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」 |
| 5月 | | 4日 Shizubiシネマアワー vol.8「猫」①『ティファニーで朝食を』 12日 プレゼントワークショップ vol.8 「母の日だ! 2世代で贈るプレゼントづくり」 25日 しずびチビッコプログラム① |
| 6月 | | 8日 Shizubiシネマアワー vol.8「猫」②『ネコを探して』 9日 Shizubiシネマアワー vol.8「猫」③『こねこ』 16日 プレゼントワークショップ vol.9 「父の日だ! 2世代で贈るプレゼントづくり」 29日 暦とあそぶワークショップ vol.5 「七夕の準備をしよう」 |
| 7月 8月 | 静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから 6月29日-8月25日<開館51日間> | 27日 しずびチビッコプログラム② 1日 しずびオープンアトリエ 「ルドンの“色”とあそぼう!」(-8月18日) 6日 Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源(-10月27日) 7日 Shizubi Project 3 関連事業 今村源 アーティストトーク 16日 夜店市(-18日) |
| 9月 | はじめての美術 絵本原画の世界2013 9月14日-10月27日<開館38日間> | 1日 Shizubi Project 3 関連事業 記念対談&ライブ 21日 Shizubi Project 3 関連事業 ミュージアム・カフェ・トーク 「キノコの教え」 |
| 10月 | | 1日 静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」 (-3月31日) 6日 しずびチビッコプログラム③-1 13日 しずびチビッコプログラム③-2 20日 ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」⑦ 「絵本を聴く」 |
| 11月 12月 | | 23日 しずびチビッコプログラム④ 7日 プレゼントワークショップ vol.10 「クリスマスの準備をしよう」子ども編 14日 プレゼントワークショップ vol.10 「クリスマスの準備をしよう」大人編 23日 Shizubiシネマアワー vol.9 『月世界旅行』&『メリエスの素晴らしき映画魔術』 |
| 平成26(2014)年 | | |
| 1月 | テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展 1月2日-3月30日<開館76日間> | 18日 暦とあそぶワークショップ vol.6 「節分の準備をしよう!」子ども編 25日 暦とあそぶワークショップ vol.6 「節分の準備をしよう!」大人編 |
| 2月 | | 2月・3月の毎週土・日曜日(※2月22日、23日は除く) しずびオープンアトリエ「シャガール展」 2日・11日 「めぐりアート静岡」展関連事業 松澤有子 作品制作ワークショップ 8日 Shizubiシネマアワー vol.10「バレエ・ドキュメンタリー特集」① 『バリ・オペラ座のすべて』 9日 Shizubiシネマアワー vol.10「バレエ・ドキュメンタリー特集」② 『バレエ・リュス 踊る喜び、生きる喜び』 22日 暦とあそぶワークショップ vol.7 「ひな祭りだ! オリジナル“つるし飾り”をつくろう」親子編 23日 暦とあそぶワークショップ vol.7 「ひな祭りだ! オリジナル“つるし飾り”をつくろう」大人編 |
| 3月 | | 4日 「めぐりアート静岡 ワタシとアートは/きっとどこかで/つ ながっている」(-23日)・関連事業 アーティスト・トーク 21日 しずびチビッコプログラム⑤ |
| | | |

2. 展覧会事業 目次

| | |
|---|----|
| 2-1 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・ダ・ヴィンチとパリ 1913-1931 | 6 |
| 2-2 静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから | 13 |
| 2-3 はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 22 |
| 2-4 徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜 | 28 |
| 2-5 テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展 | 41 |

<凡例>

1. 事業にかかる、各団体等の名称を含む固有名詞については、展覧会ごとの表記に従った。
1. 各展覧会末尾に付した「作品リスト」についても、展覧会ごとの表記を尊重した。

2. 展覧会事業

2-1 藤田嗣治 渡仏100周年記念

レオナルド・フジタとパリ 1913-1931

会期：4月20日(土) - 6月23日(日)

概要：今からちょうど100年前の1913年、26歳の藤田嗣治(レオナルド＝ツグハル・フジタ、1886-1968)は画家を志してフランスへ渡った。芸術の都パリに世界中から詩人や音楽家、画家、モデルたちが集まり、モンパルナスのカフェでは芸術談義が繰り広げられていた時代のことである。若き日の藤田もその狂騒に飛び込み、自らの芸術を探求した。ピカソやルソーの作品を目の当たりにし、モディリアアーニらの画家仲間たちと親しく交わっては刺激を受けた藤田がたどり着いたのは、なめらかな白い地塗りの上に細く繊細な墨線を駆使する描法であった。裸婦や猫の描かれた独特の絵肌は、「素晴らしき乳白色の地」と賞賛され、西洋と日本の伝統を融合させたとして高い評価を受けた。こうしてサロン・ドートヌヌでの発表やフランスをはじめとする各国での個展などを通じて国際的画家としての活躍が始まる。

本展は、藤田が初めて渡仏した1913年からラテンアメリカへ旅立つ1931年までに焦点をあて、フランスおよび日本各地から集められた作品139点により構成された。初公開を含む絵画や書簡などの資料によって、エコール・ド・パリの寵児「フジタ」誕生までの軌跡と、その黄金期の名作を紹介すると同時に、パスキンやキスリング、ローランサンら藤田と時代を分かち合った芸術家たちの作品をあわせて展示し、幾多の才能を世に送り出した往時のパリの雰囲気も伝えた。

巡回先：熊本県立美術館、北九州市立美術館、美術館「えき」KYOTO、秋田県立美術館、岡山県立美術館

主催：静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

特別協賛：セキスイハイム東海

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館 アンスティチュ・フランセ日本、静岡日仏協会

協力：日本航空

企画協力：株式会社ブレイントラスト

観覧料：一般 1,200円(1,000円)

大高生・70才以上 800円(600円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

観覧者数：22,451人(有料16,560人、無料5,891人、有料率73.76%)

出品点数：139点(資料等を含む)

印刷物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 115kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 65,000部

2)ポスター

<仕様>紙：ヴァンヌーボV スノーホワイト 135kg

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,320部、B3 1,000部



チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>220×276mm、233頁



カタログ表紙

カラー図版150点

参考図版(カラー39点、モノクロ75点)

シルヴィー・ピュイッソン「藤田とパリ、夢を叶える都」
ソフィー・クレップス「藤田とエコール・ド・パリ」
ヤン・ル・ピジョン「藤田、税関吏ルソーを発見し、重なり合う」
村上哲「藤田嗣治の手紙—妻のとみに宛てた渡仏後(1913-1916年)の初期書簡類」
村上哲「美の系譜を泳ぐ—藤田嗣治をめぐる造形の継承と変容」

年表/作家解説/文献目録/展覧会歴/関連地図 等

編集：村上哲、プレーン・トラスト

翻訳：田中佳(徳島大学総合科学部准教授)、田中麻野

編集協力：須賀百恵

発行：藤田嗣治渡仏100周年記念「レオナルド・フジタとパリ

1913-1931」カタログ委員会

発行年：2013年

普及ツール：1)音声ガイド 2)記念撮影パネル

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)店舗用DMの配布

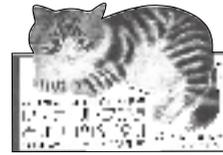
周辺店舗に展覧会DMを配布。DM持参の来場者には、オリジナル缶バッジを進呈した。

制作物：

◆DM

<仕様>紙：ヴァンヌーボV スノーホワイト 235kg

サイズ・加工・数量：100×148mm 型抜き加工
15,000部



DM表



DM裏

◆缶バッジ φ32mm

1,000個



5月16日 来場者1万人達成

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「静岡市美術館 フジタ展が開幕」静岡放送『静岡新聞ニュース』、4月20日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ゆうラジ! Radio魂』、4月23日放送。
- ・「展覧会紹介」K-mix『Rainbow Fly-Day DX』、4月26日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリンパルホットライン』、5月23日放送。
- ・「週末ここ行こう 雨の日も楽しくお街に出かけよう レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 6月23日(日)まで開催 静岡市美術館」静岡放送『イブニングアイ』、5月31日放送。
- ・BS朝日『藤田嗣治・秋田への夢旅 地を泳ぎ、天を歩く』、9月22日放送。(※作品展示風景の紹介)

2) 新聞

- ・「静岡市で藤田嗣治展を開催」『毎日新聞』名古屋版、4月5日。
- ・「「裸婦」や書簡など100点 20日から静岡で 藤田嗣治 渡仏100周年展」『毎日新聞』静岡版、4月11日。
- ・「「レオナルド・フジタとパリ」展 作品115点を搬入 20日から静岡市美術館」『静岡新聞』、4月17日。
- ・山本香瑞子「藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931(上) 藤田嗣治(1927年撮影) 強烈な個性放つ風貌」『静岡新聞』(夕刊)、4月17日。
- ・山本香瑞子「藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931(中) 「2人の少女と人形」 いちぢな思い漂わせ」『静岡新聞』(夕刊)、4月18日。

- ・山本香瑞子「藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931(下) 「裸婦」 栄光を築いた乳白色」『静岡新聞』(夕刊)、4月19日。
- ・「藤田嗣治の独創的世界 静岡市美術館 きょうから一般公開」『静岡新聞』、4月20日。
- ・「「レオナルド・フジタとパリ」 「乳白と墨線」描法堪能 静岡市美術館一般公開始まる」『静岡新聞』、4月21日。
- ・「レオナルド・フジタとパリ展 入場1万人を達成 静岡市美術館」『静岡新聞』、5月17日。
- ・「展覧会およびシルヴィ・ビュイッソンさん特別講演会紹介」『静岡新聞』、5月19日。
- ・増田愛子「エコール・ド・パリの寵児の軌跡 藤田嗣治、西欧で生き抜く 模索の時期も」『朝日新聞』(夕刊)全国版、5月29日。
- ・高野清見「フジタの「周辺」にも焦点 相次ぐ展覧会 書簡・挿絵紹介」『読売新聞』全国版、5月30日。

3) 雑誌他

- ・「Special Exhibition 2 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」『月刊ギャラリー』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『いけ花龍生』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊MOE』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『メンズクラブ』、7月号。
- ・「art news 藤田嗣治が、世界のフジタになるまで」『芸術新潮』、5月号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- 「Yahoo!JAPAN」,「Japan Design Net」,「artscape」,「静岡市ホームページ」

関連事業：

1) 特別記念講演会

「レオナルド・フジタ-渡仏100周年を記念して パリに受け入れられ、賞賛を集めたフジタ」

概要：フジタのカタログ・レゾネ執筆者として知られ、本展のフランス側監修者でもあるシルヴィ・ビュイッソン氏を迎え、藤田嗣治の人と芸術、本展の趣旨などについての講演会を実施した。

日時：4月20日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：110人

講師：シルヴィ・ビュイッソン(フジタ作品総合カタログ著者・フランス鑑定家協会パリメンバー・元モンパルナス美術館代表学芸員・本展フランス側監修者)※通訳：須賀百恵



2)スライドトーク&ギャラリーツアー

概要：本展日本側企画／監修者の村上哲氏を講師に迎え、藤田嗣治の初期を中心に、時代背景や作風の変遷、交友関係や本展の企画意図についてのスライドレクチャー及び同氏による本展の見どころや名品についての解説を展示室で実施した。

日時：4月20日(土)9:00-

会場：多目的室・展示室 **参加者数：**62人

講師：村上哲氏(熊本県立美術館学芸課主幹・本展日本側企画/監修者)

参加料：展覧会観覧料



3)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。

日時：5月18日(土)、6月15日(土)

いずれも 14:00-

会場：展示室 **参加者数：**計80人

参加料：展覧会観覧料



4)記念講演会

「フジター第一次大戦直前から狂乱の20年代のパリを生き抜いた日本人画家」

概要：藤田研究の第一人者である林洋子氏を講師に迎え、二度の大戦が画家・藤田嗣治に及ぼした影響という観点から最新の研究成果を盛り込んだ講演会を開催した。

日時：6月1日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**100人

講師：林洋子氏(京都造形芸術大学准教授)

主要広報記録：

◆新聞

・「「疎外感強く意識」「レオナルド・フジタとパリ」展 林准教授が解説」『静岡新聞』、6月2日。



作品リスト

※出品番号 35、49、66、68、77、84、86、91の作品は静岡会場に未出品。
※[No.]は図録の番号と一致する。

第I章：渡仏以前——画家への道

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|------|--|----------|--------|----------|---------------|--------|
| 1 | 藤田嗣治 | にわとりとタマゴ | c.1901 | 油彩・カンヴァス | 22×16 | 個人蔵、パリ |
| 2 | 藤田嗣治 | 自画像 | 1910 | 油彩・カンヴァス | 59×43.5 | 東京藝術大学 |
| 3 | 藤田嗣治 | 三保の松原 | 1912 | 油彩・板 | 23×32.5 | 個人蔵 |
| 4 | 藤田嗣治 | 京城の眺め | 1913 | 油彩・板 | 23×16 | 個人蔵 |
| 藤田嗣治 | 妻・とみ宛て書簡 1913年：6月船中・神戸発書簡、6月29日船中発書簡、8月15日パリ発書簡、10月26日パリ発書簡、10月31日パリ発書簡 1914年：2月10日パリ発書簡、3月11日パリ発書簡、3月21日パリ発書簡および同封の絵葉書、4月22日パリ発書簡に同封の絵葉書、8月7日モンフェルメイユ発書簡に同封の絵葉書 1915年：3月28日パリ発書簡に同封の写真、4月17日パリ発書簡に同封の写真、11月28日マルザック発封筒、11月30日マルザック発封筒 藤田がとみに送った雑誌、パンフレット類 『フェミナ』、『ミロワール』、『シフォン』、『イリュストラシオン』、オペラ・コミック座のパンフレット | | | | | |

第II章：模索の時代——パリの潮流の中で

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|------------------------|------|---------------|---------------|---------------------|
| 5 | 藤田嗣治 | 人形をつくるマリー・ヴァシリエフ | 1914 | 鉛筆・紙 | 15×17 | 個人蔵 |
| 6 | 藤田嗣治 | レイニャックの眺め | 1915 | 油彩・カンヴァス | 33×41.2 | 個人蔵 |
| 7 | 藤田嗣治 | マルザック城の入口 | 1915 | グワッシュ、水彩、鉛筆・紙 | 48×31 | 個人蔵 |
| 8 | 藤田嗣治 | マルザック城のサロン | 1915 | グワッシュ、水彩、鉛筆・紙 | 31×48 | 個人蔵 |
| 9 | 藤田嗣治 | ジャン・コクトーの肖像 | 1916 | 水彩、鉛筆・紙 | 26×19 | 個人蔵 |
| 10 | 藤田嗣治 | 髭のある男 | 1916 | 水彩、鉛筆・紙 | 28×20 | 個人蔵 |
| 11 | 藤田嗣治 | チャーナ・オルロフの肖像 | 1917 | 黒鉛、色鉛筆・紙 | 20×12 | 個人蔵 |
| 12 | 藤田嗣治 | 女の肖像(おそらくはジャンヌ・エビュテルヌ) | 1916 | 水彩、墨・紙 | 17×13.5 | 個人蔵/協力:ギャルリー・ルサル、パリ |

第III章：成功への階段——パリ美術界へのデビュー

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|----------------|------|------------------|---------------|-------------|
| 13 | 藤田嗣治 | 煙突のある想像上の風景 | 1917 | 油彩・板 | 18.7×23.8 | シャノア・コレクション |
| 14 | 藤田嗣治 | 赤い帆、コンカルノーの港 | 1917 | 油彩・カンヴァス | 39×47 | 個人蔵 |
| 15 | 藤田嗣治 | アブサンを飲む人 | 1917 | 水彩、グワッシュ、墨・紙 | 38.5×25.5 | 個人蔵、フランス |
| 16 | 藤田嗣治 | 手を組む若い女性 | 1917 | 水彩・紙 | 57.5×24 | 個人蔵、パリ |
| 17 | 藤田嗣治 | 夢想と鳩 | 1917 | 水彩、墨・紙 | 30.5×27.5 | 個人蔵、パリ |
| 18 | 藤田嗣治 | 風景の中のヴェールの女 | 1917 | 水彩・紙 | 30×22.5 | 個人蔵、パリ |
| 19 | 藤田嗣治 | 青衣の若い女 | 1917 | 水彩・紙 | 42×21.5 | 個人蔵、パリ |
| 20 | 藤田嗣治 | カップル | 1917 | 水彩、墨・紙 | 19.5×27.5 | 個人蔵、パリ |
| 21 | 藤田嗣治 | ダンス | 1917 | 水彩・紙 | 28×44 | 個人蔵、パリ |
| 22 | 藤田嗣治 | 春(扇のための図案) | 1917 | 水彩、金箔・扇 | 25×52.5 | 個人蔵、パリ |
| 23 | 藤田嗣治 | 碁を打つ人々 | 1917 | 水彩・紙 | 38×37 | 個人蔵、パリ |
| 24 | 藤田嗣治 | 酒 | 1917 | 水彩、墨・紙 | 50×40 | 個人蔵、パリ |
| 25 | 藤田嗣治 | 鳥のキス | 1917 | 水彩、墨・紙 | 55×40 | 個人蔵、パリ |
| 26 | 藤田嗣治 | バラを持つ若い女 | 1917 | 水彩、墨・紙 | 25.5×32 | 個人蔵、パリ |
| 27 | 藤田嗣治 | 花に水を遣る若い女 | 1917 | 水彩、墨・紙 | 33×26 | 個人蔵、パリ |
| 28 | 藤田嗣治 | マラコフ風景 | 1917 | 油彩・カンヴァス | 45.7×55.2 | 個人蔵、パリ |
| 29 | 藤田嗣治 | 白百合 | 1917 | 水彩、墨・紙 | 40×32.5 | 個人蔵、パリ |
| 30 | 藤田嗣治 | 鶴 | 1917 | 水彩・墨・金箔を貼った紙 | 30×38.5 | 個人蔵、パリ |
| 31 | 藤田嗣治 | 3人の踊り子 | 1917 | 水彩、グワッシュ、金箔を貼った紙 | 41.4×33.3 | 個人蔵 |
| 32 | 藤田嗣治 | 黒猫と虎猫(扇) | 1917 | 水彩、グワッシュ、金箔を貼った紙 | 28×51 | 個人蔵、パリ |
| 33 | 藤田嗣治 | ふたりの少女と人形 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 65×54 | 個人蔵 |
| 34 | 藤田嗣治 | 聖母子 | 1918 | 水彩、金箔を貼った紙 | 42×23 | 個人蔵、パリ |
| 36 | 藤田嗣治 | 黒いシャツを着た少年 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 41.5×24.5 | 個人蔵 |
| 37 | 藤田嗣治 | 少女 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 35×27.5 | パリ市立近代美術館 |
| 38 | 藤田嗣治 | カーニュ、シェロンへの手紙 | 1918 | 水彩、墨・紙 | 26.5×33.5 | 個人蔵、フランス |
| 39 | 藤田嗣治 | カーニュの風景 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 39×47 | 個人蔵 |
| 40 | 藤田嗣治 | アルクイユの門 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 38.3×46 | 個人蔵、ドイツ |
| 41 | 藤田嗣治 | 日本人形 | 1920 | 油彩・カンヴァス | 41×33 | 個人蔵 |
| 42 | 藤田嗣治 | 郊外の風景、赤いドレスの少女 | 1920 | 油彩・カンヴァス | 16×27 | 個人蔵 |
| 43 | 藤田嗣治 | 十字架降下 | 1920 | 写真真版・紙 | 42.5×60 | 個人蔵、パリ |

第IV章：栄光の時代——エコール・ド・パリの寵児

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|----------|------|---------------|---------------|---------|
| 44 | 藤田嗣治 | 鏡を見る女 | 1922 | 水彩、グワッシュ、金箔・紙 | 26×22 | 個人蔵 |
| 45 | 藤田嗣治 | パイプのある静物 | 1922 | 油彩・カンヴァス | 20.5×28.4 | 個人蔵 |
| 46 | 藤田嗣治 | 横たわる裸婦 | 1922 | 油彩・カンヴァス | 72.5×116 | ニーム美術館 |
| 47 | 藤田嗣治 | 裸婦 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 144×87.5 | フォール美術館 |

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|-------------------------------------|------|---------------------------|---------------|--------------------------|
| 48 | 藤田嗣治 | 横たわる女 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 50.5×61 | 個人蔵 |
| 50 | 藤田嗣治 | 腕を上げた裸婦 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 80.6×44.8 | 横浜美術館 |
| 51 | 藤田嗣治 | 五人の裸婦 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 169×200 | 東京国立近代美術館 |
| 52 | 藤田嗣治 | ロジータ・ド・ガネイ伯爵夫人の肖像 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 98×80 | 個人蔵 |
| 53 | 藤田嗣治 | ヴァイオリンを持つこども | 1923 | 油彩・カンヴァス | 116×73 | 熊本県立美術館 |
| 54 | 藤田嗣治 | ベッチ=ブルント伯爵と伯爵夫人、その子どもたち | 1923 | 油彩・カンヴァス | 145×112 | 個人蔵 |
| 55 | 藤田嗣治 | 少女 | 1923 | 油彩・カンヴァス | 33×22 | 個人蔵 |
| 56 | 藤田嗣治 | アトリエの自画像 | 1923 | エッチング・紙[ヴォラール版] | 40×30 | 個人蔵、パリ |
| 57 | 藤田嗣治 | 子どもと犬 | 1924 | 油彩・カンヴァス | 90×114 | 個人蔵 |
| 58 | 藤田嗣治 | 《子どもと犬》のための習作 | 1924 | 墨(赤、黒)・紙 | 55×39.5 | 個人蔵、パリ |
| 59 | 藤田嗣治 | アモール(クビド) | 1924 | エッチング・紙 | 50×36 | 個人蔵、パリ |
| 60 | 藤田嗣治 | 読書 | 1924 | 墨・紙 | 19×15.5 | 個人蔵、パリ |
| 61 | 藤田嗣治 | 祈る若い女 | 1924 | エッチング・紙 | 31×24 | 個人蔵、パリ |
| 62 | 藤田嗣治 | 祈る若い女 | 1924 | 水彩、グワッシュ・紙 | 32×24 | 個人蔵 |
| 63 | 藤田嗣治 | 女 | 1924 | 墨・紙 | 38.1×24.9 | コレクション・ギャルリー・カンテセン、ユトレヒト |
| 64 | 藤田嗣治 | 女ともだち | 1925 | 油彩・カンヴァス | 45×55 | 個人蔵 |
| 65 | 藤田嗣治 | 坐る裸婦 | 1925 | 油彩・カンヴァス | 73×60 | アンドレ・マルロー美術館、ル・アーヴル |
| 67 | 藤田嗣治 | バラを持つ若い女 | 1925 | エッチング・紙 | 23×17 | 個人蔵、パリ |
| 69 | 藤田嗣治 | アモールとイルカ | 1926 | 墨(赤、黒)・紙 | 50×37 | 個人蔵 |
| 70 | 藤田嗣治 | 静物 | 1926 | 油彩・カンヴァス | 24×32.6 | 個人蔵 |
| 71 | 藤田嗣治 | 葉巻のある静物 | 1926 | 油彩・カンヴァス | 24.3×33 | 邪夢コレクション |
| 72 | 藤田嗣治 | 山田キクの肖像 | 1926 | 絹本着色 | 50×27.5 | フレンケル夫妻コレクション |
| 73 | 藤田嗣治 | くつろぐユキ | 1926 | 墨・紙 | 42×32 | 個人蔵 |
| 74 | 藤田嗣治 | 猫 | 1926 | 水彩、墨・紙 | 28.5×20 | |
| 75 | 藤田嗣治 | 『…風に』(26点組) | 1926 | | | 吉井画廊 |
| -1 | | フェルナン・レジェ風に 円筒のフォルムの女 | | グワッシュ・紙 | 22×16 | |
| -2 | | ポール・ゴーギャン風に タヒチの女 | | グワッシュ・紙 | 12×20.5 | |
| -3 | | モーリス・ユトリロ風に 通りの女たち | | グワッシュ・紙 | 16×23.5 | |
| -4 | | ジョルジュ・ブラック風に コンポジションーパイプ、グラス、ギター、洋梨 | | グワッシュ・紙 | 16×24.5 | |
| -5 | | ポール・シニャック風に 港の船 | | 色鉛筆・紙 | 15.5×24 | |
| -6 | | カミーユ・ピサロ風に 庭の農婦 | | グワッシュ・紙 | 12×15 | |
| -7 | | ラウル・デュフィ風に 船を眺める人たち | | 水彩・紙 | 15×23 | |
| -8 | | アルベール・マルケ風に セーヌ川とノートル・ダム寺院 | | グワッシュ・紙 | 15×18 | |
| -9 | | アルフレッド・シスレー風に 田園の中の汽車 | | グワッシュ・紙 | 11×17 | |
| -10 | | モーリス・ド・ヴラマンク風に 田園風景 | | 水彩・紙 | 18×21 | |
| -11 | | ヨンキント風に 海辺 | | グワッシュ・紙 | 16×19.5 | |
| -12 | | ジュール・パスキン風に 女と2人の少女 | | 水彩、インク・紙 | 15×17 | |
| -13 | | キース・ヴァン・ドンゲン風に エレガントな女と猫 | | インク、鉛筆・紙 | 26.5×15 | |
| -14 | | アンドレ・ドララン風に 黒髪の女 | | グワッシュ・紙 | 19×14 | |
| -15 | | ジャン=ルイ・フォラン風に 片眼鏡の男 | | 水彩・紙 | 22×18 | |
| -16 | | レンブラント風に 読書する聖人 | | 水彩、インク・紙 | 21×18.5 | |
| -17 | | オーギュスト・ロダン風に 後ろ姿の裸婦 | | 水彩、鉛筆・紙 | 17×13 | |
| -18 | | ザツキン風に 裸の男 | | 鉛筆・紙 | 24×16 | |
| -19 | | アンリ・マティス風に 窓辺で書きものをする女 | | インク・紙 | 22×18 | |
| -20 | | ジャン・コクトー風に 横顔、子どもと瓶 | | 水彩、インク・紙 | 20×11 | |
| -21 | | マリー・ローランサン風に 若い女 | | 水彩、インク・紙 | 21.5×18 | |
| -22 | | パスキン風に 3人の裸婦 | | 鉛筆・紙 | 25×19 | |
| -23 | | アンリ・マティス風に 肘掛け椅子に坐る裸婦 | | グワッシュ・紙 | 18×13 | |
| -24 | | オーギュスト・ルノワール風に 裸婦 | | グワッシュ・紙 | 24×17 | |
| -25 | | キース・ヴァン・ドンゲン風に 真珠のネックレスをつけた女の顔 | | 水彩、インク・紙 | 24×16 | |
| -26 | | キース・ヴァン・ドンゲン風に ニンフ | | 色鉛筆・紙 | 24×16 | |
| 76 | 藤田嗣治 | 横たわる裸婦、ユキ | 1927 | 油彩・カンヴァス | 41×33.5 | ベン・アー・フィーマン・コレクション |
| 78 | 藤田嗣治 | 猫のいる自画像 | 1927 | ドライポイント・紙 [ルーヴル美術館銅版画工房版] | 54.5×44.5 | 個人蔵、パリ |
| 79 | 藤田嗣治 | ポーズの合間に休むキキ | 1928 | 鉛筆・紙 | 97×70 | 個人蔵、パリ |
| 80 | 藤田嗣治 | タイタンの墜落 | 1928 | 鉛筆・紙 | 92.5×147 | 個人蔵 |

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|--------|------|----------|---------------|----------|
| 81 | 藤田嗣治 | 戦う人々 | 1928 | 鉛筆・紙 | 128×123 | 個人蔵 |
| 82 | 藤田嗣治 | 戦う人々 | 1928 | 鉛筆・紙 | 70×120 | 個人蔵 |
| 83 | 藤田嗣治 | まどろむユキ | 1928 | 墨・紙 | 24×30.8 | 個人蔵 |
| 85 | 藤田嗣治 | 少女と鳥 | 1929 | 油彩・カンヴァス | 37×27 | 邪夢コレクション |
| 87 | 藤田嗣治 | 横たわる裸婦 | 1930 | 鉛筆・紙 | 98.5×169.5 | 個人蔵 |

第V章：新たなる旅立ち——マドレーヌとともに

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ,cm) | 所蔵先 |
|-----|------|-----------|------|----------|---------------|------------------|
| 88 | 藤田嗣治 | マドレーヌの肖像 | 1931 | 水彩・紙 | 44×33 | 個人蔵 |
| 89 | 藤田嗣治 | ブスケットの肖像 | 1931 | 水彩・紙 | 40×30 | 個人蔵 |
| 90 | 藤田嗣治 | 眠れる女 | 1931 | 油彩・カンヴァス | 74.4×125 | 公益財団法人平野政吉美術財団 |
| 92 | 藤田嗣治 | 大型馬車と自転車 | 1931 | 水彩・墨・紙 | 21×26.5 | ルヴァンタル・コレクション、パリ |
| 93 | 藤田嗣治 | 横たわるマドレーヌ | 1934 | 水彩・墨・紙 | 41×52.5 | 個人蔵 |

藤田が交友した芸術家たち

| No. | 作家名 | 題名 | 制作年 | 技法・支持体 | 寸法 (タテ×ヨコ×高さ,cm) | 所蔵先 |
|-----|--------------------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------|------------------|----------------------------|
| 94 | アンリ・ルソー (税関吏ルソー) | 田園風景 | 1875/80 | 油彩・カンヴァス | 37.9×45.8 | ビエール&マーガレット・ゲネガン・コレクション、パリ |
| 95 | アンリ・ルソー (税関吏ルソー) | パティニョール界限 | 1880-90 | 油彩・厚紙で裏打ちされた紙 | 25×28.8 | ヤン・ル・ビション・コレクション、フランス |
| 96 | アンリ・ルソー (税関吏ルソー) | 待ち伏せる虎 | c.1905-1910 | 油彩・カンヴァス | 80.3×60.2 | 個人蔵 |
| 97 | マックス・ジャコブ | 日本的な情景 | 1917 | グワッシュ、水彩・紙 | 22×28.5 | ベン・アー・フィーマンコレクション |
| 98 | モーリス・ド・ヴラマンク | 新聞と瓶のある静物 | 1919/20 | 油彩・カンヴァス | 46×55 | ビエール&マーガレット・ゲネガン・コレクション、パリ |
| 99 | アンドレ・サルモン | ダンス | c.1913 | 油彩・カンヴァス | 30×30 | 個人蔵 |
| 100 | アンドレ・サルモン | 速度 | c.1913 | 油彩・カンヴァス | 30×30 | 個人蔵 |
| 101 | バプロ・ピカソ | 横たわる裸婦 | 1920 | 鉛筆・紙 | 48×63 | 個人蔵、ブリュッセル |
| 102 | マリー・ローランサン | 花をもつ若い女 | 1931 | 油彩・カンヴァス | 73×60 | 個人蔵 |
| 103 | アメデオ・モディリアニ | カリアティードの頭部 | 1910-12 (1950年代鑄造) | ブロンズ | 47x17 | ベン・アー・フィーマン・コレクション |
| 104 | アメデオ・モディリアニ | 髪を束ねた女 | 1918 | 油彩・カンヴァス | 46×33 | 個人蔵/協力:ダヴィッド・レヴィ・エ・アソシエ |
| 105 | アンドレ・デュノワイエ・ド・スゴンザック | 赤いバラソルと裸婦 | 1927 | 油彩・カンヴァス | 65×100 | 個人蔵 |
| 106 | アンドレ・ワルノー | ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会 | 1925 | 墨・紙 | 10×26 | 個人蔵、パリ |
| 107 | ジュール・バスキン | 果物籠を持つジュヌヴィエーヴ | 1929 | 油彩・カンヴァス | 92×74 | 熊本県立美術館 |
| 108 | マヌエル・オルティス・デ・ザラテ | 自画像 | 1917 | 油彩・カンヴァス | 61×50 | 個人蔵 |
| 109 | チャーナ・オルロフ | 聖母 ジャンヌ・エビュテルヌ | 1913 (1968年鑄造) | ブロンズ | 54×11×9 | ベン・アー・フィーマン・コレクション |
| 110 | サミュエル・グラノフスキー | 坐るブロンドの裸婦 | c.1920 | パステル、黒鉛・紙 | 52×66 | 個人蔵 |
| 111 | オシップ・ザツキン | 仮面舞踏会 | 1926 | グワッシュ・紙 | 73×49.5 | コレクション・ギャラリー・カンテセン、ユトレヒト |
| 112 | オシップ・ザツキン | 布をまとった人物 | 1929 | ブロンズ | 58.5 x 14 x 14 | 個人蔵 |
| 113 | モイズ・キスリング | ル・ベック少年の肖像 | 1926 | 油彩・カンヴァス | 100×81 | 個人蔵 |
| 114 | モイズ・キスリング | 女の顔 | 1950 | 油彩・カンヴァス | 40×33 | パリ市立近代美術館 |
| 115 | ガブリエル・フルニエ | 発熱 | 1919 | 油彩・カンヴァス | 24×33 | 個人蔵 |
| 116 | シャイム・スーティン | 風景 | 1920 | 油彩・カンヴァス | 65×46 | 個人蔵 |
| 117 | フェルナンド・バレー | 花と鳥 | 1924 | 油彩・カンヴァス | 100×81 | 個人蔵、パリ |
| 118 | 板東敏雄 | フジタの肖像 | 1923 | 黒鉛・紙 | 10×15 | 個人蔵 |
| 119 | 板東敏雄 | 立つ裸婦 | 1929 | 油彩・カンヴァス | 130×80 | 個人蔵 |
| 120 | 小柳正 | 横たわる裸婦 | 1924 | 油彩・カンヴァス | 85×114 | 個人蔵、パリ |
| 121 | ジャンヌ・エビュテルヌ | ユドキシエー・エビュテルヌの後ろ姿 (ジャンヌ・エビュテルヌの母) | c.1917 | 油彩・カンヴァス | 43×31 | 個人蔵 |
| 122 | アリス・ブラン (キキ・ド・モンバルナス) | 水兵 | 1931 | 油彩・カンヴァス | 41×33 | 個人蔵、パリ |

2-2 静岡朝日テレビ 開局35周年記念
オディロン・ルドン 夢の起源
幻想のふるさと、ボルドーから

会期：6月29日(土) - 8月25日(日)

概要：フランス象徴主義を代表する画家オディロン・ルドン(1840-1916)。ルドンは黒一色の怪奇で、空想的な世界を展開した後、50歳を過ぎて夢幻的な色の世界へと変貌した特異な画家として知られている。彼と同時代には、モネやルノワールといった印象派の画家たちが活躍していた。彼らが大気の変化とともに刻々とその様を変える現実世界の光の表現を求めていたなかで、内面を重視し夢の世界を描いたルドンは、次世代の画家や文学者、批評家たちから注目を集めた。

本展では、ルドンの芸術の源泉である「夢」と「自然」のルーツを、生まれ故郷であるフランス南西部の都市ボルドーに求めた。青年期に触れた自然科学や19世紀中頃には時代遅れになりつつあったロマン主義を、その後「黒」から「色彩」へどう昇華し展開していったのか。故郷のボルドー美術館、国内最大のルドン・コレクションを所蔵する岐阜県美術館の全面協力のもと、各地から集められた約150点で孤高の画家ルドンの全貌を辿った。

巡回先：損保ジャパン東郷青児美術館、岐阜県美術館、新潟市美術館

主催：静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、フランス大使館／アンステイチュ・フランセ日本、静岡日仏協会

協力：エールフランス航空

企画協力：ホワイトインターナショナル

観覧料：一般 1,100円(900円)
大高生・70才以上 700円(500円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

観覧者数：16,907人(有料10,629人、無料6,278人、有料率62.86%)

出品点数：150点

印刷物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 86kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4)
65,000部

2)ポスター

<仕様>紙：マットコート 135kg (B1)
b7トラネクスト 99kg (B2・B3)
サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 1,000部



チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



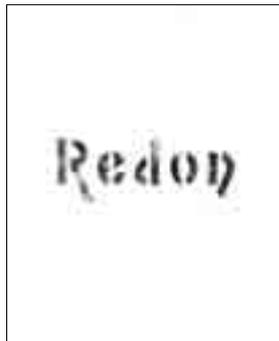
B3ポスター

カタログ：

<仕様>225×282mm、204頁



カタログ表紙



カバー表

カラー図版151点

参考図版(カラー24点、モノクロ34点)

山本敦子「幻想の起源－ナチュラリスト・ルドン」

マルク・ファヴロー「ルドン、あるいは中間色のジャポニスム」

「技法解説－本展出品作を中心とするルドンの技法・材質について」(解説：松岡未紗)

関連地図/略年譜/主要参考文献 等

監修：山本敦子(美術史家、元岐阜県美術館学芸部長)

編集：山本敦子、小林晶子(損保ジャパン東郷青児美術館主任学芸員)

執筆：山本敦子、マルク・ファヴロー(ボルドー美術館学芸部長)、アリエス・ビロ(ボルドー美術館学芸担当官)、シルヴェース・レターブル(ボルドー美術館学芸担当官)、松岡未紗(岐阜県美術館学芸員)、山岸亜友美(新潟市美術館学芸員)

翻訳：小林晶子、小川カミュー

発行：ホワイトインターナショナル

発行年：2013年

普及ツール：1)音声ガイド 2)記念撮影パネル

3)投票パネル

「ルドンの“黒”or“色”どっちが好き？投票しよう！」

概要：来館者が鑑賞後にルドンの黒の世界と色彩の世界と、どちらが良いと思ったかを投票するパネルを、展示室出口付近に設置した。来場者自身の鑑賞を振り返る場となるだけでなく、他の鑑賞者の趣向を知ることができるツールにもなった。経過はツイッターやホームページで随時報告を行った。

実施期間：展覧会会期中



各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)書店用しおりの配布

文学とも関係の深い本展の告知用にしおりを制作し、市内主要店舗約40店、市内飲食店等店舗約220店、市内図書館等に配布した。なお、初刷分には表面に作品画像、裏面にルドンの言葉の引用を印刷し、増刷分は表面に作品画像とルドンの言葉の引用、裏面には当館ミュージアムショップで提供したボルドーワインの割引券、および近隣ワインショップで仕様可能な割引券を印刷した。

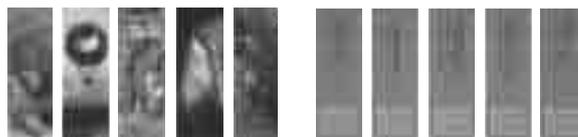
制作物：

◆しおり(計5種)

<仕様>紙：npi上質 135kg

サイズ・数量：45×128mm 170,000部(増刷分含む)

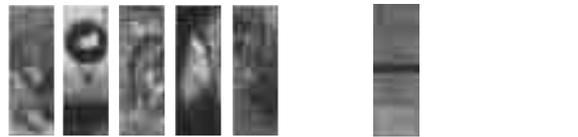
初刷



表

裏

増刷



表

裏(増刷分)

(※5種共通)

3)展覧会オリジナル壁紙等の制作

静岡朝日テレビの協力のもと、ウェブで展覧会オリジナル壁紙を制作し配信した。壁紙をダウンロードして受付で提示した人には、オリジナル缶バッジをプレゼントした。

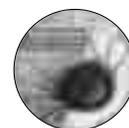
利用者数：259人



携帯電話用壁紙



PC用壁紙



缶バッジ

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『しずおか情報ランチ』、5月28日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ゆうラジ! Radio魂』、7月2日・7月9日放送。
- ・「街トレ：フランスの画家 オディロン・ルドンの世界へ」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』、7月5日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリンパルホットライン』、7月11日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『おまかせっ!アナウンス部』、7月28日放送。
- ・「展覧会放送」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』、8月13日放送。
- ・「オディロン・ルドン展 入場者1万人 静岡市美術館」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか 県内ニュース』、8月13日放送。

2)新聞

- ・「ルドン展開幕 静岡市美術館で」『日本経済新聞』(夕刊)名古屋版、6月29日。
- ・「展覧会紹介」『新美術新聞』、7月11日。
- ・「「幻想の画家」の起源に迫る オディロン・ルドン 夢の起源」『日本経済新聞』名古屋版、7月21日。
- ・「静岡市美術館のルドン展 1万人目に諸井さん(清水区)ら」『静岡新聞』、8月14日。
- ・「ルドン展来場1万人を突破 静岡市美術館」『日本経済新聞』静岡版、8月14日。

3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『月刊ギャラリー』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、7月号。
- ・「ルドンの形成期から晩年までを俯瞰」『芸術新潮』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『旅サライ』、8月号増刊。
- ・「展覧会紹介」『Baratee』、07-08号。
- ・「展覧会紹介」『CREA』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊MOE』、8月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「静岡日仏協会メールマガジンNo.132」、「Japan Design Net」、「リビエラ株式会社メールマガジン」、「Yahoo!JAPAN」、「artscape」、「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」



8月13日 入場者1万人達成

関連事業：

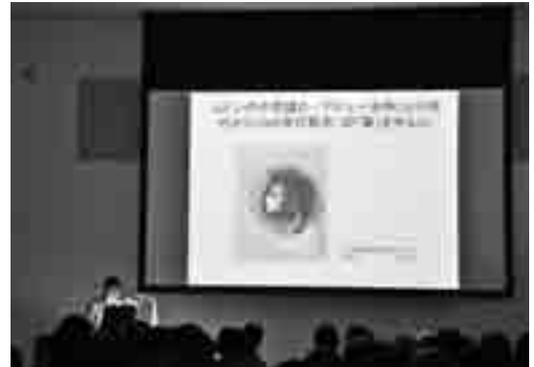
1)講演会「ルドン—幻想の起源」

概要：本展監修者の山本敦子氏を講師に、本展の見どころやルドン作品の特徴についてのほか、ルドンの芸術のルーツを、当時の時代背景から読み解く講演会を行った。

日時：7月6日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：92人

講師：山本敦子氏(本展監修者、前岐阜県美術館学芸部長)



2)ギャラリートーク

概要：「ルドンの黒」「ルドンの色」をテーマに、当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。

日時：「ルドンの黒」7月14日(日)14:00-

「ルドンの色」8月4日(日)14:00-

会場：展示室 参加者数：計59人

参加料：展覧会観覧料



3)特別鑑賞会

概要：ルドンの生地であるボルドーにちなみ、学芸員による展示解説と、ワインの試飲会の2部構成による鑑賞会。テイスティング講師に地元のワインショップ、ヴィノスやまざきの専務取締役を迎え、ボルドーでも人気の高い「メドック地区」のワインを中心に味わった。

日時：7月19日(金)19:00-20:30

会場：展示室(解説)・多目的室(試飲会)

参加者数：66人 参加料：2,500円

講師：種本祐子氏(ヴィノスやまざき専務取締役)

主要広報記録：

◆テレビ

・「イベント紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』、7月5日放送。

・「フランス絵画とワインを堪能」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、7月20日放送。



4) 講演会「ルドンとゴーギャンー魂の対話」

概要：本江邦夫氏を講師に、ルドンと親交のあった画家ゴーギャンとの交流に焦点をあてた講演会を実施した。

日時：7月20日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：92人

講師：本江邦夫氏(多摩美術大学教授)

主要広報記録：

◆新聞

・「ルドンとゴーギャン解説 静岡市美術館で講演会」『静岡新聞』、7月21日。



5) 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

ミュージアム・サロン・コンサート

概要：静岡在住のピアニスト・今野千春氏によるコンサート。ルドンが多くの画家、音楽家、文学者と出会ったサロンの雰囲気を同時代の音楽とともに紹介した。

日時：8月10日(土) 開場13:30 開演14:00

会場：多目的室 参加者数：115人 参加料：1,500円

出演：今野千春氏(ピアニスト)

曲目：

1. エルネスト・ショーソン《風景》
2. 同《いくつかの舞曲》第1曲「献辞」、第2曲「サラバンド」、第3曲「パヴァーヌ」、第4曲「フォルラーヌ」
3. エルネスト・ルドン《ポルカ「クレオール」》
4. 同《ポルカ「ルイジアナ」》
5. クロード・ドビュッシー《版画》第1曲「パゴダ(塔)」、第2曲「グラナダの夕べ」、第3曲「雨の庭」
6. 同《前奏曲集 第1巻》より 第10曲「亜麻色の髪の乙女」
7. 同《ベルガマスク組曲》より 第3曲「月の光」
8. 同《子どもの領分》より 第6曲「ゴリウォッグのケーキウォーク」
9. イサーク・アルベニス《組曲「スペインの歌」》より 第1曲「前奏曲(アストゥリアス)」、第5曲「セギディーリャ(カステイリャ)」

主要広報記録：

◆新聞

・「静岡市美術館でピアノ演奏会 「ルドン展」開催に合わせ」『日本経済新聞』静岡版、7月31日。



作品リスト

※図録番号112、131、141は静岡会場には未出品。また、116は都合により不出品。
 ※前期・後期で一部展示替えを行った。
 【前期】6月29日(土) - 7月28日(日) 【後期】7月30日(火) - 8月25日(日)

第1部 幻想のふるさとボルドー—夢と自然の発見

| 通し番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|------|-------|----------------|--|------------------------|------------------|-----------|---------------------------|
| 1 | 参考出品1 | ルイ=アントワヌ・ガルヌレー | ボルドー風景1.ラ・バスティード街区近くの橋からの眺め | - | リトグラフ、紙 | 45.0×64.2 | ボルドー美術館 |
| 2 | 参考出品2 | ルイ=アントワヌ・ガルヌレー | ボルドー風景2.レ・シャルトン街区からの眺め | - | リトグラフ、紙 | 34.2×59.8 | ボルドー美術館 |
| 3 | 参考出品3 | 作者不詳 | サン=スーラン教会の眺め、ボルドー | - | リトグラフ、紙 | 24.5×27.6 | ボルドー市立文書館 |
| 4 | 1 | スタニスラス・ゴラン | アブデルカデルのボルドー出航 | 1850 | 水彩、紙 | 24.0×38.4 | ボルドー美術館 |
| 5 | 2 | スタニスラス・ゴラン | 海の火災 | - | 水彩、紙 | 48.0×70.0 | ボルドー科学・文芸・芸術アカデミー |
| 6 | 3 | スタニスラス・ゴラン | ランドの農場 | - | 水彩、紙 | 42.0×55.0 | ボルドー科学・文芸・芸術アカデミー |
| 7 | 4 | アルマン・クラヴォー | 植物学素描1 標本画5 裸子植物 | - | 黒インク、厚紙で裏打ちした紙 | 50.0×60.0 | ボルドー植物園 |
| 8 | 5 | アルマン・クラヴォー | 植物学素描2 標本画30 藻類 | - | 藻、黒インク、厚紙で裏打ちした紙 | 60.0×50.0 | ボルドー植物園 |
| 9 | 6 | アルマン・クラヴォー | 植物学素描3 標本画51 カタマリヒゲマワリ(緑藻)、ネンジュ藻(藍藻) | - | 色インク、厚紙で裏打ちした紙 | 60.0×50.0 | ボルドー植物園 |
| - | 参考資料1 | シカール | クラヴォーの肖像 | - | 写真 | - | ボルドー植物園 |
| 10 | 7 | ロドルフ・プレスダン | 死の喜劇 | 1854 | リトグラフ、紙 | 22.0×15.0 | ボルドー美術館 |
| 11 | 8 | ロドルフ・プレスダン | ローマ軍団 | 1856 (1861年の第4ステート) | エッチング、紙 | 6.2×12.4 | 岐阜県美術館 |
| 12 | 9 | ロドルフ・プレスダン | 死神に驚く獵師 | 1857 (第3ステート) | エッチング、紙 | 10.9×6.4 | ボルドー美術館 |
| 13 | 10 | ロドルフ・プレスダン | 母親と死神 | 1861 (第3ステート) | エッチング、紙 | 13.4×8.8 | ボルドー美術館 |
| 14 | 11 | ロドルフ・プレスダン | 善きサマリア人 | 1861 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 56.5×44.5 | ボルドー美術館 |
| 15 | 12 | ロドルフ・プレスダン | 沼のほとりの聖家族 | 1865 | エッチング、紙 | 6.1×16.4 | 岐阜県美術館 |
| 16 | 13 | ロドルフ・プレスダン | 岩だらけの平原での戦闘 | 1865 | エッチング、紙 | 11.5×23.2 | ボルドー美術館 |
| 17 | 14 | ロドルフ・プレスダン | バラソル市場 | 1866 (第1ステート) | エッチング、紙(シン・アプリケ) | 14.0×8.2 | 岐阜県美術館 |
| 18 | 15 | ロドルフ・プレスダン | ティエリー=ファルタン ¹ の寓話集のための最初の扉絵 | 1868 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 25.4×20.5 | ボルドー美術館 |
| 19 | 16 | ロドルフ・プレスダン | ティエリー=ファルタン ² の寓話集のための最初の扉絵 | 1878 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 25.4×20.5 | ボルドー美術館 |
| 20 | 17 | オディロン・ルドン | 浅瀬(小さな騎馬兵のいる) | 1865 (第2ステートか) | エッチング、ドライポイント、紙 | 17.7×13.4 | 岐阜県美術館 |
| 21 | 18 | オディロン・ルドン | 二人の小さな騎馬兵 | 1865 (第2ステート) | エッチング、ドライポイント、紙 | 9.8×8.0 | 岐阜県美術館 |
| 22 | 19 | オディロン・ルドン | 騎馬兵の戦い | 1865-86 (第3ステート) | エッチング、ドライポイント、紙 | 8.2×11.9 | 岐阜県美術館 |
| 23 | 20 | オディロン・ルドン | 戦闘 | 1865 (第2ステート) | エッチング、ドライポイント、紙 | 5.6×13.1 | 岐阜県美術館 |
| 24 | 21 | オディロン・ルドン | 雷雲の下の騎馬兵 | 1866 (第1ステート) | エッチング、紙 | 5.9×13.8 | 岐阜県美術館 |
| 25 | 22 | オディロン・ルドン | 恐怖 | 1866 | エッチング、紙 | 11.2×20.0 | ボルドー美術館 |
| - | 参考資料2 | オディロン・ルドン | 下生えのある大木 | 1857 | 鉛筆、紙(写真複製) | 23.8×15.2 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| - | 参考資料3 | オディロン・ルドン | ユアールの近くの古木 | 1863 | 鉛筆、紙(写真複製) | 32.5×24.0 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| - | 参考資料4 | オディロン・ルドン | バス=ビレネーの岩と低木 | - | 鉛筆、紙(写真複製) | 32.0×22.5 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| - | 参考資料5 | オディロン・ルドン | むきだしになった樹、メドック | - | 鉛筆、紙(写真複製) | 37.8×26.3 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| - | 参考資料6 | オディロン・ルドン | 樹々、バス=ビレネー | - | 鉛筆、紙(写真複製) | 37.4×27.0 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| - | 参考資料7 | オディロン・ルドン | 樹 | - | 鉛筆、紙(写真複製) | 32.0×25.5 | ルーヴル美術館 グラフィック芸術部 |
| 26 | 23 | オディロン・ルドン | メドックの風景 | 1867 | 木炭、淡黄色の紙 | 32.0×43.0 | ボルドー美術館 |
| 27 | 24 | オディロン・ルドン | 森の中の男 | 1865 | 木炭、黒鉛、紙 | 19.5×15.6 | 岐阜県美術館 |
| 28 | 25 | オディロン・ルドン | 大きな樹 | 1865-70頃 | 木炭、紙 | 41.9×30.0 | 岐阜県美術館 |
| 29 | 26 | オディロン・ルドン | 樹(樹のある風景の中の二人の人物) | 1865-70頃 | 木炭、紙 | 38.1×31.5 | 岐阜県美術館 |
| 30 | 27 | オディロン・ルドン | 曲がりくねった樹 | - | 木炭、紙 | 33.0×31.1 | 岐阜県美術館 |
| 31 | 28 | オディロン・ルドン | バイルバードのボブラ | - | 油彩、厚紙で裏打ちした画布 | 23.5×17.0 | 岐阜県美術館 |
| 32 | 29 | オディロン・ルドン | 船 | 1885 | 油彩、画布 | 53.0×80.0 | ボルドー美術館 |
| 33 | 30 | オディロン・ルドン | 風景 | - | 油彩、画布 | 18.0×24.0 | 岐阜県美術館 |
| 34 | 31 | オディロン・ルドン | モルガの海 | 1883 | 油彩、画布 | 42.5×69.0 | ボルドー美術館 |
| 35 | 32 | オディロン・ルドン | ブルターニュの風車 | 1875-85 | パステル、紙 | 28.8×45.0 | ボルドー美術館 |
| 36 | 33 | オディロン・ルドン | 薔薇色の岩 | 1885頃 | 油彩、画布 | 27.3×41.1 | 岐阜県美術館 |
| 37 | 34 | オディロン・ルドン | 宗教的場面：キリストと使徒たち。アラスの礼拝堂装飾のための習作 | 1870 | 黒鉛、紙 | 15.1×25.0 | ボルドー美術館 |
| 38 | 35 | オディロン・ルドン | 守護天使 | - | 黒鉛、紙 | 24.1×32.7 | 岐阜県美術館 |
| 39 | 36 | オディロン・ルドン | ドラクロワの『ミソロンギの廃墟に立つギリシア』の模写 | 1867 | 油彩、画布 | 46.3×32.4 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 40 | 37 | オディロン・ルドン | ロンスヴォーのローラン | 1862 | 油彩、画布 | 61.0×48.5 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 41 | 38 | オディロン・ルドン | 十字軍 | 1860年代 | 油彩、画布 | 32.0×46.0 | ボルドー美術館 |
| 42 | 39 | オディロン・ルドン | 永遠を前にした男 | 1870頃 | 黒鉛、紙 | 18.5×22.5 | 岐阜県美術館 |
| 43 | 40 | オディロン・ルドン | 自画像 | 1875-77頃 | 油彩、画布 | 61.0×46.5 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |

| 通し番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|------|--------|--------------|--------------------|------|-----------------------|-----------|-----------|
| — | 参考資料8 | エルネスト・ルドン | ルイジアナ：ピアノのためのボルカ | — | 楽譜(写真複製) | — | ポルドー市立図書館 |
| — | 参考資料9 | エルネスト・ルドン | ラ・クレオール：ピアノのためのボルカ | 1855 | 楽譜(写真複製) | — | ポルドー市立図書館 |
| — | 参考資料10 | ガストン・ルドン | 幻想的風景、雲に覆われた櫓と尖塔 | 1893 | ペン、黒と赤のインク、淡彩、紙(写真複製) | 24.6×18.6 | オルセー美術館 |
| — | 参考資料11 | テキスト：ポール・ジャモ | ガストン・ルドン回顧展小冊子 | 1931 | 冊子(8頁) | 18.0×13.0 | 個人蔵 |

第2部 「黒」の画家の登場 — 怪物たちの誕生

| 通し番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|------|--------|-----------|---|-----------|--------------------|-----------|-----------|
| 44 | 41 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』表紙＝屏絵 | 1879 | リトグラフ、紙 | 30.2×22.3 | 岐阜県美術館 |
| 45 | 42 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』1. 孵化 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 32.8×25.7 | 岐阜県美術館 |
| 46 | 43 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』2. 発芽 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.3×19.4 | 岐阜県美術館 |
| 47 | 44 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』3. 車輪 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 23.2×19.6 | 岐阜県美術館 |
| 48 | 45 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』4. 冥府 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 30.7×22.3 | 岐阜県美術館 |
| 49 | 46 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』5. 賭博師 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.0×19.3 | 岐阜県美術館 |
| 50 | 47 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』6. 地の精 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.2×22.0 | 岐阜県美術館 |
| 51 | 48 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』7. 猫かぶり | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 26.8×20.3 | 岐阜県美術館 |
| 52 | 49 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』8. 幻視 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.4×19.8 | 岐阜県美術館 |
| 53 | 50 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』9. 悲しき上昇 | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 26.7×20.0 | 岐阜県美術館 |
| 54 | 51 | オディロン・ルドン | 『夢のなかで』10. 皿の上に | 1879 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 24.4×16.0 | 岐阜県美術館 |
| 55 | 52 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』表紙＝屏絵 | 1882 | リトグラフ、紙 | 16.5×11.5 | 岐阜県美術館 |
| 56 | 53 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』 1. 眼は奇妙な気球のように無限に向かう | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 26.2×19.8 | 岐阜県美術館 |
| 57 | 54 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』 2. 憂愁の黒い太陽の前にレノアが現れる | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 16.8×12.0 | 岐阜県美術館 |
| 58 | 55 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』 3. 仮面は吊いの鐘を鳴らす | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 19.2×15.8 | 岐阜県美術館 |
| 59 | 56 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』 4. 水平線には確信の天使が、暗い空にさぐるようなまなざしが | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.2×20.8 | 岐阜県美術館 |
| 60 | 57 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』 5. 諸存在を導く息吹は球の中にもある | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.3×20.9 | 岐阜県美術館 |
| 61 | 58 | オディロン・ルドン | 『エドガー・ポーに』6. 狂気 | 1882 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 14.5×20.0 | 岐阜県美術館 |
| 62 | 59 | オディロン・ルドン | 『起源』表紙＝屏絵 | 1883 | リトグラフ、紙(題字が入る前の刷り) | 31.0×22.7 | 岐阜県美術館 |
| — | 参考資料12 | オディロン・ルドン | 『起源』 1. おぼろげな物質の奥底で生命が目覚めた時 | 1883 | (写真複製) | 27.5×20.3 | フランス国立図書館 |
| 63 | 60 | オディロン・ルドン | 『起源』 2. おそらく花の中に最初の視覚が試みられた | 1883 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 22.3×17.2 | 岐阜県美術館 |
| 64 | 61 | オディロン・ルドン | 『起源』 3. 不恰好なポリープは薄笑いを浮かべた醜い一つ目巨人のように岸边を漂っていた | 1883 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 21.9×20.0 | 岐阜県美術館 |
| 65 | 62 | オディロン・ルドン | 『起源』 4. セイレーンは無数の針をつけて波間から現れた | 1883 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 30.0×23.4 | 岐阜県美術館 |
| 66 | 63 | オディロン・ルドン | 『起源』5. あざけるような笑いを浮かべたサテュロス | 1883 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 23.8×20.8 | 岐阜県美術館 |
| 67 | 64 | オディロン・ルドン | 『起源』6. さまざまな争いやむなしの勝利があった | 1883 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 28.9×22.2 | 岐阜県美術館 |
| — | 参考資料13 | オディロン・ルドン | 『起源』7. 力ない翼はその獣をこれらの暗い天空に引き上げなかった | 1883 | (写真複製) | 29.5×20.0 | フランス国立図書館 |
| — | 参考資料14 | オディロン・ルドン | 『起源』8. そして人間が現れた。彼が出てきた、彼を引き寄せる大地に訊ねながら、暗い光に向かって道を切り開いていった。 | 1883 | (写真複製) | 28.0×20.4 | フランス国立図書館 |
| 68 | 65 | オディロン・ルドン | 骸骨 | 1880 | 木炭、紙 | 48.5×32.3 | 岐阜県美術館 |
| 69 | 66 | オディロン・ルドン | 気球 | 1883 | 木炭、コンテ・クレヨン、紙 | 54.0×37.5 | 岐阜県美術館 |
| 70 | 67 | オディロン・ルドン | 沼の花 | 1880-85頃 | 木炭、コンテ・クレヨン、紙 | 52.1×36.3 | 岐阜県美術館 |
| 71 | 68 | オディロン・ルドン | 顕現 | — | 木炭、紙 | 46.2×33.0 | 岐阜県美術館 |
| 72 | 69 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』1. 夢のなかで私は空に神秘的顔を見た | 1885 | リトグラフ、紙(シン・ヴォラン) | 29.1×23.8 | 岐阜県美術館 |
| 73 | 70 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』2. 沼の花、悲しげな人間の顔 | 1885(第2刷) | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.5×20.5 | 岐阜県美術館 |
| 74 | 71 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』3. 陰気な風景の中の狂人 | 1885 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 22.7×19.3 | 岐阜県美術館 |
| 75 | 72 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』4. 胚芽のごとき存在もあった | 1885 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 23.5×19.6 | 岐阜県美術館 |
| 76 | 73 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』5. 奇妙な軽業師 | 1885 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 19.9×19.0 | ポルドー美術館 |
| 77 | 74 | オディロン・ルドン | 『ゴヤ頌』 6. めざめた時、私はきびしく無情な横顔の叡智の女神を見た | 1885 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 26.2×21.4 | 岐阜県美術館 |
| 78 | 75 | オディロン・ルドン | 『夜』1. 老年に | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 24.5×18.5 | 岐阜県美術館 |
| 79 | 76 | オディロン・ルドン | 『夜』2. 男は夜の風景の中で孤独だった | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 29.3×22.0 | 岐阜県美術館 |
| 80 | 77 | オディロン・ルドン | 『夜』3. 墮天使はその時黒い翼を開いた | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 25.8×21.5 | 岐阜県美術館 |
| 81 | 78 | オディロン・ルドン | 『夜』4. キマイラはあらゆるものを恐ろしそうに見つめた | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 25.0×18.5 | 岐阜県美術館 |
| 82 | 79 | オディロン・ルドン | 『夜』5. 巫女たちは待っていた | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 28.5×21.0 | 岐阜県美術館 |
| 83 | 80 | オディロン・ルドン | 『夜』6. そして探求者は限りない探求の途にあった | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.8×18.3 | 岐阜県美術館 |
| 84 | 81 | オディロン・ルドン | 光の横顔 | 1886 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 34.4×24.2 | 岐阜県美術館 |
| 85 | 82 | オディロン・ルドン | 蜘蛛 | 1887 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.7×21.7 | 岐阜県美術館 |

| 通し番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|------|------|-----------|--|--------|----------------------|------------|---------|
| 86 | 83 | オディロン・ルドン | すとと魚の体に人間の頭をつけた奇妙な生物が現れる ([『聖アントワヌの誘惑』第一集5.]) | 1888 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.6×17.0 | 岐阜県美術館 |
| 87 | 84 | オディロン・ルドン | ・・・頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた ([『聖アントワヌの誘惑』第三集13.]) | 1896 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 31.2×22.5 | 岐阜県美術館 |
| 88 | 85 | オディロン・ルドン | オアネス：混沌の最初の意識である私は、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでできた ([『聖アントワヌの誘惑』第三集14.]) | 1896 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 28.0×21.8 | 岐阜県美術館 |
| 89 | 86 | オディロン・ルドン | ・・・革袋のように丸い、海の獣たち ([『聖アントワヌの誘惑』第三集22.]) | 1896 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 22.5×19.5 | 岐阜県美術館 |
| 90 | 87 | オディロン・ルドン | さまざまな国民が大洋の国々に住んでいる ([『聖アントワヌの誘惑』第三集23.]) | 1896 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 31.0×23.6 | 岐阜県美術館 |
| 91 | 88 | オディロン・ルドン | 『悪の華』表紙＝扉絵 | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 19.0×14.2 | 岐阜県美術館 |
| 92 | 89 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 1. 僕はお前を丸い夜空と等しく愛する、お前悲しみの壺、丈高い無言の女 | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 25.0×18.1 | 岐阜県美術館 |
| 93 | 90 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 2. 思い出顔の古びた香水壺が時として見つかるものだ、昔の人の心が生き生きとそこに甦って | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 24.2×16.4 | 岐阜県美術館 |
| 94 | 91 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 3. 暗く重たい夜の間に、一人の善良なキリスト者が、古い廃墟の片蔭に慈悲心からあなたのご自慢の身体を埋めたなら | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 23.2×18.5 | 岐阜県美術館 |
| 95 | 92 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 4. おお快樂、しなやかな幽霊よ！ | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 17.8×11.5 | 岐阜県美術館 |
| 96 | 93 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 5. 夜ごと闇の奥底で、神は一刻の休みなく、さかしげな指先に形さまざまな悪夢を描く | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 21.5×18.7 | 岐阜県美術館 |
| 97 | 94 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 6. 絶えず僕の傍らを悪魔の奴がうごめいて | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 21.3×18.0 | 岐阜県美術館 |
| 98 | 95 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 7. 栄光と褒め讃えとは君にあれ、悪魔よ、かつて君が治めた天の高さにあった日も、敗れ去って、孤独のうちに夢見つづける地獄の深さにある時も！ | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 17.2×17.8 | 岐阜県美術館 |
| 99 | 96 | オディロン・ルドン | 『悪の華』 8. 章末の挿絵 | 1890 | イヴリー方式による銅版転写、紙 | 11.8×9.0 | 岐阜県美術館 |
| 100 | 97 | オディロン・ルドン | 眼をとじて | 1890 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 31.3×24.0 | 岐阜県美術館 |
| 101 | 98 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 1.・・・それは一枚の帳、ひとつの刻印であった・・・ | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 18.7×13.3 | 岐阜県美術館 |
| 102 | 99 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 2.そして彼方には星の偶像、神格化 | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.7×19.2 | 岐阜県美術館 |
| 103 | 100 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 3.うつろいやすい光、無限に吊るされた一つの頭 | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.5×21.0 | 岐阜県美術館 |
| 104 | 101 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 4.かげつた翼の下で、黒い存在が激しく瞳みついていた・・・ | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 22.5×17.2 | 岐阜県美術館 |
| 105 | 102 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 5.月下の巡礼 | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 27.5×20.5 | 岐阜県美術館 |
| 106 | 103 | オディロン・ルドン | 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出のために)』 6.日の光 | 1891 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 21.0×15.8 | 岐阜県美術館 |
| 107 | 104 | オディロン・ルドン | 読書する人 | 1892 | リトグラフ、紙(シン・アプリケ) | 31.0×23.6 | ボルドー美術館 |
| 108 | 105 | オディロン・ルドン | 手稿 | 1894年頃 | 木炭、コンテ・クレヨン、パステル、紙 | 100.0×80.5 | 岐阜県美術館 |
| 109 | 106 | オディロン・ルドン | 神秘的な騎士、あるいはオイディプスとスフィンクス | 1892頃 | 木炭、パステルで加筆、画布で裏打ちした紙 | 100.0×81.5 | ボルドー美術館 |
| 110 | 107 | オディロン・ルドン | 悲嘆 | 1893頃 | 木炭、紙 | 51.5×37.1 | 岐阜県美術館 |
| 111 | 108 | オディロン・ルドン | 女の横顔 | — | 木炭、パステル、コンテ・クレヨン、紙 | 31.5×24.7 | 岐阜県美術館 |
| 112 | 109 | オディロン・ルドン | 窓辺の女 | 1890年代 | 木炭、紙 | 52.1×37.7 | 岐阜県美術館 |
| 113 | 110 | オディロン・ルドン | 花の枠組みの中の左向き横顔 | 1890年代 | 木炭、コンテ・クレヨン、黒鉛、紙 | 48.4×37.4 | 岐阜県美術館 |

第3部 色彩のファンタジー

| 通し番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|------|------|-----------|--------------------------|------------|-----------------|-----------|---------------------------|
| 114 | 111 | オディロン・ルドン | 翼のある男、あるいは墜天使 | 1890-95 | 油彩、紙 | 23.8×34.0 | ボルドー美術館 |
| 115 | 113 | オディロン・ルドン | カインとアベル | — | 油彩、画布 | 81.0×54.0 | 岐阜県美術館 |
| 116 | 114 | オディロン・ルドン | 黄色いケープ、あるいはカバラの祭司【前期展示】 | 1895 | パステル、紙 | 48.5×35.5 | 新潟市美術館 |
| 117 | 115 | オディロン・ルドン | 神秘的な対話 | 1896頃 | 油彩、画布 | 65.0×46.0 | 岐阜県美術館 |
| 118 | 117 | オディロン・ルドン | メドックの秋 | 1897頃 | 油彩、画布 | 33.5×41.0 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 119 | 118 | オディロン・ルドン | 編み物をする娘 | 1880—90 | 油彩、画布 | 50.0×35.5 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 120 | 119 | オディロン・ルドン | サン＝ジョルジュ＝ド＝ディドンヌの街路 | 1897以降 | 油彩、厚紙に貼った画布 | 61.0×49.5 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 121 | 120 | オディロン・ルドン | ヴェネツィア風景、あるいはヴェネツィアの漁師地区 | 1908頃 | 油彩、画布 | 52.0×67.0 | ボルドー美術館 |
| 122 | 121 | オディロン・ルドン | ミモザのある花々 | — | 油彩、厚紙 | 45.5×33.0 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 123 | 122 | オディロン・ルドン | 青い花瓶の花々【前期展示】 | 1904頃 | パステル、紙 | 47.0×60.5 | 岐阜県美術館 |
| 124 | 123 | オディロン・ルドン | 黒い花瓶のアネモネ【後期展示】 | 1905頃 | パステル、紙 | 64.8×57.5 | 岐阜県美術館 |
| 125 | 124 | オディロン・ルドン | 花 | 1905—10頃 | 油彩、画布 | 50.0×65.0 | 岐阜県美術館 |
| 126 | 125 | オディロン・ルドン | 翼を持つ横向きの胸像(スフィンクス)【前期展示】 | 1898—1900頃 | パステル、木炭、白チョーク、紙 | 71.0×54.8 | 岐阜県美術館 |
| 127 | 126 | オディロン・ルドン | 眼をとじて | 1900以降 | 油彩、画布 | 65.0×50.0 | 岐阜県美術館 |
| 128 | 127 | オディロン・ルドン | オフィーリア | 1901—02頃 | 油彩、板に貼付した紙 | 57.7×48.8 | 岐阜県美術館 |

| 通し 番号 | 図録番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm) | 所蔵 |
|----------|------|-----------|-----------------------------|----------|----------------------|------------|---------------------------|
| 129 | 128 | オディロン・ルドン | オフィーリア | 1901-09頃 | 油彩、厚紙 | 70.0×52.8 | 鹿児島市立美術館 |
| 130 | 129 | オディロン・ルドン | アレゴリー-太陽によって赤く染められたのではない赤い木 | 1905 | 油彩、画布 | 46.0×35.5 | 三重県立美術館 |
| 131 | 130 | オディロン・ルドン | 若き日の仏陀 | 1905 | 油彩、画布 | 65.5×50.5 | 京都国立近代美術館 |
| 132 | 132 | オディロン・ルドン | 女漁師【後期展示】 | - | パステル、紙 | 60.0×45.0 | 岐阜県美術館 |
| 133 | 133 | オディロン・ルドン | アポロンの戦車 | 1906-07頃 | 油彩、画布 | 65.0×81.0 | 岐阜県美術館 |
| 134 | 134 | オディロン・ルドン | アポロンの馬車 | 1907-08頃 | 油彩、画布 | 100.3×81.2 | 愛媛県美術館 |
| 135 | 135 | オディロン・ルドン | アポロンの戦車 | 1909 | 油彩、パステル、厚紙 | 100.0×80.0 | ボルドー美術館 |
| 136 | 136 | オディロン・ルドン | 騎馬兵の戦い | 1910頃 | 油彩、画布 | 54.3×73.0 | 岐阜県美術館 |
| 137 | 137 | オディロン・ルドン | オルフェウスの死 | 1905-10頃 | 油彩、画布 | 50.0×73.5 | 岐阜県美術館 |
| 138 | 138 | オディロン・ルドン | キリストとサマリアの女 | - | 筆、墨、紙 | 28.0×23.0 | ボルドー美術館 |
| 139 | 139 | オディロン・ルドン | ハムレットについての思い | - | 黒鉛、水彩、紙 | 23.8×18.4 | 岐阜県美術館 |
| 140 | 140 | オディロン・ルドン | ダブル・プロフィール | - | 木炭、インク、紙 | 25.7×20.7 | 岐阜県美術館 |
| 141 | 142 | オディロン・ルドン | ベガサスに乗るミュージズ | 1907-10頃 | 油彩、画布 | 73.5×54.4 | 群馬県立近代美術館 |
| 142 | 143 | オディロン・ルドン | 丸い光の中の子供【後期展示】 | 1900頃 | パステル、紙 | 65.0×50.0 | 新潟市美術館 |
| 143 | 144 | オディロン・ルドン | アーケードのある背景の若い娘の肖像 | 1910-11 | 油彩、サンギーヌ、灰色の下地を施した画布 | 71.0×53.5 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 144 | 145 | オディロン・ルドン | マドンナ | 1910頃 | 油彩、画布 | 137.0×65.0 | 浜松市美術館 |
| 145 | 146 | オディロン・ルドン | 鐘楼守 | 1905-10頃 | 油彩、画布 | 143.4×62.0 | 大原美術館 |
| 146 | 147 | オディロン・ルドン | 花の中の少女の横顔 | 1900-10頃 | 油彩、板 | 39.5×39.0 | 岐阜県美術館 |
| 147 | 148 | オディロン・ルドン | 折り、顔、花々 | 1893頃 | 油彩、画布 | 32.0×24.0 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 148 | 149 | オディロン・ルドン | 深海の幻影 | 1910頃 | 油彩、厚紙 | 22.0×27.0 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 149 | 150 | オディロン・ルドン | 読書する女、あるいは読書 | 1914頃 | 油彩、パステル(?)、画布の上に貼った紙 | 63.0×53.0 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |
| 150 | 151 | オディロン・ルドン | 聖母 | 1916 | 油彩、画布 | 50.2×69.2 | ボルドー美術館 (オルセー美術館からの寄託) |

2-3 はじめての美術 絵本原画の世界2013

会期：9月14日(土)～10月27日(日)

概要：絵本は、子どもたちが“はじめて”出会う美術である。『ぐりとぐら』、『おおきなかぶ』、『ごろごろ にゃーん』、『ジオジオのかんむり』など、世代をこえて愛されるロングセラーを数多く生み出した月刊絵本「こどものとも」(1956年創刊／福音館書店)。「子どもにこそ真の芸術を」という信念のもとに生まれたこれらの絵本には、彫刻家の佐藤忠良、日本画家の秋野不矩や堀文子、当時は漫画家の長新太など、それまで絵本を手がけたことのなかったさまざまなジャンルの作家が参加し、絵本史の中でも高い評価を受けている。彼らにとっても、絵本は日頃の制作の枠をこえた“はじめて”の世界だった。本展では、「こどものとも」初期作品を中心とした、宮城県美術館の1万枚以上に及ぶ国内有数の絵本原画コレクションの中から、26作家43タイトル327点の絵本原画を展示した。

巡回先：宮城県美術館、名古屋市美術館、平塚市美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡第一テレビ、NHKプラネット中部

出品協力：宮城県美術館

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：福音館書店、静岡図書館友の会、静岡市立図書館、静岡県立中央図書館

観覧料：一般 800円(600円)

大高生・70歳以上 600円(400円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

観覧者数：44,385人(有料26,623人、無料17,762人、有料率59.98%)

出品点数：327点

印刷物：

1)チラシ

<仕様>紙：OKブライツ(ツヤ) 90kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4)
70,000部

2)ポスター

<仕様>紙：マットコート 135kg (B1)

OKブライツ(ラフ) 100.5kg (B2)

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,500部、B3 2,400部



チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>227×297mm、139頁



カタログ表紙

カラー図版332点

参考図版(モノクロ3点)

宮坂敦子「見るよろこび「はじめての美術 絵本原画の世界2013」の開催にあたって」

インタビュー抄録/作品目録 等

編集：宮城県美術館、名古屋市美術館、平塚市美術館、静岡市美術館

翻訳：ロバート・リード

発行：NHKプラネット東北

発行年：2013年

普及ツール：

1)音声ガイド 2)絵本クイズパネル 3)あらすじリスト

4)記念撮影パネル

来場者の記念撮影用に『ぐりとぐら』の卵の殻の車パネル、『ぞうくんのさんぽ』大パネルを制作、館内に設置した。



9月25日 入場者1万人達成セレモニーを記念撮影パネル前で実施

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニュー「絵本のお菓子を食べてよう！」(計2店舗で実施、計1,000人利用)の提供

印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)当館オリジナルしおりの配布

『ぞうくんのさんぽ』の型抜きしおりを制作し、会期前に市内の幼・保育園の全園児、小学校全児童に配布したほか、市内書店にも配架を依頼した。しおりの裏面には絵本クイズを掲載、クイズに正解し美術館に持参するとオリジナルスタンプを押印した。また会期中再度来館すると、スタンプに加えオリジナル缶バッジをプレゼントした。

制作物：

◆しおり

<仕様>紙：ライトスタッフGA-FS 135kg

サイズ・数量：80×140mm 200,000部



しおり表



しおり裏
(1回目)



しおり裏
(2回目)

◆缶バッジ

<仕様>

φ32mm 3,000個



利用者数：1,439人

3)市内図書館との連携

市内14の図書館と連携し、うち13館で「静岡市美術館絵本原画フェア」を実施した。また市立中央図書館では貴重なペーパーバック版の展示や、「ぐりとぐら誕生50周年」と絡めた関連展示も開催された。当館では、各図書館のフェアを告知するチラシを制作し配布した。

印刷物：



チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 5,000枚
※片面には展覧会関連事業告知を掲載

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、8月15日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『しずおか情報ランチ』、9月10日放送。
- ・「「はじめての美術 絵本原画の世界」展 開幕式」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、9月13日放送。
- ・「静岡市美術館 「絵本原画の世界」展 始まる」静岡第一テレビ『NNNストレイトニュース 県内ニュース』、9月14日放送。
- ・「同」静岡第一テレビ『news.everyサタデー 県内ニュース』、9月14日放送。
- ・「絵本の原画展」NHK静岡放送局『県内ニュース』、9月15日放送。
- ・「「絵本原画の世界」展 入場者1万人超える」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、9月25日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリパルホットライン』、9月26日放送。
- ・「映像話題「絵本原画の世界」展」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、9月27日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ゆうラジ! Radio魂』、10月1日・8日・15日放送。
- ・「〇ごと：絵本のあの味を再現」「同：はじめての美術 絵本原画の世界」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、10月8日放送。
- ・「静岡市美術館「絵本原画の世界」展 3万人達成」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、10月17日放送。

2)新聞

- ・「イベント情報：はじめての美術 絵本原画の世界」『中日新聞』静岡版、9月6日。

3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『アートマインド』、No.173、秋季号。
- ・「展覧会紹介」『めばえ』、10月号別冊。
- ・「子どもの頃大好きだった、あの絵本に感動の再会！ はじめての美術 絵本原画の世界」『月刊MOE』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『teniteo』、10月号。
- ・「しずおかお出かけ館 今月の美術館：静岡市美術館 はじめての美術 絵本原画の世界2013」『月刊ファミリス』、9月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「Japan Design Net」、「リビエラ株式会社メールマガジン」、「シティブロモーション情報ブログ「いいねえ。ダイアリー」」、「プチ・エポカ」、「毎日AR」、「キッズアートプロジェクトしずおか」、「るるぶmobile」、「はままつ子育てネットワークぴっぴブログ」、「こどもと一緒に！ Facebook」、「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」



10月17日 入場者3万人達成



関連事業：

1)「絵本を楽しむおはなし会」

概要：市民ボランティア「静岡図書館友の会」の協力を得て、出品作品の絵本の読み語りをを行った。『ぐりとぐら』『ぞうくんのさんぽ』『おおきなかぶ』などのベストセラーは大型絵本を使用した他、すでに絶版となっている希少絵本も含んだ幅広い内容となった。各日の演目は、友の会の有志5グループ29名で分担し、構成も各グループで計画された。小道具を使った演出、キーボード演奏の導入、抑揚に富んだ朗読など、各回ともグループごとの特色が表れた読み語りとなった。

日時：9月14日・21日・10月5日・12日・19日・26日
いずれも 土曜日 A.13:30－／B.14:30－(各回30分程度)
会場：展示室内「絵本のへや」 参加者数：計830人
参加料：観覧料 朗読協力：静岡図書館友の会
内容：

- ①『ごろごろにゃーん』 ②『きょうりゅうがすわっていた』
③『はじめてのおつかい』 ④『ちょうちんあんこう』
⑤『おおきなかぶ』 ⑥『ジオジオのかんむり』
⑦『しょうぼうじどうしゃ じぶた』 ⑧『ぐりとぐら』
⑨『びちこちゃんのけっこん』 ⑩『おふろだいすき』
⑪『ぞうくんのさんぽ』 ⑫『ぐりとぐらのうたうた12つき』
⑬『がんばれ さるの さらんくん』 ⑭『そらいろのたね』
⑮『うしかたとやまうば』 ⑯『ぶたぶたくんのおかいもの』
⑰『おによりつよいおれまーい』 ⑱『三びきの やぎの がらがらどん』
⑲『ふるやのもり』 ⑳『だいちゃんとうみ』
㉑『こんとあき』 ㉒『おなかのかわ』
9月14日：A.①②③ B.④⑤⑥ 21日：A.⑦⑧⑨ B.⑩⑪⑫
10月5日：A.⑬⑭⑮ B.⑯⑰⑱ 12日：A.⑲⑳㉑ B.㉒①②③
19日：A.④⑤⑥ B.⑦⑧⑨ 26日：A.⑩⑪⑫ B.⑬⑭⑮

2)「だいいちテレビアナウンサーの絵本読み語り会」

概要：観覧会開幕初日にあわせ、静岡第一テレビアナウンサーによる出品作品の絵本の読み語りを行った。あわせて、担当学芸員の作品解説も行った。

日時：9月14日(土)11:00－
会場：展示室内「絵本のへや」 参加者数：121人
参加料：観覧料

内容：『ぐりとぐら』、『こんとあき』、『いちごばたけのちいさなおばあさん』、『いねになったてんによ』

3)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。

日時：9月22日(日)、10月14日(月・祝)
いずれも 14:00－
会場：展示室 参加者数：計83人
参加料：観覧料

印刷物：



◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 5,000枚
※片面には市内図書館連携事業案内を掲載



4) 講演会「子どもと絵本、大人も絵本を」

概要：「こどものとも」の生みの親であり、本展出品作品の大半に編集者として携わった松居直氏を講師に迎え、編集者として、また児童文学者の立場から絵本そして言葉の大切さについて語った。

日時：9月23日(月・祝)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**125人

講師：松居直氏(児童文学者、「こどものとも」初代編集長)

主要広報記録：

◆新聞

・「絵本は「読み聞かせるもの」 静岡市美術館で松居直氏講演」『産業経済新聞』静岡版、9月24日。



5) 柿木原さんの絵本ワークショップ

A. 「絵本とおもちゃのおはなし」

概要：デザイナーで絵本作家でもある柿木原政広氏と、市内の絵本とおもちゃの専門店「百町森」代表の柿田友広氏を講師に迎え、普段美術館を利用しにくい0~2歳の子とその親を対象に実施。おすすめの絵本や柿木原氏らが考案したカードゲーム「Rocca」のほか、日本では馴染みのない、海外の質の高いおもちゃについても紹介した。

日時：9月28日(土)13:00-16:00

会場：多目的室

対象・参加者数：0~2歳の子とその母(家族も可) 25組71人

参加料：1組につき500円

講師：柿木原政広氏(アートディレクター)、柿田友広氏(子どもの本とおもちゃ「百町森」代表)



B. 「ひともじえほん」

概要：柿木原政広氏を含む人気絵本『ひともじえほん』作者3名を講師に迎えた制作ワークショップ。会場に巨大な紗幕を設置し、グループ毎に影絵を披露、それを撮影した。人気の絵本の続編の内容をワークショップにするという貴重な事業となった。

日時：9月29日(日)13:00-16:30

会場：多目的室 **対象・参加者数：**小学生以上 44人

参加料：1人につき500円

講師：柿木原政広氏(アートディレクター)、近藤良平氏(ダンス集団・コンドルズ主宰)、山本尚明氏(写真家)



作品リスト

※「No.」は通し番号。

| No. | 作者 | 作品名 | 書誌事項(初出) | 著者 | 刊行年月 | 出版社 | 点数 |
|-----|---------|-------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------|-------|----|
| 1 | 秋野不矩 | うらしまたろう | 「こどものとも」200号増刊 | 時田史郎・再話/秋野不矩・画 | 1972.11 | 福音館書店 | 6 |
| 2 | 池田龍雄 | 三びきの やぎの がらがらどん | 「こどものとも」38号 | 瀬田貞二・訳/池田龍雄・画 | 1959.05 | 福音館書店 | 4 |
| 3 | 太田大八 | どうぶつたちのおかいもの | 「こどものとも」242号 | 渡辺茂男・作/太田大八・絵 | 1976.05 | 福音館書店 | 8 |
| 4 | 太田大八 | だいちゃんとうみ | 「こどものとも」281号 | 太田大八・作/絵 | 1979.08 | 福音館書店 | 16 |
| 5 | 小野かおる | われたたまご | 「こどものとも」197号 | フィリピン民話/小野かおる 再話・画 | 1972.08 | 福音館書店 | 7 |
| 6 | 小野かおる | はなかげこぶた | 「普及版こどものとも」 | 小野かおる・作/絵 | 1982.12 | 福音館書店 | 8 |
| 7 | 小野木 学 | たらばがにの はる | 「こどものとも」168号 | 安藤美紀夫・作/小野木学・絵 | 1970.03 | 福音館書店 | 6 |
| 8 | 桂 ゆき | びちこちゃんの けっこん | 「こどものとも」180号 | ペラ・ヘルド・原作/木島 始・文/桂 ゆき・画 | 1971.03 | 福音館書店 | 4 |
| 9 | 小出保子 | とんとんとめてくださいな | 「福音館のペーパーバック絵本」 | 小出淡・文/小出保子・絵 | 1981.09 | 福音館書店 | 15 |
| 10 | 佐藤忠良 | おおきなかぶ | 「こどものとも」74号 | ロシア民話/内田莉紗子・訳/佐藤忠良・画 | 1962.05 | 福音館書店 | 14 |
| 12 | 佐藤忠良 | 三びきのこぶた | 「世界おはなし絵本」7 | ミハルコフ・作/内田莉紗子・文/佐藤忠良・絵 | 1966.12 | 偕成社 | 3 |
| 13 | 関野準一郎 | うしかたとやまうば | 「こどものとも」191号 | 瀬田貞二・再話/関野準一郎・画 | 1972.01 | 福音館書店 | 6 |
| 14 | 田島征三 | ふるやのもり | 「こどものとも」106号 | 瀬田貞二・再話/田島征三・画 | 1965.01 | 福音館書店 | 6 |
| 15 | 長 新太 | がんばれ さるの さらんくん | 「こどものとも」24号 | 中川正文・作/長 新太・画 | 1958.03 | 福音館書店 | 6 |
| 16 | 長 新太 | ごろごろ にゃーん | 「こどものとも」238号 | 長 新太・作/画 | 1976.01 | 福音館書店 | 10 |
| 17 | 長 新太 | どろんげん | 「こどものとも」500号 | 長 新太・作 | 1997.11 | 福音館書店 | 4 |
| 18 | 長 新太 | おしゃべりなたまごやき(新版) | 「日本傑作絵本シリーズ」 | 寺村輝夫・作/長 新太・作 | 1972.12 | 福音館書店 | 6 |
| 19 | 寺島龍一 | なんきよくへいったしろ | 「こどものとも」5号 | 瀬田貞二・作/寺島龍一・画 | 1956.08 | 福音館書店 | 4 |
| 20 | 富山妙子 | クリスマスのほし | 「こどものとも」105号 | 上沢謙二・案/富山妙子・画 | 1964.12 | 福音館書店 | 6 |
| 21 | 中谷千代子 | ジोजオの かんむり | 「こどものとも」52号 | 岸田衿子・作/中谷千代子・画 | 1960.07 | 福音館書店 | 4 |
| 22 | 中谷千代子 | いちごばたけの ちいさなおばあさん | 「こどものとも」206号 | わたりむつこ・作/中谷千代子・絵 | 1973.05 | 福音館書店 | 10 |
| 23 | なかのひろたか | ちょうちんあんこう | 「こどものとも」126号 | なかのひろたか・作/絵 | 1966.09 | 福音館書店 | 10 |
| 24 | なかのひろたか | ぞうくんのさんぽ | 「こどものとも」147号 | なかのひろたか・作と絵/なかのまさたか・レタリング | 1968.06 | 福音館書店 | 10 |
| 25 | 林 明子 | はじめてのおつかい | 「こどものとも」240号 | 筒井頼子・作/林 明子・絵 | 1976.03 | 福音館書店 | 8 |
| 26 | 林 明子 | おふろだいすき | 「日本傑作絵本シリーズ」 | 松岡享子・作/林明子・絵 | 1982.04 | 福音館書店 | 6 |
| 27 | 林 明子 | こんとあき | 「日本傑作絵本シリーズ」 | 林明子・作 | 1989.06 | 福音館書店 | 9 |
| 28 | 稗田一穂 | しらさぎのくるむら | 「こどものとも」31号 | いぬいとみこ・作/稗田一穂・画 | 1958.10 | 福音館書店 | 6 |
| 29 | 土方久功 | ぶたぶたくんのおかいもの | 「こどものとも」175号 | 土方久功・作/絵 | 1970.10 | 福音館書店 | 6 |
| 30 | 土方久功 | おによりつよいおれまーい | 「こどものとも」232号 | サトワヌ島民話/土方久功・再話/画 | 1975.7 | 福音館書店 | 4 |
| 31 | 堀 文子 | ピップとちょうちよう | 「こどものとも」1号 | 与田準一・作/堀 文子・画 | 1956.04 | 福音館書店 | 6 |
| 32 | 堀 文子 | はなとあそんできたふみこちゃん | 「こどものとも」25号 | 与田準一・作/堀 文子・画 | 1958.04 | 福音館書店 | 4 |
| 33 | 水四澄子 | いねになったてんよ | 「こどものとも」151号 | インドネシア民話/君島久子・再話/水四澄子・画 | 1986.10 | 福音館書店 | 6 |
| 34 | 村山知義 | おなかのかわ (旧版) | 「こどものとも」32号 「普及版こどものとも」 | 鈴木三重吉・訳/村山知義・画 | 1958.11 1975.02 | 福音館書店 | 14 |
| 35 | 矢吹申彦 | きょうりゅうが すわっていた | 「こどものとも」537号 | 市川宣子・作/矢吹申彦・絵 | 2000.12 | 福音館書店 | 12 |
| 36 | 山中春雄 | べにろいやるのおにたいじ | 「こどものとも」15号 | 吉田甲子太郎・訳/山中春雄・画 | 1957.06 | 福音館書店 | 4 |
| 37 | 山本忠敬 | しょうぼうじどうしゃ じぶた | 「こどものとも」91号 | 渡辺茂男・作/山本忠敬・絵 | 1963.10 | 福音館書店 | 14 |
| 38 | 山本忠敬 | のろまなローラー (新版) | 「こどものとも」113号 | 小出正吾・作/山本忠敬・絵 | 1965.08 | 福音館書店 | 4 |
| 39 | 山本忠敬 | でんしゃがはしる | 「こどものとも」267号 | 山本忠敬・作/絵 | 1978.06 | 福音館書店 | 6 |
| 40 | 山脇百合子 | ぐりとぐら | 「こどものとも」93号 | 中川李枝子・文/大村百合子・絵 | 1963.12 | 福音館書店 | 14 |
| 41 | 山脇百合子 | そらいろのたね | 「こどものとも」97号 | 中川李枝子・文/大村百合子・絵 | 1964.04 | 福音館書店 | 14 |
| 42 | 山脇百合子 | ぐりとぐらの うたうた12つき | 「日本傑作絵本シリーズ」 | 中川李枝子・作/山脇百合子・絵 | 2003.10 | 福音館書店 | 6 |
| 43 | 山脇百合子 | あひるのパーバちゃん | 「創作こども文庫」2 | 神沢利子・作/山脇百合子・絵 | 1974.10 | 偕成社 | 5 |
| 44 | 吉井 忠 | きんいろのつものしか | 「こどものとも」107号 | 安藤美紀夫・作/吉井忠・絵 | 1965.02 | 福音館書店 | 6 |

合計 327点

2-4 徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜

会期：11月2日(土) - 12月15日(日)

前期：11月2日(土) - 11月24日(日)

後期：11月26日(火) - 12月15日(日)

概要：大正2年11月22日、最後の将軍・徳川慶喜(1837-1913)は76年の生涯を閉じた。彼は30歳の時、江戸幕府の政権を朝廷に帰し、近代国家創設に大きな役割を果たした。これを機に、慶喜は生まれ変わる。維新後30年間過ごした静岡では、前将軍という政治性を消し去るかのようになり、銃猟や囲碁、謡、刺繍、自転車、当時最新の油彩画や写真術に没頭した。その歩みは、彼を政治家から文人へと変貌させ、文化面に大きな足跡を残すことになった。没後100年にあたる今秋、徳川慶喜家第四代当主・徳川慶朝氏のご協力のもと、松戸市戸定歴史館と静岡市美術館は、共同で歴史と美術の両面から慶喜に迫った。慶喜の「分身」としてパリに渡った弟・昭武の屋敷、戸定邸のある戸定歴史館では、近年発見された政権返上(大政奉還)に関する重要資料や徳川家秘蔵の文書類によって、維新史、慶喜家の歴史を新たな視点で読み解いた。慶喜の旧居・紺屋町邸(現・浮月楼)に隣接する静岡市美術館では、洋学の最高峰・幕府開成所ゆかりの画家たち、中嶋仰山、高橋由一、島霞谷、川村清雄らの作品と慶喜の油彩画を一堂に公開した。本展では、徳川慶喜が投げかけるメッセージを歴史と美術、二つの視点からさぐった。

共同企画：松戸市戸定歴史館 会期 10月5日(土) - 12月15日(日)

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

助成：芸術文化振興基金

観覧料：一般 1,100円(900円)

大高生・70歳以上 700円(500円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

観覧者数：15,260人(有料 10,732人、無料 4,528人、有料率 70.32%)

出品点数：350件

印刷物：松戸市戸定歴史館と共通とした。

1)チラシ

<仕様>紙：ユーライト 110kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 95,000部

2)ポスター

<仕様>紙：マットコート 135kg (B1)

ユーライト 135kg (B2・B3)

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 2,420部

(うち220枚はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ中面



B1・B2 ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様> 225×296mm、183頁



カタログ表紙



カタログ裏表紙

カラー図版 569 点

参考図版(カラー 13 点 モノクロ 43 点)

総出品点数 402 点

徳川慶朝「没後100年 徳川慶喜展 開催にあたって」

齊藤洋一「徳川慶喜を巡る3つの視点」

加藤真保/吉田恵理「静岡市立清水中央図書館「徳川文庫」-その成立と蔵書印に関する調整報告」

吉田恵理「徳川慶喜の書画に関する覚書」

徳川慶喜 署名・花押・落款・印章/徳川慶喜関係系図/徳川慶喜関係年表/主要参考文献/出品目録 等

編集・発行：松戸市戸定歴史館、静岡市美術館

発行年：2013年

その他出版物：

◆『徳川慶喜公歌集』

慶喜3年祭にあわせ、遺族によって編まれただろ同書の影印本。松戸市戸定歴史館本を底本とし、影印、書誌・解題、翻刻を掲載。

<仕様>193×272mm、72頁



表紙

影印(カラー 61頁)書誌・解題、板木図版 カラー 1点

編集協力：静岡市美術館(大石沙織、吉田恵理)

発行：松戸市戸定歴史館

発行年：2013年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)鑑賞ガイド

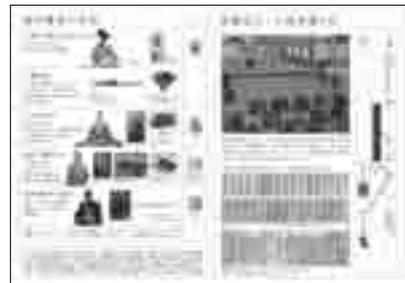
静岡市内小学校5・6年生に対し、本展の鑑賞ガイドを作成、配布した。

<仕様>紙：上質紙 90kg

サイズ・加工・数量：A4二つ折り(仕上A5) 30,000部



鑑賞ガイド 裏/表面



鑑賞ガイド 中面

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者へ優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)市外慶喜ゆかりの地との連携

慶喜終焉の地である東京都文京区の「徳川慶喜没後100年実行委員会」主催の各所でのイベント、渋沢史料館(東京都北区)、春日部市郷土資料館(埼玉県)、茨城県立歴史館(茨城県水戸市)、松戸市戸定歴史館(千葉県)で開催される各種展覧会、講演会などのイベントに対して、共通ロゴ・チラシを制作、相互協力をもって、慶喜没後100年をもちあげた。

制作物：

◆早刷チラシ

<仕様>紙：ユーライト 90kg

サイズ・数量：A4 15,000部



チラシ表

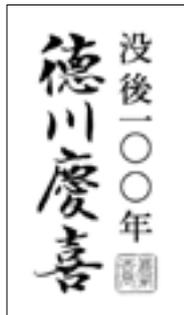


チラシ裏

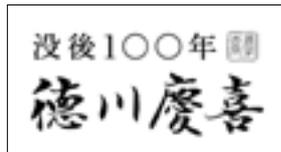
◆展覧会共通ロゴ

計3種

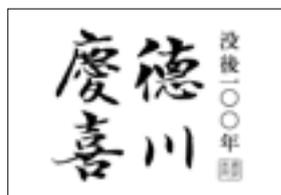
展覧会にあわせ共通ロゴを作成、全国各所の慶喜ゆかりのイベントで使用した。



タイプ1



タイプ2



タイプ3

3)市内慶喜ゆかりの地との連携

慶喜邸屋敷跡で、現在料亭を営む浮月楼が主催した「徳川慶喜公100年祭」に対し、美術館として協力。広報相互協力や、旅行社向けの団体鑑賞プランなどを実施した。

また、久能山東照宮・日本平ロープウェイとは、夏休みにあわせ共通でうちわを制作し、配布した。

制作物：

◆うちわ

<仕様>

サイズ・数量：直径185mm 縦275mm (柄つき) 8,000部



うちわ表



うちわ裏

4)市内図書館との連携

静岡市立清水中央図書館が所蔵する、徳川慶喜家の蔵書「徳川文庫」の和漢書を、同館司書と共同調査し、清水中央図書館エントランスにて10月24日～12月17日まで4期に分けて「静岡市美術館没後100年徳川慶喜展 共催展示」がなされた。また各市立図書館では、慶喜コーナーを設置し、鑑賞ガイドや本展チラシの配布がされた。

5)市内団体等との連携

慶喜公の警護にあたった新門辰五郎が静岡にもたらした「木遣唄」の静岡木遣の保存・普及に努めている東嘉会と葵小学校の児童たちの協力により、本展開幕式のために、「没後100年 徳川慶喜展」と題する「静岡木遣」が特別に披露された。この木遣に先導され、開幕式会場より、内覧会へ移行し、本展が開幕した。



主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「静岡市美術館 徳川慶喜展」静岡朝日テレビ『ANNニュース 県内ニュース』、11月2日放送。
- ・「開運！家康さんば 特別編 本当は面白い！徳川慶喜」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月8日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館 アートシーン』、11月17日放送。
- ・「徳川慶喜展 特別鑑賞会」静岡朝日テレビ『ANNニュース 県内ニュース』、11月22日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『おまかせっ！アナウンス部』、11月23、24日、12月2-5、7、9-12、14日放送。
- ・「徳川慶喜展 其の一」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月27日放送。
- ・「徳川慶喜展 其の二」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月28日放送。
- ・「徳川慶喜展 其の三」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、12月3日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『ANNニュース 県内ニュース』、12月6日放送。
- ・「静岡市美術館 没後100年徳川慶喜展入場者1万人」静岡朝日テレビ『ANNニュース 県内ニュース』、12月7日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、12月10、11日放送。

2)新聞

- ・「徳川家康公顕彰400年記念事業 没後100年徳川慶喜」『毎日新聞』静岡版、10月24日。
- ・「「最後の将軍」慶喜をたどる 没後100年 重文など展示 静岡で来月2日から」『朝日新聞』静岡版、10月31日。
- ・「静岡市美術館で徳川慶喜展開催 直筆の書など350点」『日本経済新聞』静岡版、11月2日。
- ・唐沢裕亮「将軍慶喜 波乱の生涯350点 大政奉還後、静岡に30年…写真、油彩画も 徳川幕府最後「没後100年展」始まる 葵区の市美術館」『中日新聞』静岡版、11月3日。
- ・山本佳孝「最後の将軍 慶喜の軌跡」『毎日新聞』静岡版、11月9日。
- ・高階秀爾「目は語る11月 維新の功労者 徳川慶喜 西洋文化習得した風雅文人」『毎日新聞』全国版、11月13日。
- ・「「文人」慶喜の足跡をたどる「没後100年徳川慶喜」展」『日本経済新聞』全国版、11月17日。
- ・「静岡市美術館で徳川慶喜展」『静岡新聞』、11月19日。
- ・「慶喜の生涯、書画で紹介 静岡没後100年、350点を展示」『静岡新聞』、11月27日。
- ・小川雪「徳川慶喜「名誉回復」の裏側 過去は「サッパリ捨て」…天皇拝謁 親王が説得」『朝日新聞』（夕刊）全国版、11月27日。
- ・田村広済「徳川慶喜、洋画家の一面 没後100年研究進む 美術史に位置付ける動き」『日本経済新聞』全国版、11月30日。
- ・「自筆の油彩画など350点 静岡市美術館で徳川慶喜展」『産業経済新聞』静岡版、12月1日。
- ・「「徳川慶喜展」来場1万人突破 静岡市美術館」『日本経済新聞』静岡版、12月7日。
- ・今井智文「慶喜展 観覧1万人 静岡市美術館」『中日新聞』静岡版、12月7日。

3)雑誌他

- ・「文人としての知られざる一面を知る 没後100年徳川慶喜」『ギャラリー』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『歴史人』、11月号。
- ・「最後の将軍徳川慶喜～没後百年に振り返る」『江戸楽』、11月号。
- ・「展覧会紹介」『歴史読本』、12月号。
- ・「この秋、没後100年 知っていますか？徳川慶喜公の素顔」『リビング静岡』、1440号。
- ・「初公開作品を含む約350点の資料 維新後の知られざる慶喜の素顔に迫る」『歴史人』、12月号。
- ・「新発見資料を含む約350件 幼少期～最晩年の実像に迫る没後100年 徳川慶喜展」『中日ショッパー』、11月22日・29日号、12月13日号。

4)ウェブサイト等

- ・「「博物館×美術館」コラボで慶喜に迫る」『NHKニュースウェブ』、12月7日-14日掲載。

以下媒体名のみ記載

「アットエス」、「歴史人」、「artscape」、「静岡朝日テレビ」、「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」



12月6日 入場者1万人達成

関連事業：

1)写真展「徳川慶喜の姿」

概要：「没後100年 徳川慶喜」展の開催にあわせ、幼少期から晩年までに描かれた、或いは古写真に撮影された「徳川慶喜の姿」を紹介した。なお、本展は慶喜ゆかりの地として連携した、春日部市郷土資料館でも先行して巡回展示を実施した。

会期：10月5日(土)～12月15日(日)

会場：葵タワー1階エントランス

協力：松戸市戸定歴史館

協賛：葵タワー管理組合法人

主要広報記録：

◆新聞

・石原猛「徳川慶喜さまざまな姿 葵タワーで写真展 軍服着た将軍時代や趣味の写真撮影など」『中日新聞』静岡版、10月18日。



2)対談「徳川慶朝氏とカフェ・トーク」

概要：徳川慶喜家第四代当主・徳川慶朝氏を招き、当館学芸員と対談した。カメラマンでもある徳川氏が、慶喜撮影写真や慶喜家について紹介。氏が監修し、慶喜が飲んでいたコーヒーに近づけた「徳川将軍珈琲」の入れ方も紹介し、参加者にふるまった。

日時：11月3日(日・祝)10:30～11:30

会場：多目的室 参加者数：50人

参加料：1,500円(招待券・将軍珈琲付)

対談者：徳川慶朝氏(徳川慶喜家第四代当主)、吉田恵理(当館学芸員)



3)講演会①「徳川慶喜没後100年が投げかけるメッセージ」

概要：当館との共同企画館である松戸市戸定歴史館の齊藤洋一氏を講師に迎え、慶喜が被写体となった写真や、パリ万博出品の開成所の画家による油彩画、徳川慶喜家の誕生秘話、徳川宗家文書などにおける新知見を含めた長年の研究成果についての講演を行った。

日時：11月9日(土)14:00～15:30

会場：多目的室 参加者数：75人

講師：齊藤洋一氏(松戸市戸定歴史館館長補佐)



4)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。

日時：11月10日(日)、12月8日(日)14:00～(30分程度)

会場：展示室 参加者数：61人

参加料：観覧料



5)シンポジウム

「徳川慶喜の油彩画を読む―幕府開成所と近代洋画」

概要：日本近代洋画史や幕府開成所研究の第一人者を招き、基調講演とディスカッションを実施。慶喜の油彩画を美術史上に位置付ける試みをした。予定時間を上回る長丁場の会となった。

日時：11月16日(土)14:00-16:30

会場：多目的室 参加者数：61人

講演者(パネラー)：

- ①山梨絵美子氏(東京文化財研究所企画情報部副部長)
演題「徳川慶喜公の油彩画とその周辺」
- ②滝澤正幸氏(長野県主幹学芸員)
演題「洋画の先覚者 川上冬崖と「開成所」資料」
- ③齊藤洋一氏(松戸市戸定歴史館館長補佐)
演題「徳川慶喜と写真・油彩画 中嶋仰山と開成所の人々」
- ④古田亮氏(東京藝術大学大学美術館准教授)
演題「高橋由一 開成所から近代洋画へ」

司会：吉田恵理(当館学芸員)



6)講演会②

「『徳川慶喜公伝』編さんへの道―渋沢栄一への熱き想い」

概要：渋沢史料館で、「『徳川慶喜公伝』と渋沢栄一」展を企画担当した関根仁氏を招き、25年もの歳月を費して『徳川慶喜公伝』を編んだ渋沢栄一が、どのように『公伝』を編さんしていったのかを、彼の思いとともに紹介した。

日時：11月30日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：146人

講師：関根仁氏(渋沢史料館学芸員)



7)徳川慶喜展 特別鑑賞会

概要：徳川慶喜展開催中のイベント。浮月楼での昼食をしつつ、静岡出身のフラワーデザイナーによるフラワーアレンジメントのデモンストレーションを鑑賞。その後、当館学芸員による展覧会の解説や浮月楼と慶喜とのかかわりを紹介、食後、展覧会自由鑑賞を実施した。

日時：11月21日(木)12:00-(開場11:30)

会場：浮月楼 参加者数：49人

参加料：5,000円(ランチ、展覧会鑑賞券込)

講師：村松文彦氏(フラワーデザイナー)、吉田恵理(当館学芸員)

外部からの評価：

1)第2回ジャポニスム学会 展覧会賞受賞

本展は、ジャポニスムあるいは日本と海外との文化交流を主題にした優れた展覧会として評価され、第2回展覧会賞(2013年1月-12月までの間に行われた展覧会より選出)を受賞した。

主要広報記録：

◆新聞

- ・「第2回ジャポニスム学会展覧会賞」『朝日新聞』(夕刊)全国版、2014年4月7日。
- ・「第2回ジャポニスム学会(2014年度)展覧会賞に「没後100年徳川慶喜展」決まる」『新美術新聞』No.1342、2014年4月21日。



賞状

作品リスト

- ・会期中展示替えを行った。
- ・本リストの「No.」は図録の番号と一致し、欠番は静岡会場未出品である。

一章 七郎は天晴れ名将とならん

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|---------------------|---------|-------|--------|------------------|-------------|
| 1 | 五郎麻呂七歳 七郎麻呂七歳 | 内藤業昌筆 | 双幅 | 絹本着色 | 天保14年 | 鳥取神社(釧路) |
| 2 | 書「進思尽忠」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 天保13年 | 東京都日蓮宗国土安穩寺 |
| 3 | 書「匡救其悪」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 天保13年 | 渋沢史料館 |
| 4 | 書「仁者楽山」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 天保13年 | 下田開国博物館 |
| 5 | 書「愛敬」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 天保14年 | 久能山東照宮博物館 |
| 6 | 書「依於仁」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 天保14年 | 渋沢史料館 |
| 8 | 「游於藝」額 | 徳川斉昭筆 | 1面 | 木製(樺板) | | 弘道館事務所 |
| 9 | 徳川斉昭書(童名 名字 字並花押 号) | | 1通 | 紙本墨書 | 名字:弘化4年8月 | 久能山東照宮博物館 |
| 11 | 「水戸旧城之図」 | | 1枚 | 紙本着色 | 江戸後期(19世紀) | 松戸市戸定歴史館 |
| 12 | 手記(慶徳・慶喜四〜六歳頃の記録) | | 1冊 | 紙本墨書 | 江戸後期(19世紀) | 個人蔵 |
| 13 | 「弘道館御用留」 | | 1冊 | 紙本墨書 | 天保12年8月〜嘉永6年12月 | 茨城県立歴史館 |
| 14 | 徳川斉昭 | 渡辺雪溪筆 | 1幅 | 絹本着色 | 文久元年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 15 | 琵琶 徳川斉昭所用 | 伝 徳川斉昭作 | 1面 | | 江戸後期(19世紀) | 静岡浅間神社 |
| 16 | 「烈公御真輪」(徳川斉昭書簡 慶喜宛) | | 4冊 | 紙本墨書 | 弘化4年9月頃〜安政5年7月5日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 17 | 和歌懐紙(3、4、5) | 吉子筆 | 5枚のうち | 紙本墨書 | 弘化4年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 18 | 旭日山水図 | 徳川家慶筆 | 1幅 | 紙本着色 | 江戸時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 19 | 蓬萊山図 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本着色 | 安政5年頃 | 渋沢史料館 |
| 20 | 日の出梅花の図 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本着色 | 安政〜文久頃 | 福井市立郷土歴史博物館 |

二章 十五代將軍

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|---|------------|---------|----------|------------------------|------------|
| 21 | 紅梅図自画賛 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本着色 | 元治元〜慶応頃 | 個人蔵 |
| 22 | 書「忠則無二心」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 絹本墨書 | 慶応3年 | 安楽寺(大宮) |
| 23 | 卯花威胴丸 徳川慶喜所用 | 明珍宗次作 | 1領 | | 江戸後期(19世紀) | 久能山東照宮博物館 |
| 24 | 重要文化財 太刀 銘 正恒 附 葵紋糸巻太刀拵 | 徳川慶喜寄進 | 1口 | | 平安後期(12世紀) | 久能山東照宮博物館 |
| 25 | 刀 銘 平安城長吉作 暦応二年八月日 附 菊桐紋時絵糸巻太刀拵 徳川慶喜所用 | | 1口 | | 暦応2年8月 | 久能山東照宮博物館 |
| 26 | 日本三景図中啓(谷口藤山筆 宮島図、 鶴澤探真筆 橋立図、原伊勢介筆 松島図) | | 3握のうち | 紙本着色 | 江戸後期(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 27 | 「日本外史之内」禁門の変 | 小林清親画 | | 豎大判錦絵3枚続 | 明治15年 | 沼津市明治史料館 |
| 28 | 古写真 徳川慶喜(衣冠) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2年3月頃 | 茨城県立歴史館 |
| 29 | 古写真 徳川慶喜(座像・刀) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 30 | 古写真 徳川慶喜(立像・椅子) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 31 | 「支配向被仰渡御書付留 玄捨五冊之内六(御目付)」 | | 15冊のうち | 紙本墨書 | 慶応2年1月〜9月 | 茨城県立歴史館 |
| 32 | 古写真 徳川慶喜(馬上・洋装) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 33 | 古写真 徳川慶喜(馬上) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 34 | 古写真「西京ニ於テ乗用之馬 飛電」 | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2〜3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 35 | 古写真「京都御旅館御殿之図」 | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 36 | 古写真 徳川慶喜(顔・正面) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| | 古写真 徳川慶喜(顔・正面) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 松戸市戸定歴史館 |
| 37 | 古写真 徳川慶喜(衣冠・刀掛) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 38 | 古写真 徳川慶喜(洋装・着色) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 39 | 古写真 徳川慶喜(洋装・着色) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2〜3年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 42 | 古写真 徳川慶喜(立像・洋装) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2〜3年頃 | 松戸市戸定歴史館 |
| 44 | 古写真 徳川慶喜(座像・袴姿) | F.W.サットン撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応3年3月29日カ | 茨城県立歴史館 |
| 45 | ザ・イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 慶喜紹介記事 一八六七年版(八月十日号・二十四日号) | | | 紙、印刷 | 慶応3年 | 東京都江戸東京博物館 |
| 46 | 一八六七年パリ万国博覧会図集 | | 2冊のうち1冊 | 紙、印刷 | 慶応3年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 48 | 古写真 徳川慶喜 | ディステリ複写 | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応3年頃 | 松戸市戸定歴史館 |
| 49 | 古写真 徳川昭武 | ディステリ撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応3年6月4日/ 1867年7月5日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 56 | 「伝行日記」 | 渋沢栄一筆 | 1冊 | 紙本墨書 | 慶応3年1月3日〜3月8日 | 松戸市戸定歴史館 |

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-------|------------------------------------|--------|----|----------|----------------|-------------|
| 58 | 古写真 ナポレオン三世 | | 1枚 | 鶏卵紙 | 19世紀 | 松戸市戸定歴史館 |
| 60 | 軍帽 徳川慶喜所用 | | 1頭 | | 19世紀 | 久能山東照宮博物館 |
| 61 | 鞍下 徳川慶喜所用 | | 1枚 | | 19世紀 | 久能山東照宮博物館 |
| 62 | 洋式軍装馬具 徳川慶喜下賜 | | 1具 | | 19世紀 | 福井市立郷土歴史博物館 |
| 63 | 胸甲騎兵用甲冑 | | 1領 | | 19世紀 | 靖国神社遊就館 |
| 64 | 古写真「京都御旅館ノ一部」 | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 65 | 古写真「御旅館裏御門前之図」 | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 66 | 古写真「二条城 本丸一」「二条城 本丸二」(本丸仮御殿) | | 2枚 | 鶏卵紙 | 慶応2～3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 68 | 古写真「二条城内之図」(本丸より二の丸を望む) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2～3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 70 | 古写真「二条城内之図」(二の丸庭園より溜槽方向を見る) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応2～3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 72 | 古写真「二条城内之図」(二の丸黒書院外觀) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2～3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 73 | 古写真「二条城内之図」(二の丸大広間外觀) | | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 慶応2～3年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 74 | 大政奉還 下図 | 邨田丹陵筆 | 1面 | 紙本着色 | 大正末～昭和初期(20世紀) | 明治神宮 |
| 75 | 「十月十三日於京地被 仰出候御書付写」(包紙) | | | 紙本墨書 | (慶応3年)10月13日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 75-1 | (大政奉還につき諸藩重臣への諮問書) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応3年)10月13日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 76 | 大政奉還上意書 | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応3年)10月 | 茨城県立歴史館 |
| 77 | 政権を朝廷に奉還建白写 | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応3年)10月14日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 78 | 十月去ル十五日御所より被 仰出候御書付写二通(包紙) | | | 紙本墨書 | (慶応3年)10月15日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 78-1 | (十月去ル十五日御所より被 仰出候御書付写) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応3年)10月15日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 78-2 | (外夷一条取扱方沙汰書) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応3年)10月15日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 79 | (徳川慶喜奏聞状写) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)正月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 80 | 上意之書付(包紙) | | | 紙本墨書 | (慶応4年)正月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 80-1 | (徳川慶喜上奉書写) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)正月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 81 | (徳川慶喜上意触書写)大目付・御目付江 | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)正月12日 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 82 | (徳川慶喜謹慎願) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)2月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 83-1 | (御征討使御差向猶予之儀二付徳川慶喜上書) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)2月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 83-2 | (徳川慶喜上書別紙) | | 1通 | 紙本墨書 | (慶応4年)2月 | 個人蔵(徳川宗家文書) |
| 84 | 江戸開城談判 下図 | 結城素明筆 | 1面 | 紙本着色 | 大正末～昭和初期(20世紀) | 明治神宮 |
| 85 | 宝珠自画賛 | 山岡鉄舟筆 | 1枚 | 紙本墨書 | 江戸時代(19世紀) | 松戸市戸定歴史館 |
| 86 | 山岡鉄舟手記(慶応戊辰三月駿府大総督府に於いて西郷隆盛氏と談判筆記) | | 1冊 | 紙本墨書 | 明治5年12月 | 静岡県立中央図書館 |
| 88 | 大久保一翁 | 川村清雄筆 | 1面 | キャンバス、油彩 | 明治20年頃 | 個人蔵 |
| 89 | 関口隆吉 | 邨田丹陵筆 | 1幅 | 絹本着色 | 明治時代(19世紀) | 久能山東照宮博物館 |
| 90 | 古写真 新村出 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26～30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 91 | 白地葵紋付青海波文様陣羽織 徳川慶喜下賜 | | 1領 | | 江戸後期(19世紀) | 個人蔵 |
| 92 | 黒塗葵紋付唐草蒔絵袴 徳川慶喜下賜 | | 1具 | | 江戸後期(19世紀) | 個人蔵 |
| 93 | 黒塗葵紋指揮棒 徳川慶喜下賜 | | 1本 | | 江戸後期(19世紀) | 個人蔵 |
| 94 | 「日記」 新門辰五郎遺品 | | 1冊 | 紙本墨書 | 元治元年6月～12月 | 元離宮二条城事務所 |
| 95 | 新門辰五郎 | 五姓田芳柳筆 | 1幅 | 絹本着色 | 明治14年 | 元離宮二条城事務所 |
| 96 | 法被 新門辰五郎遺品 | | 1領 | | 江戸後期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |
| 97 | 火消頭巾 新門辰五郎遺品 | | 1頭 | | 江戸後期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |
| 98 | 鷹口 新門辰五郎遺品 | | 1本 | | 江戸後期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |
| 99 | 「を」組纏印 新門辰五郎遺品 | | 1枚 | | 江戸後期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |
| 100 | 新門仲書簡 新門辰五郎遺品 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治初期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |
| 100-1 | 新門仲書簡付属資料：図面 新門辰五郎遺品 | | 1枚 | 紙本墨書 | 明治初期(19世紀) | 元離宮二条城事務所 |

三章 文人の営みと眼差し

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-------|---------------|--------|----|--------|------------|---------|
| 101 | 古写真 静岡宝台院の図複写 | 中嶋仰山原画 | 1枚 | P.O.P. | 明治初期(19世紀) | 茨城県立歴史館 |
| 103 | 位記(叙従四位) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治5年1月6日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 103-1 | 参朝命令書 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治5年1月6日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 104 | 位記(叙正二位) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治13年5月18日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 104-1 | 理由書 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治13年5月18日 | 徳川慶朝氏蔵 |

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-------|-------------------------------|-----------------|--------|--------|--------------|------------|
| 104-2 | 參朝命令書 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治13年5月17日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 105 | 書「雲高气静」 | 徳川慶喜筆・ 勝海舟賛 | 1幅 | 絹本墨書 | 明治2年 | 弘道館事務所 |
| 108 | 徳川慶喜邸日誌 | | 43冊のうち | 紙本墨書 | 明治5～45年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 109 | 「近世人物誌 第二十 徳川慶喜公御簾中」 | 月岡芳年画 | 1枚 | 大判錦絵揃物 | 明治21年 | 静岡県立中央図書館 |
| 110 | 「教導立志基 徳川慶喜」 | 小林清親画 | 1枚 | 大判錦絵揃物 | 明治19年 | 東京都江戸東京博物館 |
| | 「教導立志基 徳川慶喜」 | 小林清親画 | 1枚 | 大判錦絵揃物 | 明治19年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 111 | 古写真 徳川美賀子(維新前) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 安政～慶応頃 | 茨城県立歴史館 |
| 112 | 古写真 徳川慶喜(胸像) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治7年4月 | 茨城県立歴史館 |
| 113 | 古写真 徳川美賀子(胸像) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治7年4月 | 茨城県立歴史館 |
| 114 | 古写真 徳川美賀子(座像) | | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治7年4月 | 茨城県立歴史館 |
| 115 | 古写真 徳川慶喜(立像・狩獵姿) | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 116 | 古写真 徳川美賀子(座像) | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 117 | 和歌短冊「生しより」 | 徳川美賀子筆 | 1枚 | 紙本墨書 | 嘉永7～明治元年頃 | 徳川記念財団 |
| 118 | 和歌短冊 「花 もろこしの」「我君の」「かくはかり」 | 徳川慶喜・ 徳川美賀子筆 | 3枚(1幅) | 紙本墨書 | 明治27年頃 | 渋沢史料館 |
| 119 | 徳川美賀子書簡 池田輝博宛 | | 1通 | 紙本墨書 | (明治26年)6月28日 | 東京都江戸東京博物館 |
| 120 | 古写真 徳川美賀子(胸像) | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26年頃 | 松戸市戸定歴史館 |
| 121 | 古写真 紺屋町邸 第一号 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 122 | 古写真 紺屋町邸 第二号 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 123 | 古写真 紺屋町邸 第三号 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 124 | 古写真 紺屋町邸(庭園) | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 125 | 古写真 紺屋町邸 第五号 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 126 | 古写真 紺屋町邸(池・舟) | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治20年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 127 | 「紺屋町御邸内絵図面」 | | 1枚 | 紙本着色 | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 129 | 古写真 西草深邸居間・離座敷 | | 1枚 | P.O.P. | 明治26～30年頃 | 松戸市戸定歴史館 |
| 130 | 古写真「静岡猫ハン」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26～30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 131 | 西草深邸絵図面 | | 1枚 | 紙本着色 | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 132 | 古写真 徳川慶喜・家達 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治21年 | 個人蔵 |
| 133 | 位記(叙従一位) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治21年6月19日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 133-1 | 理由書 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治21年6月19日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 134 | 古写真 徳川家達・慶久 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治21年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 135 | 古写真 鉄子・筆子 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治21年頃 | 個人蔵 |
| 136 | 古写真 浪子・国子・経子・糸子 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治21年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 137 | 古写真 厚・仲博・慶久・誠・精 | 徳田孝吉撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治21年頃 | 個人蔵 |
| 139 | 書「静中観物化」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 絹本墨書 | 明治9年 | 株式会社追分羊羹 |
| 140 | 「沼津鬘」額 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹本墨書 | 明治11年 | 沼津市明治史料館 |
| 141 | 「山高水長」額 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹本墨書 | 明治17年6月 | 松戸市戸定歴史館 |
| 142 | 書「泉声帯月静 松影入窓間」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 絹本墨書 | 明治10年代頃 | 渋沢史料館 |
| 143 | 「楽天理」額 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹本墨書 | 明治20～30年頃 | 沼津市明治史料館 |
| 144 | 書「身閑夢亦安」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 絹本墨書 | 明治35年頃 | 久能山東照宮博物館 |
| 145 | 古写真「間宮魁」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26～30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 146 | 間宮魁 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 麻本墨画 | 明治20～30年頃 | 久能山東照宮博物館 |
| 147 | 釣道具 附 道具入箆笥 徳川慶喜所用 | | 1式 | | 明治時代(19世紀) | 久能山東照宮博物館 |
| 158 | 弓懸 徳川慶喜所用 | | 1口 | | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 161 | 煙草入 附 煙管 徳川慶喜刺繍 | | 1点 | | 明治時代(19世紀) | 久能山東照宮博物館 |
| 163 | 印「慶喜」、「穆如清風」、「静中観物化」徳川慶喜所用 | | 3顆 | | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 164 | 印「慶喜」、「静以安人」、「允執厥中」徳川慶喜所用 | | 3顆 | | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 165 | 印「興山」徳川慶喜所用 | | 1顆 | | 明治時代(19世紀) | 茨城県立歴史館 |
| 166 | 象牙彫刻付葵印 徳川慶喜所用 | | 1顆 | | 明治時代(19世紀) | 徳川慶朝氏蔵 |
| 167 | 「写真画」(一位様御用品) | | | 紙、水彩 | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 168 | 紅白花卉図 | 徳川慶喜筆 | 1枚 | 紙、水彩 | | 松戸市戸定歴史館 |
| 169 | 西洋風景 | | 1枚 | 紙、水彩 | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 170 | 蓮華之図 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹、油彩 | | 東叡山護国院 |

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|---|---------|-----------|-------------------|------------|--------------------|
| 171 | 河畔風景 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 紙、油彩 | | 茨城県立歴史館 |
| 172 | 西洋風景 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹、油彩 | | 松戸市戸定歴史館 |
| 173 | 日本風景 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹、油彩 | | 久能山東照宮博物館 |
| 174 | 風景 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 紙、油彩 | 明治2～10年 | 静岡県立美術館 |
| 176 | 西洋風景 | 徳川慶喜筆 | 1面 | キャンバス、油彩 | | 久能山東照宮博物館 |
| 177 | 婦女図(来信) | 伝 川上冬崖筆 | 1面 | 布、油彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 178 | 群馬県指定文化財 バラと扇子を持つ女性 | 島霞谷筆 | 1面 | 布、油彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 179 | 小林更平 | 高橋由一筆 | 1面 | 布、油彩 | 明治3年 | 個人蔵 |
| 180 | 重要文化財 美人(花魁) | 高橋由一筆 | 1面 | 布、油彩 | 明治5年 | 東京藝術大学 |
| 181 | 海雲楼博物雑纂 | | | 紙本着色 | 文久3～慶応元年 | 東京都立中央図書館 特別文庫室 |
| 182 | 「うみがめ」 | 中嶋仰山筆 | 3幅 | 紙本着色 | 明治10年 | 国立科学博物館 |
| 183 | 「由緒書」(中嶋家) | | 1冊 | 紙本墨書 | | 個人蔵 |
| 184 | ナポレオン | 川上冬崖筆 | 1面 | 紙、鉛筆、水彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 185 | 草花図 | 川上冬崖筆 | 1面 | 洋紙、鉛筆、水彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 186 | 蝦蟇図 | 川上冬崖筆 | 1枚 | 絹、着彩 | 安政4～明治14年頃 | 早稲田大学図書館 |
| 187 | 鶏にかえる | 川上冬崖筆 | 1枚 | 紙、水彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 188 | 洋花 | 川上冬崖筆 | 1枚 | 紙、水彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 189 | 徳川家康 | 川上冬崖筆 | 1面 | 紙、鉛筆、水彩 | 安政4～明治14年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 190 | ヒポクラテス | 川上冬崖筆 | 1面 | 紙、墨 | 安政4～慶応2年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 191 | 群馬県指定文化財 ヒポクラテス | 高橋由一筆 | 1面 | 紙、着彩 | 慶応2年 | 個人蔵 |
| 192 | 群馬県指定文化財 古写真 庭に立つ女性 | | 1枚 | ガラス、湿板 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 193 | 群馬県指定文化財 庭に立つ女性 | 島霞谷筆 | 1面 | 布、油彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 194 | 群馬県指定文化財 芍薬を持つ女性 | 島霞谷筆 | 1幅 | 紙、着彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 195 | 群馬県指定文化財 団扇を持つ女性 | 島霞谷筆 | 1面 | 絹、着彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 196 | 群馬県指定文化財 三味線を持つ女性 | 島霞谷筆 | 1面 | 絹、着彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 197 | 群馬県指定文化財 池田筑後守 | 島霞谷筆 | 1幅 | 紙、墨 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 198 | 群馬県指定文化財 河田相模守 | 島霞谷筆 | 1幅 | 紙、墨 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 199 | 群馬県指定文化財 初代ナポレオン 下絵 | 島霞谷筆 | 1枚 | 紙、墨 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 200 | 群馬県指定文化財 徳川慶喜 | 島霞谷筆 | 1枚 | 洋紙、着彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 201 | 群馬県指定文化財 蛙 | 島霞谷筆 | 1枚 | 紙、墨 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 202 | 群馬県指定文化財 椿・木蓮 | 島霞谷筆 | 1枚 | 紙、鉛筆、着彩 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 203 | 群馬県指定文化財 月見草 | 島霞谷筆 | 1枚 | 紙、鉛筆、着彩 | 慶応3年頃 | 個人蔵 |
| 204 | 群馬県指定文化財 馬 | 島霞谷筆 | 1枚 | 洋紙、鉛筆 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 206 | 群馬県指定文化財 古写真 幕府開成所内部 | 島霞谷撮影 | 3枚 | ガラス、湿板 | 慶応3年9月頃 | 個人蔵 |
| 207 | 群馬県指定文化財 古写真 徳川茂栄とハラタマ | 島霞谷撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 慶応3年9月 | 個人蔵 |
| 208 | 群馬県指定文化財 古写真 島霞谷写真アルバム | 島霞谷撮影 | 1冊 | 鶏卵紙 | 慶応3～明治3年頃 | 個人蔵 |
| 209 | 石版画 西洋風景 島霞谷旧蔵 | | 1枚 | 洋紙、石版 | 19世紀 | 個人蔵 |
| 210 | 石版画 Erde Earth 島霞谷旧蔵 | | 1枚 | 洋紙、石版、着彩 | 19世紀 | 個人蔵 |
| 211 | 石版画 鮭 島霞谷旧蔵 | | 1枚 | 洋紙、石版、着彩 | 19世紀 | 個人蔵 |
| 212 | 石版画 オランダの祭 川上冬崖資料 | | 1枚 | 洋紙、石版 | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 213 | 石版画 北ドイツ連邦の成立 川上冬崖資料 | | 1枚 | 洋紙、石版 | 1867年頃 | 長野県信濃美術館 |
| 214 | 石版画 やまぎの巢 川上冬崖資料 | | 1枚 | 洋紙、多色石版 | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 215 | 石版画 谷間の礼拝堂 川上冬崖資料 | | 1枚 | 洋紙、多色石版 | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 216 | 古写真 雨中の砲兵隊 川上冬崖資料 | | 1枚 | モノクローム プリント | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 217 | 古写真 議事堂の東からの展望 川上冬崖資料 | | 1枚 | モノクローム プリント | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 218 | 古写真 オルフェウス 川上冬崖資料 | | 1枚 | モノクローム プリント、着彩 | 19世紀 | 長野県信濃美術館 |
| 219 | 「銃隊式沿革図」(第4、6、15、19、20、21、23、24、25、26、29、30図) | 近藤正純筆 | 30面のうち12面 | 紙、着彩 | 明治初期(19世紀) | 靖国神社遊就館 |
| 220 | 江戸城吹上御庭之図 | | 12面のうち4面 | 布、油彩 | 江戸後期(19世紀) | 徳川記念財団 |

「地主山御腰懸より音羽の瀧之写并広芝向之山打越
富士山遠見」

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|---|------------------|------|--------|-----------------|------------|
| | 「御鳥籠」 | | | | | |
| | 「広芝より地主山并紅葉御茶屋前之植込ねり土御腰懸より見渡」 | | | | | |
| | 「新御田御馬場御馬見所桃園之景新御茶屋之方見渡」 | | | | | |
| 221 | 徳川家茂像 | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治17年 | 徳川記念財団 |
| 222 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 223 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 224 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 225 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆、板 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 226 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 227 | 下絵 昭徳院(徳川家茂) | 川村清雄筆 | 1枚 | 紙、鉛筆 | 明治17年頃 | 東京都江戸東京博物館 |
| 228 | 徳川家定像 | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治25年 | 徳川記念財団 |
| 229 | 徳川吉宗像 | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治25年 | 徳川記念財団 |
| 230 | 將軍肖像 | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治25年 | 徳川記念財団 |
| 231 | 徳川慶喜像 | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治中期 | 徳川記念財団 |
| 232 | 古写真 徳川慶喜(肖像写真複写) 川村清雄旧蔵 | | 1枚 | ガラス、湿板 | | 東京都江戸東京博物館 |
| 233 | 徳川家達像(徳川家達幼年期肖像) | 川村清雄筆 | 1面 | 板、油彩 | 明治時代(19世紀) | 徳川記念財団 |
| 235 | 撮影記録(1)「四ツ板写真種板記 明治二十六年」 (2)「双眼器機種板記 明治三十八年三月ヨリ」 | | 5冊 | 紙本墨書 | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 236 | 古写真「麦刈」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 237 | 古写真 麦田小切り | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 240 | 古写真 稲刈り | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 241 | 古写真「俵結」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 242 | 古写真「安倍川鉄橋上り列車進行中之図」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 243 | 古写真 安倍川鉄橋下り列車 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 244 | 古写真「大里踏切ヨリ安倍川橋ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 245 | 古写真 安倍川河川敷 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 246 | 古写真「楊土川ヨリ河合新田ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 247 | 古写真 揚土橋 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 248 | 古写真 大崩海岸 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 249 | 古写真「興津海水浴場前涼場」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 252 | 古写真「弁天島ヨリ舞坂ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 253 | 古写真「下島川尻」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 255 | 古写真 野崎家庭園 徳川慶喜公来臨撮影 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | P.O.P. | 明治29年 | 個人蔵 |
| 256 | 古写真「久能御山全図」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 257 | 古写真「清水港波止場」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 258 | 古写真「清水湊橋ヨリ港口ヲ望ム之景」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 259 | 古写真「三保神社鳥居前」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 260 | 古写真「静岡浅間神社裏門内之景」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 261 | 古写真「浅間神社裏門前」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 262 | 古写真「静岡浅間神社大拜殿」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 263 | 古写真 浅間神社稚児舞楽 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | P.O.P. | 明治29年頃 | 個人蔵 |
| 264 | 古写真「臨濟寺」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 265 | 臨濟寺写真帖 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治28年4月頃 | 臨濟寺 |
| 266 | 「大龍山」額 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹本墨書 | 明治初期~28年 | 臨濟寺 |
| 267 | 東照大権現像 | 徳川慶喜題字・ 吉田柳蹊筆 | 1幅 | 絹本着色 | 江戸後期~明治初期(19世紀) | 臨濟寺 |
| 268 | 書「松竹秀而整」 | 徳川家茂筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 安政~慶応2年頃 | 臨濟寺 |
| 269 | 正親町天皇御宸翰 | | 1幅 | 紙本墨書 | 桃山時代(16世紀) | 臨濟寺 |
| 270 | 螺鈿卓 | | 1台 | | 明時代(17世紀) | 臨濟寺 |
| 271 | 静岡県指定文化財 千鳥図屏風 | | 六曲一双 | 紙本金地着色 | 桃山時代(16世紀) | 臨濟寺 |
| 272 | 南蛮文箱 | | 1箱 | | 江戸時代(17~18世紀)頃 | 臨濟寺 |
| 273 | 誕生仏 | | 1體 | | | 臨濟寺 |
| 274 | 蜀紅縫敷物 | | 1枚 | | | 臨濟寺 |

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|------------------|--------|----|--------|-----------|---------|
| 275 | 古写真 中根幸(胸像) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 276 | 古写真 新村信(胸像) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 277 | 古写真 中根幸(座像) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 278 | 古写真 新村信(座像) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 279 | 古写真 御女中 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 281 | 古写真 御女中 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 283 | 古写真 慶久 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 284 | 古写真 誠 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 285 | 古写真 精 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 286 | 古写真 糸子 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 287 | 古写真 国子 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 288 | 古写真 徳川厚・里子夫妻 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 289 | 古写真 松平斉・浪子夫妻 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治26~30年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 290 | 古写真 徳川家達・厚・達孝・達道 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治30年2月9日 | 茨城県立歴史館 |
| 291 | 古写真 くちなしの実 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 292 | 古写真 野崎家盆石 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | P.O.P. | 明治29年頃 | 個人蔵 |
| 293 | 古写真「蘭二種」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治26~30年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |

四章 徳川慶喜家の誕生

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-------|-----------------------------|----------------------------|-------|----------|---------------|-----------|
| 294 | 古写真 有栖川宮威仁親王 | W.&D.Downey | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治38年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 295 | 古写真 徳川慶喜(還暦) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治30年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 297 | 古写真「巢鴨邸内」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙、着色 | 明治30~34年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 299 | 徳川慶喜日記 | 徳川慶喜筆 | 3冊のうち | 紙本墨書 | 明治31~45年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 300 | 古写真 戸定邸の庭で遊ぶ子供たち | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治31年5月8日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 303 | 古写真 戸定邸秋庭の間 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治31年5月8日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 304 | 古写真 常陸山 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治31年5月27日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 305 | 戸定邸日誌 | | | 紙本墨書 | | 松戸市戸定歴史館 |
| 306 | 古写真 徳川慶喜(立像) | 小川一真撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治33~39年 | 茨城県立歴史館 |
| 307 | 辞令(麝香間紙候) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治33年6月22日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 307-1 | 参省命令書 | | 1通 | 紙本墨書 | 明治33年6月21日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 309 | 古写真「庭ヨリ中奥建物ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治34~大正2年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 311 | 古写真 徳川慶喜(立像・有爵者大礼服) | 小川一真撮影 | 1枚 | | 明治35年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 312 | 太刀 銘一 徳川慶喜献上 | | 1口 | | 鎌倉初期(12~13世紀) | 東京国立博物館 |
| 313 | 参内命令書(公爵授爵) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治35年6月2日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 314 | 伝達書(太刀嘉納の件) | | 1通 | 紙本墨書 | 明治35年7月7日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 315 | 慶喜祝賀会合作の書 | 慶喜、家達、家正、慶久筆/昭武、達孝、達道、双幅厚筆 | | 紙本墨書 | 明治35年 | 徳川記念財団 |
| 316 | 古写真 徳川慶喜公爵受爵記念 | H.F. SATOW 撮影 | 1枚 | P.O.P. | 明治35年 | 茨城県立歴史館 |
| 317 | 書「宝祚万々歳」 「宝祚之隆盛当与天壤無窮者矣」 | 徳川慶喜筆 | 双幅 | 純本墨書 | 明治35年頃 | 渋沢史料館 |
| 318 | 古写真 徳川慶喜(胸像・有爵者大礼服) | 小川一真撮影 | 1枚 | | 明治35年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 319 | 徳川慶喜 | 伊東函嶺筆 | 1面 | キャンバス、油彩 | 明治39年 | 国立歴史民俗博物館 |
| 320 | 古写真 徳川慶喜(胸像) | 中島待乳撮影 | 1枚 | | 明治41年~大正2年 | 松戸市戸定歴史館 |
| 323 | 書「静観」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 絹本墨書 | 明治30年代以降 | 国立歴史民俗博物館 |
| 328 | 書「不枉義以從邪 不易言以求生」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 明治30年代以降 | 松戸市戸定歴史館 |
| 329 | 「心如水」額 | 徳川慶喜筆 | 1面 | 絹本墨書 | 明治10年代頃 | 個人蔵 |
| 330 | 書「山静松声遠 秋清泉気香」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 明治30年代以降 | 鈴木与平氏蔵 |
| 332 | 楽茶碗 | 徳川慶喜書・昭武作陶 | 1口 | 陶製 | 明治時代(20世紀) | 松戸市戸定歴史館 |
| 334 | ミニマムホルモス ステレオカメラ | ツァイス氏 | 1台 | | | 久能山東照宮博物館 |
| 335 | 古写真 女性集合写真(渋沢邸) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治38年5月8日 | 茨城県立歴史館 |
| 336 | 古写真 芸者(渋沢邸) | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治38年5月8日 | 茨城県立歴史館 |
| 337 | 古写真 徳川慶喜(写真撮影中) | 徳川昭武撮影 | 1枚 | 鶏卵紙 | 明治38年4月28日 | 茨城県立歴史館 |

| No. | 作品名 | 作者名 | 員数 | 材質 | 制作年 | 所蔵 |
|-----|--------------------------|------------------|---------|-------------------|------------------------------|-------------|
| 338 | 古写真 松戸町角町 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治38年4月28日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 341 | 古写真 隅田川花見 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治38年4月15日 | 松戸市戸定歴史館 |
| 343 | 徳川慶喜撮影写真帖 | 徳川慶喜撮影 | 1冊 | | 明治40年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 345 | 古写真「福島県郡山駅前市街之景」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 346 | 古写真「翁島御庭ヨリ御本館ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 347 | 古写真「翁島御本館并ニ噴水」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 348 | 古写真「翁島御別邸ニ於ケル威仁親王」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 349 | 古写真「翁島御別邸ニテモンベイ姿」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 350 | 古写真「翁島御別邸ニテモンベイ姿」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 351 | 古写真「翁島御別邸噴水」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 352 | 古写真「翁島御別邸吾妻家」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 353 | 古写真「翁島御別邸御庭ヨリ磐梯山ヲ望ム」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 354 | 古写真「翁島御別邸ヨリ猪苗代湖ノ眺望」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 355 | 古写真「会津飯盛山登山道」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治42年8月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 356 | 古写真「銚子大清楼ヨリノ眺望」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治43年4月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 357 | 古写真「銚子大清楼ヨリノ眺望」 | 徳川慶喜撮影 | 1枚 | | 明治43年4月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 358 | パノラマカメラ | | 1台 | | 1905年頃 | 久能山東照宮博物館 |
| 360 | 「華影」 | | | コロタイプ印刷 | 明治36年2月、明治36年9月、 明治36年12月 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 362 | 和刻本「資治通鑑」 | | 294冊のうち | 木版墨摺 版行 津・有造館 | 嘉永2年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 363 | 「万葉集略解」 | | 20冊のうち | 木版墨摺 版元 永楽屋東四郎 | 寛政8年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 364 | 「武功雑記」 | | 1冊 | 木版墨摺 発行 青山清吉 | 明治36年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 365 | 「逸史」 | 中井積善著 | 13冊のうち | 木版墨摺 版元 加賀屋善蔵 | 嘉永元年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 366 | 「四書訓蒙輯疏」 | 安部井袈著 | 30冊のうち | 木版墨摺 版元 出雲寺文次郎 | 嘉永元年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 367 | 「日本外史」 | 頼山陽著 | 22冊のうち | 木版墨摺 版元 須原屋茂兵衛 | 文政12年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 368 | 「享保漫録」 | | 10冊 | 紙本墨書 | | 静岡市立清水中央図書館 |
| 369 | 「新伊勢物語」 | 徳川斉昭著 | 8冊 | 紙本墨書 | 弘化2～嘉永6年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 370 | 「童蒙易知柄底集」 | 松下隼人著 | 1冊 | 紙本墨書 | 寛延4年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 371 | 「天下茶屋真伝記」 | | 1冊 | 紙本墨書 | | 静岡市立清水中央図書館 |
| 372 | 「省斎遺稿」 | 平山省斎著 平山成信編／発 | 2冊 | | 明治32年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 373 | 「青淵先生七十寿祝賀記念号」 | | 1冊 | 発行 龍門社 | 明治43年 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 374 | 「昔夢会筆記」 | 徳川慶喜述・ 渋沢栄一編 | 3冊 | | 大正4年4月 | 静岡市立清水中央図書館 |
| 378 | 書「日本橋」 | 徳川慶喜筆 | 1幅 | 紙本墨書 | 明治44年 | 東京都公文書館 |
| 381 | 古写真 ダイムラーと安藤運転手 | S.Umeda 梅田撮影 | 1枚 | | 大正元年11月 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 384 | 古写真 徳川慶喜・喜久子 | S.Umeda 梅田撮影 | 1枚 | | 大正元年7月17日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 386 | 勲記(勲一等旭日桐花大綬章) | | 1通 | | 大正2年11月22日 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 388 | 勲一等旭日桐花大綬章副章 | | | | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 389 | 徳川慶喜葬儀写真アルバム | | 1冊 | | 大正2年11月30日 | 茨城県立歴史館 |
| 392 | 絵葉書「故徳川將軍慶喜御葬列実況」 | | 10枚 | 青木書店発行 | 大正2年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 393 | 絵葉書「故徳川慶喜公葬列紀念絵葉書」 | | 6枚 | 松本幸盛堂発行 | 大正2年頃 | 茨城県立歴史館 |
| 394 | 新聞スクラップ(慶喜死亡記事) | | 4冊 | | 大正2年頃 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 397 | 「徳川慶喜公歌集」 | | 1冊 | 木版 | 大正5年9月 | 国立歴史民俗博物館 |
| 398 | 板木「徳川慶喜公歌集」 | | 5枚のうち | | 大正5年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 399 | 徳川慶喜肖像写真アルバム | | 1冊 | | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 400 | 「徳川慶喜公伝」(特装版) | | 8冊 | | 大正7年 | 徳川慶朝氏蔵 |
| 401 | 「徳川慶喜公伝稿本」 | | 55冊 | | | 徳川慶朝氏蔵 |
| 参考9 | 「徳川慶喜公伝」献呈奉告式「龍門雑誌」第355号 | | 1枚 | | 大正6年11月22日 | 渋沢史料館 |
| 402 | 古写真 徳川慶喜(座像) | 小川一真撮影 | 1枚 | P.O.P. | 明治40年頃 | 茨城県立歴史館 |

2-5 テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展

会期：1月2日(木)～3月30日(日)

概要：20世紀を代表する画家の一人として、世界中で高い人気を誇るマルク・シャガール(1887-1985)。宙を舞うカップルや動物、現実離れた鮮烈な色彩など、その幻想的な絵画の数々は多くの美術ファンを魅了している。その一方で、シャガールは第二次世界大戦後の後半生、歌劇場や美術館、ヨーロッパ各地の大聖堂、大学、議会などの公共空間を飾るモニュメント(記念碑的作品)も手がけている。大空間を飾るそれらの作品は、壁画や天井画、ステンドグラス、陶板画、モザイク画、タピスリーなど多彩な技法と形式によるもので、60歳を越してなお、新たな方法で巨大なスケールの作品に挑み続けた、その旺盛な制作意欲と才能には驚くべきものがある。本展では、華やかなパリ・オペラ座の天井画をはじめ、メッセ大聖堂のステンドグラス等、代表的なモニュメントにかかわるシャガールの活動を、下絵やスケッチのほか、関連する絵画・版画作品、舞台衣装など日本初公開163点を含む計236点の作品で紹介した。

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、静岡日仏協会、静岡リビング新聞社、K-mix

特別協賛：セキスイハイム東海

観覧料：一般 1,300円(1,100円)
大高生・70歳以上 900円(700円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※前売一般に限り、ペアチケットも販売した(2枚1組2,000円)。

観覧者数：57,591人(有料45,134人、無料12,457人、有料率78.36%)

出品点数：236点

印刷物：

1)チラシ

<仕様>紙：ユーライト 90kg
サイズ・加工・数量：A3変形 (297mm×525mm・仕上
A4) 変形巻き三つ折り仕上 85,000部

2)ポスター

<仕様>紙：マットコート 135kg (B1)
ユーライト 135kg (B2・B3)
サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 2,600部
(うち400枚はJR帯つき)



チラシ表



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>

通常版 212×277mm、358頁／豪華版 214×283mm、546頁



カタログ表紙
(通常版・豪華版共通)

カラー図版 (通常版：331点 豪華版：333点)

参考図版(通常版：カラー105点、モノクロ61点、豪華版：カラー149点、モノクロ72点)

ジャン＝ルイ・ブラット「自由と希望」

メレット・メイヤー「あらゆる時の広がり、誠実に、根差しつつ」

佐藤幸宏「イメージの伽藍－シャガールのモニュメント」

佐藤幸宏「天空の花束－パリ・オペラ座の天井画」

穂積利明「リンカーン・センター内、メトロポリタン・オペラハウスの大壁画について」

福地大輔「イジスとシャガール」

穂積利明「[ダフニスとクロエ]の物語」

ユリス・エック＝コキール「バレエ[ダフニスとクロエ]について」
クリスティーン・ヴァーガス「[ダフニスとクロエ]の舞台衣装－オペラ座と芸術家たち」

小川かい「バレエ[火の鳥]」

小川かい「オペラ[魔笛]」

佐藤幸宏「サーカス－祝祭空間としての夢」

シルヴィ・フォレストイエ「シャガールとステンドグラス」

アンブル・ゴーチエ「マルク・シャガール：下絵からモニュメンタルなスケールの作品へ」

ブノワ・マルク「シャガールとアトリエ・シモン＝マルク」

ジェローム・ブーシェ「プラトー・ドゥ・アッシイの慈悲聖母教会について」

小檜山祐幹「物語としての旧約聖書」

シルヴィ・フォレストイエ「シャガール、空と海との間で」

サンドリーヌ・コワニヤール「シャガールと陶器、不服従の情熱」

松田弘「タピスリー《平和》のモチーフと世界観」

ユリス・エック＝コキール「マルク・シャガールとタピスリー

イヴェット・コキール＝フランスとの対話」

コレット・ボナヴィア＝バリアンテ「ニース大学法学部に寄贈されたマルク・シャガールによるモザイク壁画誕生についての回想」

小川かい「シャガールが関わった主な舞台美術一覧」

メレット・メイヤー「マルク・シャガール略歴」

小川かい「シャガールが関わった主な舞台美術一覧」

メレット・メイヤー「マルク・シャガール略歴」

出品リスト/関連施設紹介/シャガールのモニュメント作品/参考文献/ 等

－以下は豪華版のみ収録－

ミカエル・ド・サン＝シェロン「シャガールとマルロー、抒情と親愛の対話」

ベラ・メイヤー「シャガールと舞台芸術」

エフゲニア・クズミナ「マルク・シャガールの絵画におけるホモ・ルーデンス」

シルヴィ・フォレストイエ「ステンドグラス・もうひとつの対話」

小檜山祐幹「旧約聖書の靈感」

エリザベス・パコウ＝レム「第二次世界大戦後のシャガールの宗教芸術」

ブノワ・コワニヤール「シャガール《紅海を渡る》の修復物語」

企画・構成：キュレイターズ、榛澤広己、ユリス・エック＝コキール

特別協力：メレット・メイヤー

編集：ユリス・エック＝コキール(キュレイターズ)、水野昌美(キュレイターズ)、エリカ・ベシャル＝エルリ、辺見海

制作協力：北海道新聞社

発行：キュレイターズ

発行年：2013年

普及ツール：1)音声ガイド

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

2)店舗置き用ミニチラシの配布

飲食店等の店舗置き用に、展覧会の内容を簡略に説明したハガキサイズのミニチラシを制作、協力店舗に配布した。

制作物：

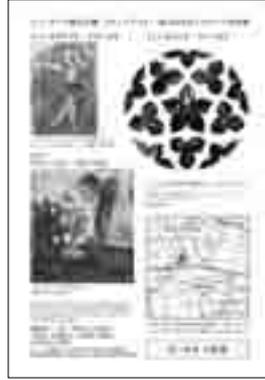
◆ミニチラシ

<仕様>紙：OKマットポスト 180kg

サイズ・数量：155mm×108mm 30,000部



チラシ表



チラシ裏

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「日本初公開含む236点 シャガール展」テレビ静岡『FNNスピーク 県内ニュース』、1月4日放送。
- ・「日本初公開作品も シャガール展」テレビ静岡『テレビ静岡スーパーニュース』、1月4日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリパルホットライン』、1月30日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ゆうラジ! Radio魂』、2月11日・18日・25日放送。
- ・「20世紀を代表する画家 シャガール展 3万人達成」テレビ静岡『てっぺん静岡 県内ニュース』、2月18日放送。
- ・「20世紀を代表する画家 シャガール展 5万人達成」テレビ静岡『てっぺん静岡 県内ニュース』、3月26日放送。

2)新聞

- ・「パリ・オペラ座天井画、ステンドグラス… 知られざるシャガールの世界」『毎日新聞』静岡版、1月4日。
- ・「日本初公開作品を含む236点で巨匠の後半生をたどる」『日本経済新聞』(夕刊)全国版、2月6日。
- ・「音楽家の物語 天井に舞う オペラ座天井画のための最終下絵」『毎日小学生新聞』、2月8日。
- ・「天井画・壁画など多様な作品を紹介 シャガール展」『日本経済新聞』全国版、2月16日。
- ・今井智文「3万人目は伊豆の母娘 静岡市の「シャガール展」 山本さん「オペラ座天井画下絵じっくりと」『中日新聞』静岡版、2月19日。
- ・「「シャガール展」来館3万人突破 静岡市美術館」『日本経済新聞』静岡版、2月19日。
- ・「静岡市美術館 シャガール展 30日まで」『富士ニュース』、3月6日。
- ・「シャガール展 来場者5万人突破 静岡市美術館、30日まで」『日本経済新聞』静岡版、3月27日。

3)雑誌他

- ・「パリ・オペラ座天井画、ステンドグラス…待望の「シャガール展」静岡市美術館で開催」『プラネット』、Vol.572。
- ・「日本初公開作品を含む236点! 「シャガール展」開催」『リビング静岡』、1445・1447号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『新美術新聞』、2月11日。
- ・「画家の後半生にスポット 日本初公開含む全236点」『中日ショッパー』、3月7日号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「アットエス」、「セキスイハイム東海プレミアムオーナーズクラブメールマガジン」、「artscape」、「テレビ静岡」、「クラブNikki」、「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」



1月11日 入場者1万人達成

関連事業：

1)ワークショップ「ステンドグラスの絵付けに挑戦！」

概要：シャガールも熱心に取り組んだステンドグラスを制作するワークショップ。伝統的な絵付けを初心者でも簡単に取り組めるよう工夫し、手のひらサイズへのガラスへの絵付けに挑戦した。

日時：1月12日(日)・26日(日)

いずれも 13:00-17:00

会場：多目的室 対象・参加者数：中学生以上 29人

参加料：1,500円(材料費含む)

講師：岡本喜代治氏(ステンドグラス工芸家)



2)学芸員によるスライドトーク

「シャガールでめぐる聖書の世界」

概要：当館学芸員による、聖書の世界を切り口に、作品の見どころや主題についての解説を実施。各回異なるテーマで実施した。

日時：①1月25日(土) ②2月15日(土) ③3月15日(土)

いずれも 14:00-

会場：多目的室 参加者数：計194人

内容：①「創世記」 ②イスラエル12部族、「出エジプト記」 ③「士師記」「サムエル記」、「ヨブ記」、「雅歌」、イスラエルの預言者たち



3)レクチャーコンサート「シャガールが愛した、故郷の旋律」

概要：東欧ユダヤの民族音楽「クレズマー」を、シャガールの作品を手がかりに、文化史的な背景説明を交えて生演奏で紹介。演奏の合間には、シャガール絵画にみられる音楽モチーフについてのレクチャーも行われた。

日時：1月29日(水)15:00-16:15(開場14:30)

会場：多目的室 参加者数：計150人

出演：オルケステル・ドレイデル(クラリネット・歌・レクチャー：樋上千寿、アコーディオン：松本みさこ、ドラムス：高橋延吉)

曲目：

《ラウター・クレズマー・メドレー》、《ガスン・ニグン》、《天蓋へへ天蓋から》、《手拍子のダンス》、《ドナ・ドナ(子牛のうた)》、《ドブリジェン〜シェール〜ホンガ・ブルガール》、《ニグン》、《ツァディークのパンに〜ニグン〜コロメイケ》

主要広報記録：

◆新聞

・今井智文「シャガールが愛した故郷の旋律 静岡市美術館 東欧音楽の演奏会」『中日新聞』静岡版、1月30日。

・「ユダヤ民俗音楽 「クレズマー」演奏 静岡市美術館」『静岡新聞』(夕刊)、1月31日。



4) 講演会①「シャガールーモニュメント作品をめぐる旅」

概要：本展企画者で西洋近代美術を専門とする佐藤幸宏氏を講師に迎えた。世界各地にあるシャガールのモニュメント作品を豊富なスライドで紹介した。

日時：2月22日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：85人

講師：佐藤幸宏氏(北海道立文学館学芸主幹、本展企画者)



5) 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

講演会「この1曲をとことん語る！」

概要：シャガールが衣装と舞台美術を担当したバレエ<ダフニスとクロエ>の音楽の魅力と、その作曲者モーリス・ラヴェルの人となりを紹介、一つの作品を美術と音楽の両面から鑑賞した。なお、当初予定していた講師が急病のため、講師を変更して実施した。

日時：2月23日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：57人

講師：成田麗奈氏(東京藝術大学非常勤講師)



6) 講演会②「シャガールの晩年・ユダヤの記憶」

概要：シャガール、特にユダヤからの視点での研究で知られる有木宏二氏を講師に迎え、宗教をテーマにした作品の解釈をもとに、シャガールにとってのユダヤとはどのようなものであったかを探った。

日時：3月8日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：107人

講師：有木宏二氏(京都造形芸術大学准教授)



作品リスト

※図録番号が欠番しているものは静岡会場には未出品。また図録番号1-061、1-062 は都合により不出品。
 ※※は日本初公開作品。

第1章：祝祭の空間—色彩の交響

| 通し 番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 | |
|----------|-------|--|--|---------------------------------------|-------------------------|--------------|-----|
| 1 | 1-001 | 《オペラ座》のための下絵 | 1953年 | 油彩、キャンヴァス | 35.0×27.0 | AOKIホールディングス | |
| 2 | 1-002 | パリのオペラ座 | 1953年 | 油彩、キャンヴァス | 92.0×72.5 | 個人蔵 | |
| 3 | 1-003 | オペラ座 | 1954年 | リトグラフ、紙 | 39.3×28.5 | 個人蔵 | |
| 4 | 1-005 | オペラ座天井画のための最終下絵 | 1963年 | グワッシュ、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 141.0×141.0 | 個人蔵 | |
| 5 | 1-006 | オペラ座天井画のための最終下絵 | 1963年 | グワッシュ、紙 | 140.0×140.0 | 個人蔵 | |
| * | 6 | 1-007 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | 鉛筆・墨、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 79.0×79.0 | 個人蔵 |
| * | 7 | 1-008 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | 鉛筆・墨、紙 | 径 33.3 | 個人蔵 |
| * | 8 | 1-009 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | 墨、紙 | 径 33.5 | 個人蔵 |
| * | 9 | 1-010 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | パステル・フェルトペン、紙 | 27.0×35.0 | 個人蔵 |
| * | 10 | 1-011 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | パステル・色鉛筆・墨、紙 | 32.2×25.9 | 個人蔵 |
| * | 11 | 1-012 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | パステル・フェルトペン、紙 | 35.0×27.2 | 個人蔵 |
| * | 12 | 1-013 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | インク・鉛筆・墨、紙 | 径 33.5 | 個人蔵 |
| * | 13 | 1-014 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | パステル・フェルトペン・墨・布のコラージュ、紙 | 径 33.5 | 個人蔵 |
| * | 14 | 1-015 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | パステル・フェルトペン・墨、紙 | 径 33.4 | 個人蔵 |
| * | 15 | 1-016 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | 水彩・グワッシュ・パステル・墨、紙 | 37.0×44.0 | 個人蔵 |
| * | 16 | 1-017 | オペラ座天井画のための下絵 | 1963年 | 水彩・グワッシュ・パステル・墨、紙 | 42.8×38.0 | 個人蔵 |
| * | 17 | 1-018 | オペラ座天井画のための下絵 〔白鳥の湖〕の部分 | 1963年 | 水彩・グワッシュ・パステル・クレヨン、紙 | 65.3×50.2 | 個人蔵 |
| * | 18 | 1-019 | オペラ座天井画のための下絵 〔白鳥の湖〕の部分 | 1963年 | パステル、紙 | 53.0×41.5 | 個人蔵 |
| * | 19 | 1-020 | オペラ座天井画のための下絵 〔ボリス・ゴドゥノフ〕の部分 | 1963年 | 水彩・インク・墨・鉛筆、紙 | 28.7×42.4 | 個人蔵 |
| * | 20 | 1-021 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | 水彩・墨・鉛筆、紙 | 28.6×40.5 | 個人蔵 |
| * | 21 | 1-022 | オペラ座天井画のための下絵 〔ドビュッシー「ペレアスとメリザンド」の部分〕 | 1963年 | 水彩・鉛筆・墨、紙 | 28.2×33.3 | 個人蔵 |
| * | 22 | 1-023 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | パステル、紙 | 59.0×46.0 | 個人蔵 |
| * | 23 | 1-024 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | 青インク・鉛筆、紙 | 44.8×28.5 | 個人蔵 |
| * | 24 | 1-025 | オペラ座天井画のための下絵 〔赤い天使の部分〕 | 1963年 | グワッシュ・パステル・墨、紙 | 30.5×23.5 | 個人蔵 |
| * | 25 | 1-026 | オペラ座天井画のための下絵 〔赤い天使の部分〕 | 1963年 | パステル・墨、紙 | 37.7×28.2 | 個人蔵 |
| * | 26 | 1-027 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | パステル、ボード | 32.0×28.5 | 個人蔵 |
| * | 27 | 1-028 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | 墨、ボード | 32.0×26.0 | 個人蔵 |
| * | 28 | 1-029 | オペラ座天井画のための下絵(部分) | 1963年 | パステル、ボード | 25.7×32.0 | 個人蔵 |
| 29 | 1-030 | リンカーン・センター内、メトロポリタン・オペラハウス 壁画のための下絵：音楽の勝利 | 1966年 | テンペラ・グワッシュ・コラージュ・墨、キャン ヴァスに裏打ちされた紙 | 109.0×91.5 | 個人蔵 | |
| * | 30 | 1-031 | リンカーン・センター内、メトロポリタン・オペラハウス 壁画のための下絵：音楽の勝利 | 1966年 | 鉛筆・墨、紙 | 110.0×93.0 | 個人蔵 |

版画集『ダフニスとクロエ』ロンゴス著より

| | | | | | | | |
|----|-------|-----------------------------------|--|---------|---------------------|-----------|-----|
| 31 | 1-033 | ラモーン、ダフニスを見つける | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 42.3×32.2 | 北海道立近代美術館 | |
| 32 | 1-034 | ドリュアース、クロエを見つける | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 42.0×32.0 | 北海道立近代美術館 | |
| 33 | 1-058 | ドリュアース家での食事 | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 42.1×63.5 | 北海道立近代美術館 | |
| 34 | 1-060 | ダフニスとリュカイニオ | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 41.9×31.8 | 北海道立近代美術館 | |
| 35 | 1-069 | デイオニューソファネースの到着 | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 42.3×32.2 | 北海道立近代美術館 | |
| 36 | 1-071 | メガクレースはクロエが自分の娘であることに 宴の間に気がつく | 初版1961年 | リトグラフ、紙 | 42.2×64.0 | 北海道立近代美術館 | |
| * | 37 | 1-074 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：パン | 1958年 | グワッシュ・水彩・鉛筆・コラージュ、紙 | 45.0×29.0 | 個人蔵 |
| * | 38 | 1-075 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：アイリス | 1958年 | 墨・水彩・鉛筆、紙 | 34.0×26.5 | 個人蔵 |
| * | 39 | 1-076 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：クロエ | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 34.0×24.0 | 個人蔵 |
| * | 40 | 1-077 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：女召使い | 1958年 | グワッシュ・鉛筆・コラージュ、紙 | 44.5×29.0 | 個人蔵 |
| * | 41 | 1-078 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：堅琴をもつ キューピッド | 1958年 | 水彩・色鉛筆・鉛筆・コラージュ、紙 | 19.3×14.6 | 個人蔵 |
| * | 42 | 1-079 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：漁師と溺死者 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 27.0×38.0 | 個人蔵 |
| * | 43 | 1-080 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：海賊の首領 ブリュアクシス | 1958年 | 水彩・色鉛筆・鉛筆、紙 | 45.0×28.5 | 個人蔵 |
| * | 44 | 1-081 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：フィルトン | 1958年 | 水彩・色鉛筆・鉛筆、紙 | 25.0×16.3 | 個人蔵 |
| * | 45 | 1-082 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：アポロン | 1958年 | 色鉛筆・鉛筆、紙 | 45.0×29.0 | 個人蔵 |
| * | 46 | 1-083 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：男性とバス ケットを持つ女性たち | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 32.0×49.5 | 個人蔵 |
| * | 47 | 1-084 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：アポロン、 女性、戦士 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 29.0×45.0 | 個人蔵 |
| * | 48 | 1-085 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：三人の戦士 たち | 1958年 | グワッシュ・鉛筆、紙 | 27.5×39.0 | 個人蔵 |
| * | 49 | 1-086 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：三人の人物 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 29.0×40.0 | 個人蔵 |
| * | 50 | 1-087 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：壺と若い男性 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 38.0×29.0 | 個人蔵 |

| 通し 番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 |
|----------|-------|----------------------------------|----------|--------------------------------------|-------------|-----------------------|
| * 51 | 1-088 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：二人の人物 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 41.5×28.8 | 個人蔵 |
| * 52 | 1-089 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：三人の人物 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 28.7×45.0 | 個人蔵 |
| * 53 | 1-090 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：老人 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 45.0×29.0 | 個人蔵 |
| * 54 | 1-091 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：タンバリンを持つ踊り子 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆・鉛筆、紙 | 42.0×30.0 | 個人蔵 |
| * 55 | 1-092 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：三人の踊り子 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 29.5×45.0 | 個人蔵 |
| * 56 | 1-093 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：海賊 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 44.0×31.0 | 個人蔵 |
| * 57 | 1-094 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：羊飼い | 1958年 | 水彩・パステル、紙 | 39.5×28.5 | 個人蔵 |
| * 58 | 1-095 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：馬の頭を持つ人物と戦士 | 1958年 | 水彩、紙 | 49.4×31.5 | 個人蔵 |
| * 59 | 1-096 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：若い男性 | 1958年 | グワッシュ・水彩・鉛筆・コラージュ、紙 | 34.0×23.8 | 個人蔵 |
| * 60 | 1-097 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：花束を持つ女性 | 1958年 | グワッシュ・水彩・コラージュ、紙 | 36.3×26.2 | 個人蔵 |
| * 61 | 1-098 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装デザイン：宴を準備する人々 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 26.5×38.0 | 個人蔵 |
| * 62 | 1-099 | バレエ「ダフニスとクロエ」のための舞台装飾：宴のシーン | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 45.0×29.0 | 個人蔵 |
| * 63 | 1-100 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第1幕 | 1958年 | パステル・色鉛筆、紙 | 24.5×35.0 | 個人蔵 |
| * 64 | 1-101 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台装飾のためのデザイン：第1幕 | 1958年 | グワッシュ・鉛筆・インク、紙 | 21.2×27.2 | 個人蔵 |
| * 65 | 1-102 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台装飾のためのデザイン：第1幕 | 1958年 | グワッシュ・鉛筆・インク、紙 | 27.0×21.0 | 個人蔵 |
| * 66 | 1-103 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第2幕 | 1958年 | グワッシュ・墨・鉛筆、紙 | 56.2×79.7 | 個人蔵 |
| * 67 | 1-104 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第3幕 | 1958年 | グワッシュ、紙 | 57.0×79.0 | 個人蔵 |
| * 68 | 1-105 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第3幕 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆、紙 | 26.5×35.0 | 個人蔵 |
| * 69 | 1-106 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第3幕 | 1958年 | 鉛筆、紙 | 13.5×20.5 | 個人蔵 |
| * 70 | 1-107 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：第4幕 | 1958年 | グワッシュ・水彩・墨・インク・コラージュ、紙 | 56.0×79.9 | 個人蔵 |
| * 71 | 1-108 | バレエ「ダフニスとクロエ」の舞台背景画の下絵：終幕 | 1958年 | グワッシュ・色鉛筆・コラージュ、紙 | 32.5×43.0 | 個人蔵 |
| * 72 | 1-109 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：ダフニス | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 73 | 1-110 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：クロエ | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 74 | 1-111 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：牧神パン | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 75 | 1-112 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：ニンフ | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 76 | 1-113 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：女羊飼い | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 77 | 1-114 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：女羊飼い | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 78 | 1-115 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：女羊飼い | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 79 | 1-116 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：羊飼い | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 80 | 1-117 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：海賊の頭領 | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 81 | 1-118 | バレエ「ダフニスとクロエ」の衣装：海賊 | 1959年 | 衣裳 | — | パリ国立オペラ座 |
| * 82 | 1-119 | バレエ「火の鳥」の衣装デザイン：魔王カステイ | 1945年 | グワッシュ・墨・淡彩、紙 | 43.2×35.6 | 個人蔵 |
| * 83 | 1-120 | バレエ「火の鳥」の衣装デザイン：薄紫のマスクをした怪物 | 1945年 | グワッシュ・墨・鉛筆、紙 | 43.0×35.7 | 個人蔵 |
| * 84 | 1-121 | バレエ「火の鳥」の衣装デザイン：魔物 | 1945年 | グワッシュ・鉛筆・コラージュ、紙 | 43.1×35.5 | 個人蔵 |
| * 85 | 1-122 | バレエ「火の鳥」の衣装デザイン：薄紫色の踊り子 | 1945年 | グワッシュ・墨・パステル、紙 | 43.1×35.7 | 個人蔵 |
| * 86 | 1-123 | バレエ「火の鳥」の衣装デザイン：男性 | 1945年 | グワッシュ・鉛筆、紙 | 35.0×21.3 | 個人蔵 |
| * 87 | 1-124 | オペラ「魔笛」の衣装デザイン：パパゲーノ | 1965年 | グワッシュ・水彩・墨・木炭・鉛筆、紙 | 56.0×29.8 | 個人蔵 |
| 88 | 1-125 | モーツァルトへのオマージュ | 1972年 | リトグラフ、紙 | 68.5×79.6 | 個人蔵 |
| 89 | 1-126 | 「魔笛」の思い出 | 1976年 | 油彩、キャンヴァス | 113.5×194.8 | 個人蔵 |
| 90 | 1-127 | 輪回しをする道化師 | 1966年 | 油彩、キャンヴァス | 92.0×65.0 | 個人蔵 |
| 91 | 1-128 | アルルカン | 1968-71年 | 油彩、キャンヴァス | 136.0×98.0 | 大成建設株式会社 |
| 92 | 1-129 | 柴をもつ道化師 | 1975年 | 油彩、キャンヴァス | 116.3×81.0 | 個人蔵 |
| 93 | 1-130 | グラッド・パレード | 1979-80年 | 油彩、キャンヴァス | 119.0×132.0 | 吉野石膏株式会社 (山形美術館寄託) |
| * 94 | 1-131 | 《道化師と緑の山羊》のための下絵 | 1967年 | グワッシュ・パステル・墨・布と紙のコラージュ、紙 | 37.7×27.7 | 個人蔵 |
| * 95 | 1-132 | 《アルルカン》のための下絵 | 1968-71年 | グワッシュ・色鉛筆・墨・布と紙とリトグラフのコラージュ、紙 | 28.7×22.8 | 個人蔵 |
| * 96 | 1-133 | 《想像の村》のための下絵 | 1968-71年 | グワッシュ・墨・布と紙のコラージュ、紙 | 17.3×13.2 | 個人蔵 |
| * 97 | 1-134 | 二重の横顔の曲芸師 | 1968年 | パステル、グワッシュ・墨・紙のコラージュ (ベトナムの切手)、紙 | 28.0×18.6 | 個人蔵 |
| * 98 | 1-135 | 《サーカスの登場》のための下絵 | 1968年 | 墨・グワッシュ・布と紙のコラージュ、紙 | 18.5×13.5 | 個人蔵 |
| * 99 | 1-136 | 薄紫色の背景の踊り子 | 1970年 | 水彩・墨・鉛筆・グワッシュ・布と紙のコラージュ、紙 | 32.3×25.0 | 個人蔵 |
| * 100 | 1-137 | 花柄のスカートをはいた女曲馬師 | 1970年 | 墨・鉛筆・色鉛筆・グワッシュ・布と紙のコラージュ、紙 | 16.0×16.0 | 個人蔵 |
| * 101 | 1-138 | 赤い馬に乗る女曲馬師 | 1970年 | 墨・グワッシュ・布のコラージュ、紙 | 32.0×25.5 | 個人蔵 |
| * 102 | 1-139 | 色彩豊かな女曲馬師 | 1970年 | 墨・鉛筆・パステル・グワッシュ・布と紙のコラージュ、紙 | 53.0×40.0 | 個人蔵 |
| 103 | 1-140 | サーカス | 1971年 | タピスリー | 238.0×199.0 | 個人蔵 |
| * 104 | 1-141 | オペラ座 | 1953年 | 皿、型押し成形、白色粘土、化粧掛け酸化金属による彩色、筆による部分的施釉 | 37.0×32.5 | 個人蔵 |

第2章：精神の光一祈りの造形

| 通し 番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 |
|----------|-------|---|----------|---|---------------|---|
| * 105 | 2-005 | メッセ大聖堂内陣北側書窓：シンボルに囲まれたキリスト | 1964年 | ステンドグラス | 190.0×190.0 | 現代芸術国立センター、 文化・コミュニケーション省、 パリ |
| * 106 | 2-006 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ルベンの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・鉛筆、紙 | 40.5×29.7 | 個人蔵 |
| * 107 | 2-007 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：シメオンの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 108 | 2-008 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：レビの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 109 | 2-009 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ユダの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.5×29.8 | 個人蔵 |
| * 110 | 2-010 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ゼブルンの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 111 | 2-011 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：イッサカルの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 112 | 2-012 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ダンの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 113 | 2-013 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ガドの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.5×29.8 | 個人蔵 |
| * 114 | 2-014 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：アシェル部の部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.7×29.8 | 個人蔵 |
| * 115 | 2-015 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ナフタリの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 116 | 2-016 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ヨセフの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・紙のカラー ジュ、紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 117 | 2-017 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための最終下絵：ベニヤミンの部族(第5段階) | 1960年 | グワッシュ・水彩・パステル・墨・油彩・紙 のカラージュ、紙 | 40.5×29.8 | 個人蔵 |
| * 118 | 2-018 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ルベンの部族(第1段階) | 1960年 | 石墨・墨・方眼線入りの紙 | 20.2×15.0 | 個人蔵 |
| * 119 | 2-019 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ルベンの部族(第2段階) | 1960年 | 鉛筆・墨・淡彩、紙 | 40.6×29.9 | 個人蔵 |
| * 120 | 2-020 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ルベンの部族(第3段階) | 1960年 | グワッシュ・墨・水彩、方眼線入りの紙 | 20.3×15.0 | 個人蔵 |
| * 121 | 2-021 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ルベンの部族(第4段階) | 1960年 | 水彩・墨・グワッシュ・パステル・紙のカラー ジュ、紙 | 20.4×15.1 | 個人蔵 |
| * 122 | 2-022 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ゼブルンの部族(第1段階) | 1960年 | 石墨・墨・方眼線入りの紙 | 20.4×15.1 | 個人蔵 |
| * 123 | 2-023 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ゼブルンの部族(第2段階) | 1960年 | 墨・淡彩・鉛筆、方眼線入りの紙 | 40.7×30.0 | 個人蔵 |
| * 124 | 2-024 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ゼブルンの部族(第3段階) | 1960年 | グワッシュ・墨・水彩、方眼線入りの紙 | 20.3×15.0 | 個人蔵 |
| * 125 | 2-025 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ゼブルンの部族(第4段階) | 1960年 | 水彩・墨・グワッシュ・パステル・鉛筆・紙 のカラージュ、紙 | 20.4×15.1 | 個人蔵 |
| * 126 | 2-026 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ガドの部族(第1段階) | 1960年 | 石墨・墨・方眼線入りの紙 | 20.3×15.0 | 個人蔵 |
| * 127 | 2-027 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ガドの部族(第2段階) | 1960年 | 墨・淡彩・鉛筆、紙 | 40.8×30.0 | 個人蔵 |
| * 128 | 2-028 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ガドの部族(第3段階) | 1960年 | グワッシュ・墨・鉛筆・水彩、方眼線入りの紙 | 20.3×15.0 | 個人蔵 |
| * 129 | 2-029 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ガドの部族(第4段階) | 1960年 | 水彩・グワッシュ・墨・パステル・紙のカラー ジュ、紙 | 20.4×15.1 | 個人蔵 |
| * 130 | 2-030 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ヨセフの部族(第1段階) | 1960年 | 石墨・墨・方眼線入りの紙 | 20.5×15.1 | 個人蔵 |
| * 131 | 2-031 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ヨセフの部族(第2段階) | 1960年 | 墨・淡彩・鉛筆、紙 | 40.8×30.0 | 個人蔵 |
| * 132 | 2-032 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ヨセフの部族(第3段階の第1ヴァージョン) | 1960年 | グワッシュ・墨・水彩・鉛筆、紙 | 20.4×15.0 | 個人蔵 |
| * 133 | 2-033 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ヨセフの部族(第3段階の第2ヴァージョン) | 1960年 | グワッシュ・墨・水彩・鉛筆、紙 | 20.4×15.0 | 個人蔵 |
| * 134 | 2-034 | ハダサー医療センター附属シナゴークのステンドグラス のための下絵：ヨセフの部族(第4段階) | 1960年 | 水彩・墨・グワッシュ・パステル・紙のカラー ジュ、紙 | 20.4×15.1 | 個人蔵 |
| 135 | 2-039 | 十戒の石版を授かるモーセ | 1950-52年 | 油彩、キャンヴァス | 194.5×129.0 | ジョルジュ・ボンビドゥー・ センター/パリ国立近代 美術館 |
| * 136 | 2-040 | 青いダヴィデ王 | 1967年 | 油彩、キャンヴァス | 65.0×81.0 | 個人蔵 |
| 137 | 2-041 | ダヴィデの塔 | 1968-71年 | 油彩、キャンヴァス | 117.0×90.0 | マルク・シャガール国立 美術館(ミシェル・プロ ドスキーの遺言により 1997年に寄贈) |
| 138 | 2-042 | 預言者エレミヤ | 1968年 | 油彩、キャンヴァス | 115.0×146.3 | ジョルジュ・ボンビドゥー・ センター/パリ国立近代 美術館 |
| 139 | 2-043 | 預言者イザヤ | 1968年 | 油彩、キャンヴァス | 114.0×146.0 | マルク・シャガール国立 美術館(ミシェル・プロ ドスキーの遺言により 1997年に寄贈) |
| 140 | 2-044 | ヨブ | 1975年 | 油彩、キャンヴァス | 170.0×121.0 | 個人蔵 |
| 141 | 2-045 | ファエトン | 1977年 | 油彩、キャンヴァス | 195.0×120.0 | 個人蔵 |
| * 142 | 2-046 | モーセと十戒 | 1950年 | 皿、ろくろ成形、白色粘土、化粧掛けと酸化 金属による施釉、小刀とドライポイントによる 揺落 | 30.8×25.2×2.5 | 個人蔵 |
| * 143 | 2-047 | ヤコブの夢 | 1950年 | 皿、型押し成形、着色粘土、化粧掛けと酸化 金属による施釉 | 33.2×43.0 | 個人蔵 |
| 144 | 2-048 | ダヴィデとバテシバ、二重の横顔 | 1951年 | 皿、型押し成形、白色粘土、化粧掛けと酸化 金属による彩色 | 42.0×35.0 | 個人蔵 |
| * 145 | 2-049 | 紅海を渡る | 1951年 | 皿、型押し成形、着色粘土、化粧掛けと酸化 金属による施釉 | 42.5×33.5 | 個人蔵 |

| 通し 番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 |
|----------|-------|---|----------|---|----------------|-------------------------|
| * 146 | 2-050 | 十戒の石版を授かるモーセ | 1951年 | 皿、ろくろ成形、白色粘土、化粧掛けと酸化金属による施釉、小刀とドライポイントによる揺落 | 41.0×34.0 | 個人蔵 |
| 147 | 2-051 | 月下のダヴィデとバテシバ | 1952年 | 壺、ろくろ成形、白色粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色 | 高さ 46.0×19.0 | 個人蔵 |
| * 148 | 2-052 | 紅海を渡る | 1954年 | 溶岩石、酸化金属による施釉 | 18.5×19.5 | 個人蔵 |
| * 149 | 2-053 | プラトー・ドゥ・アッシシ慈悲聖母教会の陶板画のための試作：紅海を渡る | 1956年 | 陶板画、白色粘土、酸化金属による施釉 | 59.0×39.0 | 個人蔵 |
| * 150 | 2-054 | 人類の創造 | 1959年 | 陶板画、2枚のタイル、白色粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色、彫刻、部分的に施釉 | 50.4×25.1 | 個人蔵 |
| 151 | 2-055 | モーセ | 1973年 | タピスリー | 320.0×235.0 | 個人蔵 |
| 152 | 2-061 | 《聖書》のための原画：過越の祭で食事するユダヤの人々 | 1931年 | 油彩・グワッシュ、紙 | 62.5×49.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 153 | 2-063 | 《聖書》のための原画：黄金の子牛を崇拝するユダヤの人々 | 1931年 | 油彩・グワッシュ、紙 | 61.0×48.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 154 | 2-070 | エジプトの空の上を死の天使が通っているとき、ユダヤの人々は過越のいけにえである子羊を食べる(出エジプト記第12章11-14節) | 1931-34年 | 版画原板 | 29.6×23.3 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 155 | 2-072 | ユダヤの人々に崇拝される黄金の子牛(出エジプト記第32章7-10節) | 1934-39年 | 版画原板 | 32.3×25.6 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 156 | 2-074 | ゴリアテを倒したダヴィデ(サムエル記上第17章48-51節) | 1952-56年 | 版画原板 | 32.3×25.6 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 157 | 2-075 | 主との契約で正義の治世が訪れすべての創造物は和解するとイザヤによって知らされた(イザヤ書第11章5-9節) | 1952-56年 | 版画原板 | 32.3×25.6 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 158 | 2-082 | エジプトの空の上を死の天使が通っているとき、ユダヤの人々は過越のいけにえである子羊を食べる(出エジプト記第12章11-14節) | 1934-39年 | エッチング・ドライポイント、紙 | 29.6×23.3 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 159 | 2-084 | ユダヤの人々に崇拝される黄金の子牛(出エジプト記第32章7-10節) | 1934-39年 | エッチング・ドライポイント、紙 | 29.6×23.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 160 | 2-086 | ゴリアテを倒したダヴィデ(サムエル記上第17章48-51節) | 1952-56年 | エッチング・ドライポイント、紙 | 28.4×24.3 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 161 | 2-087 | 主との契約で正義の治世が訪れすべての創造物は和解するとイザヤによって知らされた(イザヤ書第11章5-9節) | 1952-56年 | エッチング・ドライポイント、紙 | 32.3×25.6 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 162 | 2-094 | エジプトの空の上を死の天使が通っているとき、ユダヤの人々は過越のいけにえである子羊を食べる(出エジプト記第12章11-14節) | 1956-58年 | エッチング・ドライポイント・グワッシュ、紙 | 53.7×39.1 | 個人蔵 |
| 163 | 2-096 | ユダヤの人々に崇拝される黄金の子牛(出エジプト記第32章7-10節) | 1956-58年 | エッチング・ドライポイント・グワッシュ、紙 | 54.0×39.2 | 個人蔵 |
| 164 | 2-098 | ゴリアテを倒したダヴィデ(サムエル記上第17章48-51節) | 1956-58年 | エッチング・ドライポイント・グワッシュ、紙 | 53.9×39.2 | 個人蔵 |
| 165 | 2-099 | 主との契約で正義の治世が訪れすべての創造物は和解するとイザヤによって知らされた(イザヤ書第11章5-9節) | 1956-58年 | エッチング・ドライポイント・グワッシュ、紙 | 53.5×38.8 | 個人蔵 |
| 166 | 2-100 | 人類の創造 | 1956-58年 | 油彩、キャンヴァス | 55.0×33.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 167 | 2-101 | 楽園 | 1961年 | 油彩、ボード | 45.5×59.8 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 168 | 2-102 | 楽園を追われたアダムとイブ | 1961年 | 油彩・グワッシュ・コラージュ、キャンヴァス | 47.0×72.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 169 | 2-103 | ノアと虹 | 1961-66年 | 油彩、キャンヴァス | 56.5×72.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 170 | 2-104 | アブラハムと三天使 | 1961年 | 油彩、板 | 22.0×27.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 171 | 2-105 | ヤコブの夢 | 1960-66年 | 油彩、キャンヴァス | 27.0×46.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 172 | 2-106 | ヤコブと天使の戦い | 1960-66年 | 油彩、キャンヴァス | 41.0×27.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 173 | 2-107 | 燃ゆる柴の前のモーセ | 1960-66年 | 油彩、キャンヴァスに裏打ちされた紙 | 43.5×72.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 174 | 2-108 | 岩を打つモーセ | 1960-66年 | 油彩、キャンヴァス | 41.0×33.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 175 | 2-109 | 十戒の石版を授かるモーセ | 1960-66年 | 油彩、キャンヴァス | 46.0×38.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 176 | 2-114 | ノアと虹 | 1961年 | 墨・グワッシュ・紙と布のコラージュ、紙 | 31.0×42.2 | 個人蔵 |
| * 177 | 2-116 | ノアと虹 | 1961-66年 | 油彩、キャンヴァス | 24.0×35.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 178 | 2-117 | ノアと虹 | 1961-66年 | 油彩、キャンヴァス | 33.0×41.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 179 | 2-118 | ノアと虹 | 1961-66年 | 油彩・墨、キャンヴァスで裏打ちされた厚紙 | 24.0×33.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 180 | 2-119 | ソロモンの雅歌I | 1960年 | 油彩、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 46.5×72.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| 181 | 2-120 | ソロモンの雅歌II | 1957年 | 油彩、キャンヴァス | 46.0×56.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 182 | 2-121 | ソロモンの雅歌III | 1960年 | 油彩、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 48.0×59.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 183 | 2-122 | ソロモンの雅歌IV | 1958年 | 油彩、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 42.0×61.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 184 | 2-123 | ソロモンの雅歌V | 1965-66年 | 油彩、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 49.0×60.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 185 | 2-128 | ソロモンの雅歌II | 1957年 | 油彩、キャンヴァスで裏打ちされた紙 | 46.5×58.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 186 | 2-130 | 人類の創造 | 1959年 | 陶板画、6枚のタイル、白色粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色、彫刻、部分的に施釉 | 76.0×50.5 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 187 | 2-131 | サラとリベカ | 1969年 | 墨・鉛筆、紙 | 52.0×46.0 | 個人蔵 |
| * 188 | 2-132 | ラケルとレア | 1969年 | 墨・鉛筆、紙 | 52.0×46.0 | 個人蔵 |
| * 189 | 2-133 | 聖書の女性 サラとリベカ | 1969-70年 | 大理石 | 133.0×87.0×5.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |

| 通し番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 |
|-------|-------|---|----------|--------------------|----------------|-------------------------|
| * 190 | 2-134 | 聖書の女性 ラケルとレア | 1969-70年 | 大理石 | 133.0×87.0×5.0 | マルク・シャガール国立美術館(1972年寄贈) |
| * 191 | 2-135 | マルク・シャガール国立美術館のモザイクのための下絵：預言者エリヤの戦車 | 1970年 | グワッシュ・墨、紙 | 95.0×86.0 | 個人蔵 |
| * 192 | 2-136 | マルク・シャガール国立美術館のクラヴサンのための下絵：井戸のほとりのイサクとリベカ | 1980年 | グワッシュ・コラージュ・墨・鉛筆、紙 | 30.0×60.0 | マルク・シャガール国立美術館(1981年寄贈) |

第3章：南仏での安息—晩年の境地

| 通し番号 | 図録番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵 |
|-------|-------|-------------------------------|----------|---|----------------|--------------|
| 193 | 3-002 | 天蓋の花嫁 | 1949年 | 油彩、キャンヴァス | 115.0×94.0 | AOKIホールディングス |
| 194 | 3-004 | ラ・ベ通り | 1953-54年 | 油彩、キャンヴァス | 96.0×79.0 | 松岡美術館 |
| 195 | 3-007 | サン＝ボールのアトリエ | 1967年 | 油彩、キャンヴァス | 160.6×104.5 | 個人蔵 |
| 196 | 3-008 | 村の風景を前にした食卓 | 1968年 | 油彩、キャンヴァス | 100.0×72.5 | 個人蔵 |
| 197 | 3-009 | サン＝ボールの上の恋人たち | 1970-71年 | 油彩、キャンヴァス | 145.0×130.0 | 個人蔵 |
| 198 | 3-010 | 赤い背景の白と赤の花束 | 1970-75年 | 油彩、キャンヴァス | 100.0×80.7 | 個人蔵 |
| 199 | 3-011 | 花 | 1975年 | 油彩、キャンヴァス | 100.0×80.0 | 個人蔵 |
| * 200 | 3-012 | 画家と雄鶏 | 1953年 | 墨、紙 | 66.2×52.0 | 個人蔵 |
| 201 | 3-013 | 花の中の少年 | 1955年 | グワッシュ・水彩・墨、和紙 | 63.0×48.5 | 個人蔵 |
| * 202 | 3-014 | ニューヨーク国連ビルのステンドグラスのための最終下絵：平和 | 1963年 | グワッシュ・水彩・インク・鉛筆、紙 | 69.2×107.0 | 個人蔵 |
| * 203 | 3-015 | ニース大学のモザイクのための下絵：オデュッセウスの教え | 1968年 | グワッシュ・墨・鉛筆、紙 | 44.5×114.0 | 個人蔵 |
| * 204 | 3-016 | ニース大学のモザイクのための下絵：オデュッセウスの教え | 1968年 | グワッシュ・コラージュ・墨・鉛筆、紙 | 67.5×243.0 | 個人蔵 |
| * 205 | 3-017 | シャガールの手 | 1968年 | リトグラフ、紙 | 17.0×24.0 | 個人蔵 |
| 206 | 3-018 | 花と鳥 | 1950年 | 皿、型押し成形、褐色粘土、白色釉薬 | 27.0×23.0 | 個人蔵 |
| * 207 | 3-019 | 緑の山羊 | 1950年 | 皿、ろくろ成形、着色粘土、化粧掛けと酸化金属による施釉、小刀とドライポイントによる掻落 | 28.5×33.0 | 個人蔵 |
| 208 | 3-020 | 花 | 1951年 | 陶板、耐火性粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色、筆による部分的施釉 | 31.8×26.8 | 個人蔵 |
| 209 | 3-021 | 井戸のほとりの農夫 | 1952-53年 | 壺、型抜き成形、白色粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色、ドライポイントによる掻落、筆による部分的施釉 | 33.0×26.0×21.0 | 個人蔵 |
| 210 | 3-022 | 魚のある静物 | 1952年 | タイル、白化粧掛けに化粧掛けによる彩色 | 27.7×30.2 | 個人蔵 |
| 211 | 3-023 | 山羊と雄鶏 | 1952年 | 陶板、耐火性粘土、化粧掛けと酸化金属による彩色、筆による施釉 | 40.6×26.5 | 個人蔵 |
| 212 | 3-024 | 手のついた壺 | 1953年 | 壺、ろくろ成形、手練り仕上げ、着色粘土、白色釉の上に酸化金属による彩色、パラフィン加飾、小刀による掻落 | 15.5×20.0 | 個人蔵 |
| * 213 | 3-025 | 青いロバ | 1954年 | 壺、型抜き成形、化粧掛けと酸化金属による彩色、小刀とドライポイントによる掻落、筆による部分的施釉 | 31.5×22.0 | 個人蔵 |
| * 214 | 3-026 | 雄鶏 | 1954年 | 壺、型抜き成形、着色粘土、白色釉と酸化金属による彩色、小刀とドライポイントによる掻落 | 48.0×35.0×23.0 | 個人蔵 |
| * 215 | 3-027 | 恋人たちと動物 | 1957年 | 壺、型抜き成形、化粧掛けと酸化金属による彩色、化粧土の掻落 | 32.5×22.5×16.5 | 個人蔵 |
| * 216 | 3-028 | 青い背景の裸婦 | 1962年 | 皿、ろくろ成形、着色粘土、化粧掛けと酸化金属による施釉、小刀とドライポイントによる掻落 | 径40.0 | 個人蔵 |
| * 217 | 3-029 | 聖母子像(もしくは母子像) | 1952年 | ブロンズ | 67.0×37.0×25.0 | 個人蔵 |
| 218 | 3-030 | 雄鶏 | 1952年 | ブロンズ | 57.0×40.0 | 個人蔵 |
| * 219 | 3-031 | 空想の動物(ロバ／空想の馬) | 1952年 | 石膏 | 52.0×80.0×20.0 | 個人蔵 |
| 220 | 3-032 | 空想の動物(ロバ／空想の馬) | 1952年 | ブロンズ | 52.0×80.0×20.0 | 個人蔵 |
| 221 | 3-033 | 恋人たちと山羊(横たわる恋人たち) | 1952年 | 大理石 | 21.7×38.0×12.0 | 個人蔵 |
| 222 | 3-034 | 女性＝雌鳥 | 1952年 | 大理石 | 23.5×26.5×3.0 | 個人蔵 |
| * 223 | 3-035 | 彫刻柱：牛と農夫／女性と動物 | 1953年 | 大理石 | 38.5×20.0×19.0 | 個人蔵 |
| 224 | 3-036 | 自画像 | 1968-69年 | 大理石 | 61.5×38.5×16.5 | 個人蔵 |
| 225 | 3-037 | 平和 | 2001年 | タビスリー | 410.0×620.0 | 個人蔵 |
| 226 | 3-038 | 花の中の少年 | 2005年 | タビスリー | 180.0×134.0 | 個人蔵 |
| * 227 | 3-039 | 恋人たちとロバ | 1964年頃 | 白色ガラスと赤色ガラスの2枚合わせ、エッチング、部分的に施釉 | 37.3×27.0 | 個人蔵 |
| * 228 | 3-040 | 恋人たちと天使 | 1966年頃 | 白色ガラスと赤色ガラスの2枚合わせ、エッチング、グリザイユ | 24.3×27.1 | 個人蔵 |
| * 229 | 3-041 | 恋人たちと男 | 1965年頃 | ピンク色ガラスと赤色ガラスの2枚合わせ、エッチング、グリザイユ | 25.9×22.8 | 個人蔵 |
| * 230 | 3-042 | ダヴィデとバテシバ | 1966年頃 | 白色ガラス、エッチング、黄色に彩色、グリザイユ | 28.2×41.4 | 個人蔵 |
| * 231 | 3-043 | アダムとイヴと蛇 | 1965年頃 | 緑色ガラスと薄青色ガラスの2枚合わせ、エッチング、グリザイユ | 24.8×22.5 | 個人蔵 |
| * 232 | 3-044 | 二重の横顔 | 1964年頃 | 青色ガラスと白色ガラスの2枚合わせ、エッチング、グリザイユ | 18.7×11.6 | 個人蔵 |
| * 233 | 3-045 | 天使と顔 | 1964年 | 青色ガラスと白色ガラスの2枚合わせ、エッチング、グリザイユ | 26.2×39.0 | 個人蔵 |
| * 234 | 3-046 | 鳥の頭 | 1979年 | ガラス | 26.0×13.0 | 個人蔵 |

3-1 交流事業

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1) ミュージアム教室・展示解説 | 52 |
| 2) Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源 | 53 |
| 3) Shizubi シネマアワー | 55 |
| 4) ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 | 56 |
| 5) しずびオープンアトリエ | 56 |
| 6) しずびチビッコプログラム | 57 |
| 7) 暦とあそぶワークショップ | 58 |
| 8) プレゼントワークショップ | 60 |
| 9) 静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」 | 61 |
| 10) 夜店市 | 62 |

3-2 連携事業

| | |
|--------------------------------|----|
| 1) 学校との連携 | 63 |
| 2) 外部施設等との連携 | 63 |
| 3) 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業(三館共同事業) | 64 |

3. 交流事業（教育普及事業）

3-1 交流事業

1) ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。

対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生
 ＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間（共通）：

スタッフの解説30分＋自由鑑賞30分 計60分



利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

| | 幼稚園・保育園 | | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校 | | 特別支援学校・特別支援学級 | | 児童クラブ | | 展覧会合計 | |
|------------------------|---------|-------|-----|-------|-----|-------|------|-----|---------------|-----|-------|-----|-------|-------|
| | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 |
| レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 0 | 0 | 2 | 207 | 7 | 346 | 4 | 155 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 708 |
| オディロン・ルドン 夢の起源 | 1 | 89 | 0 | 0 | 11 | 446 | 5 | 166 | 0 | 0 | 1 | 33 | 18 | 734 |
| はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 38 | 1,519 | 24 | 1,045 | 5 | 112 | 0 | 0 | 5 | 63 | 3 | 92 | 75 | 2,831 |
| 没後100年 徳川慶喜 | 0 | 0 | 2 | 185 | 1 | 37 | 2 | 16 | 2 | 18 | 0 | 0 | 7 | 256 |
| シャガール展 | 0 | 0 | 9 | 408 | 19 | 409 | 7 | 196 | 3 | 34 | 1 | 28 | 39 | 1,075 |
| 計 | 39 | 1,608 | 37 | 1,845 | 43 | 1,350 | 18 | 533 | 10 | 115 | 5 | 153 | 152 | 5,604 |

計 152団体 5,604人

◆展示解説利用状況

| | 大学・専門学校 | | 生涯学習センター 生涯学習交流館 | | その他 | | 展覧会合計 | |
|------------------------|---------|-----|---------------------|-----|-----|-----|-------|-------|
| | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 |
| レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 3 | 80 | 0 | 0 | 1 | 29 | 4 | 109 |
| オディロン・ルドン 夢の起源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 | 1 | 7 |
| はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 4 | 126 | 2 | 51 | 1 | 20 | 7 | 197 |
| 没後100年 徳川慶喜 | 3 | 80 | 4 | 137 | 4 | 161 | 11 | 378 |
| シャガール展 | 2 | 40 | 3 | 214 | 7 | 402 | 12 | 656 |
| 計 | 12 | 326 | 9 | 402 | 14 | 619 | 35 | 1,347 |

計 35団体 1,347人

2) Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源

概要：エントランスホールや多目的室等の交流ゾーンの開放的な空間を活かし、現代のアートシーンを紹介するShizubi Projectの第3弾。今回は、彫刻家の今村源を取り上げた。

今村氏はこれまで針金や紙など、彫刻らしからぬ素材で、浮遊感溢れる「彫刻」を制作してきた。また、森の地下に菌糸を張り巡らし、ときおり地上に姿を顕す「キノコ」の世界に深い関心を寄せ、作品世界に昇華させてきた。本展では、日用品を用いた旧作に加え、エントランスホール全体を活かしたインスタレーションなど新作を含む全11点を展示した。

会期：8月6日(火) - 10月27日(日)

会場：エントランスホール

観覧者数：120,733人

作品リスト：(すべて作家蔵)

1. 《カイトンいす・シズビ》2012年、椅子、モーター、プロペラ
2. 《サカサヒト》2003年、石膏、鉄
3. 《レイゾウコとヤカン》2003年、冷蔵庫、ヤカン、ステンレス針金
4. 《ユレルわた止》2013年、ステンレス針金、鏡、木、和紙
5. 《つくえにキノコ》2003年、机、紙、木
6. 《らせんイス》1998年、椅子、アルミ
7. 《わたしはキンシⅡ》2013年、ステンレス針金、塗料
8. 《シズビキノコ》2013年、樹脂、紙、発砲スチロール、ステンレスパイプ
9. 《スベリダイーU》1998年、滑り台
- 9' 《スベリダイーD》1998年、滑り台
10. 《カイトンつくえP.C.》2013年、机、コンピューター、USB扇風機
11. 《うちのキノコ》2010年、エポキシ樹脂、和紙

主要広報記録：

◆新聞

- ・「展覧会紹介」『産業経済新聞』(夕刊)、8月16日。
- ・「巨大キノコに驚き 静岡市美術館で企画展」『静岡新聞』(夕刊)、8月23日。
- ・南井徹「きのこをたどって6 そんなことも教えてくれる」『朝日新聞』(夕刊)、12月3日。

◆雑誌他

- ・「展覧会紹介」『SANKEI EXPRESS』8月26日号。

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「アットエス」



印刷物：

◆チラシ

<仕様>紙：ホワイトニューVマット 90kg

サイズ・加工・数量：210mm×594mm 二つ折り
(仕上A4) 30,000部



チラシ表面1



チラシ表面2



チラシ中面



カタログ：

<仕様>210×297mm、127頁



カタログ表紙

カラー図版127点

参考図版(カラー25点、モノクロ11点)

建畠哲「今村源の笑いとエレガンス」

対談 小川眞×今村源「キノコの教え」

以倉新「今村源 軽やかな彫刻とは何か」

出品作品リスト/略歴・展覧会歴/参考文献

関連事業：

◆今村源 アーティストトーク

概要：ゲストに建畠哲氏を招き、今村源氏との対談形式で行うアーティストトーク。建畠氏が今村氏に公開インタビュー形式で質問を投げかける形で進められ、展示作品を前に、作家本人から、作品に込めた意図や制作方法を聞くことができた。

日時：8月7日(水) 11:30-

会場：エントランスホール 参加者数：16人

ゲスト：建畠哲氏(京都市立芸術大学学長)

著者：今村源

監修：静岡市美術館

執筆：建畠哲(京都市立芸術大学学長)、以倉新(当館学芸課長)

対談：小川眞(農学博士・菌類学)

編集：以倉新・伊藤鮎(当館学芸員)

編集協力：ギャラリーノマル、姫野希美・柏崎春奈(株式会社赤々舎)

写真撮影：今村源、表恒匡、東泰秀、金子治夫、小杉善和、桜井ただひさ、高嶋清俊、畠山崇、原久子、早川宏一、福永一夫、山本紉、ギャラリーノマル

翻訳：クリストファー・ステイヴンズ

アートディレクション：林聡(株式会社ノマル)

デザイン：芝野健太(株式会社ノマル)

発行者：姫野希美

発行所：株式会社赤々舎

印刷・製本：株式会社オノウエ印刷



アーティストトーク



第1部 記念対談



第2部 記念ライブ

◆記念対談&ライブ

概要：記念対談と記念ライブによる二本立て。対談では、過去作品から通じる“笑いとエレガンス(優雅さ)”というキーワードを軸に、今村氏の作品の魅力を考察、三者による活発な議論が展開された。第二部では、コンテンポラリー・ミュージック・ユニットの.es (ドットエス)による、キノコ作品を囲むように座る観客の間を移動しながらの即興演奏が行われた。

日時：9月1日(日)

<第1部>記念対談 14:00-15:30(開場 13:30)

<第2部>記念ライブ 16:00-17:00

会場：<第1部>多目的室 <第2部>エントランスホール

参加者数：のべ111人

対談者/出演者：

<第1部>今村源氏(美術家)、建畠哲氏(京都市立芸術大学学長)、以倉新(当館学芸課長)

<第2部>.es (ドットエス)

◆作品集刊行記念対談/静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業
ミュージアム・カフェ・トーク「キノコの教え」

概要：作品集刊行記念の対談。出品作家の今村源氏と農学博士の小川眞氏が、作品の重要なモチーフである「キノコ」について、それぞれの見地から語り合った。

日時：9月21日(土) 14:00-16:00(開場13:30)

会場：多目的室 参加者数：33人

ゲスト：今村源氏(美術家)、小川眞氏(農学博士・菌類学/元森林総合研究所キノコ科長)

司会：以倉新(当館学芸課長)



3)Shizubi シネマアワー

(1)シズオカ×カンヌウィーク2013連動企画

Shizubi シネマアワー vol.8 「猫」

概要：「レオナルド・フジタとパリ」展にあわせ、猫を愛し、その姿を描いた藤田にちなみ、猫が登場する映画を特集した。

日時：①5月4日(土・祝) ②6月8日(土) ③6月9日(日)

いずれも 15:00-(開場 14:30)

会場：多目的室 参加者数：①60人 ②79人 ③80人

参加料：500円

企画協力：(株)サールナートホール

上映内容：

①『ティファニーで朝食を』(1961年、アメリカ、114分)

②『ネコを探して』(2009年、フランス、89分)

③『こねこ』(1996年、ロシア、84分)



(2)Shizubi シネマアワー vol.9

『月世界旅行』&『メリエスの素晴らしき映画魔術』

概要：世界で初めての職業映画監督となった“映画の父”ジョルジュ・メリエスにまつわる2作品を同時上映。あわせて、静岡シネ・ギャラリーで使われていたフィルム映写機の一部も紹介した。

日時：12月23日(月・祝) 14:00-16:00(開場 13:30)

会場：多目的室 参加者数：81人 参加料：500円

企画協力：(株)サールナートホール

上映内容：

①『月世界旅行』(1902年/2010年、フランス、15分30秒 ※サイレント上映)

②『メリエスの素晴らしき映画魔術』(2011年、フランス、63分)



(3)Shizubi シネマアワー vol.10 「バレエ・ドキュメンタリー特集」

概要：パリ・オペラ座の天井画やバレエなどの舞台装飾を手掛けた総合芸術家としてのシャガールの姿を紹介する「シャガール展」にあわせ、バレエ関連の映画を特集した。

日時：①2月8日(土) ②2月9日(日)

いずれも 14:00-(開場 13:30)

会場：多目的室 参加者数：①89人 ②92人 参加料：500円

企画協力：(株)サールナートホール

上映内容：

①『パリ・オペラ座のすべて』(2009年、フランス、160分)

②『バレエ・リュス 踊る喜び、生きる喜び』(2005年、アメリカ、118分)



4)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

第7回「絵本を聴く」

概要：テレビやラジオでブロードキャスターとして活躍中のピーター・バラカン氏が案内役を務めるトークシリーズの第7弾。「はじめての美術 絵本原画の世界2013」展にあわせ、絵本編集者・土井章史氏をゲストに、出品作品から海外の絵本まで、読み聞かせをしながら、その魅力について語った。

日時：10月20日(日) 14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：93人 参加料：500円

案内人：ピーター・バラカン氏(ブロードキャスター)

ゲスト：土井章史氏(トムズボックス代表、絵本編集者)



5)しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展示会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。

(1)「ルドンの“色”とあそぼう！」

概要：「オディロン・ルドン 夢の起源」展にあわせ、ルドンの作品の中にも登場する夢の世界の「生き物」をパステルで描き、ルドンの制作手法の理解につなげた。

日時：8月1日(木) - 18日(日) ※5日(月)は休館

いずれも ①13:30- ②15:00-

(各回約1時間、計17日間・34回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計323人(各回定員15人)

参加料：200円(材料費含む)

主要広報記録：

◆雑誌

・「ルドンの“色”とあそぼう！ しずびオープンアトリエ」『プラネット』、Vol.561。



(2)シャガール展

概要：「シャガール展」にあわせ、シャガールも熱心に取り組んだステンドグラス作品をモチーフに、ステンドグラス風の絵を描いた。完成した作品は太陽にかざし、見え方の違いを楽しんだ。

日時：2月3月の毎週土・日曜日

※2月22日(土)、23日(日)は除く ①13:30- ②15:00-

(各回約1時間、計16日間・32回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計418人(各回定員15人)

参加料：200円(材料費含む)



6)しずびちピッコプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性に迫っている。市内保育支援団体の協力を得て実施。(保護者は要観覧券)

(1)「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」

概要：フジタの作品の特徴である、細く繊細な墨線と刷毛先を生かした表現で、「自分の顔」を詳細に観察して描いた。

日時：5月25日(土) ①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計22人

参加料：子ども1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・「上手に描けたかな 静岡市美術館 子どもが自画像に挑戦」『静岡新聞』、5月26日。



(2)「オディロン・ルドン 夢の起源」

概要：近似色や補色の関係とその効果を活かしながら、ルドンの「黒」の作品をソフトパステルで彩色した。

日時：7月27日(土) ①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計23人

参加料：子ども1人につき500円



(3)「はじめての美術 絵本原画の世界2013」

概要：展覧会出品作品の『いちごばたけの ちいさなおばあさん』を読み聞かせた後、作品同様“キャンバスボード”にアクリル絵具の薄塗りで、絵本の世界を一枚に凝縮した作品を描いた。

日時：10月6日(日)、13日(日)

いずれも ①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計42人

参加料：子ども1人につき500円



(4)「没後100年 徳川慶喜」

概要：徳川慶喜の人となりや葵の紋の意味を知った後、シルクスクリーン技法で自分の“紋”を転写した手ぬぐいを作った。

日時：11月23日(土・祝) ①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計21人

参加料：子ども1人につき500円



(5)「シャガール展」

概要：オープンアトリエの内容を未就学児向けにアレンジ。配色検討のためのコラージュを踏まえてOHPフィルムに彩色、シャガールの下絵に描き足しを行い、ステンドグラス風の絵を描いた。

日時：3月21日(金・祝) ①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計24人

参加料：子ども1人につき500円



7) 暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

(1) 暦とあそぶワークショップ vol.4

「こどもの日だ！家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」

概要：端午の節句の由来を知り、会場内に展示した昔の鯉のぼりを鑑賞した後、各自鯉のぼりのデザインを検討。現在では家族の姿にも例えられる鯉のぼりを、キャンバス生地を支持体に制作した。

日時：4月28日(日)13:00-16:30

会場：多目的室

対象・参加者数：小学生とその親 12組33人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆テレビ

・「端午の節句を前に こいのぼり作りに挑戦」テレビ静岡『FNN テレビ静岡スーパーニュース』、4月28日放送。

◆新聞

・「空に舞えマイこいのぼり 静岡市美術館 戦前の実物参考に」『静岡新聞』、4月29日。



(2) 暦とあそぶワークショップ vol.5

「七夕の準備をしよう」

概要：古来より伝わる七夕の由来・歴史を学び、七夕関連作品を鑑賞した後、昔の七夕飾りの象徴でもある「梶の葉」や「紙衣」に着想を得たオリジナル七夕飾りを制作した。

日時：6月29日(土)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 24人

参加料：1人につき500円



(3) 暦とあそぶワークショップ vol.6

「節分の準備をしよう！」

概要：最初に節分本来の意味を学んだ後、会場内に展示した鬼を描いた大津絵を鑑賞。制作では、各図様をまねつつも、一部の物を描き変えた“効能のある”大津絵風の鬼を描き、また「描表装」を鬼図の周囲に施し、騙し絵風に仕上げた。

日時：①子ども編 1月18日(土)13:00-16:30

②大人編 1月25日(土)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生 23人 ②中学生以上 13人

参加料：いずれも 1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・「願い込め鬼描く 静岡でワークショップ 表情、模様…丁寧に 克服したいこと盛り込む」『週刊 YOMO っと静岡』、2月2日。



子ども編



大人編

(4) 暦とあそぶワークショップ vol.7

「ひな祭りだ！オリジナル“つるし飾り”をつくろう」

概要：ひな祭りの歴史や、国内各地に伝わるひな飾りについてのレクチャーの後、当館で考案した針を使わず、短時間で制作可能な「オリジナルつるし飾りキット」を用いて、伝統的な飾り物をそれぞれの意味や由来を確認しながら制作した。親子編では、オリジナルの意味をこめた飾りも考案し制作した。

日時：①親子編 2月22日(土)13:00-16:30

②大人編 2月23日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生とその親 12組25人

②中学生以上 22人

参加料：いずれも 1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・「美博なう つるし飾りを作ろう 静岡市美術館」『朝日新聞』（夕刊）東京本社版、1月22日。



親子編



大人編

8) プレゼントワークショップ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにし、プレゼントを作る、という行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「作って、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1) プレゼントワークショップ vol.8

「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：母子揃って、それぞれの母との思い出を図案化し、シルクスクリーンでパターンを作るように摺り、手ぬぐいを制作した他、版画作品として紙にもプリントした。16:00に2世代同時にそれぞれの母へ、手紙を添えてプレゼントした。

日時：5月12日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：母子(子どもは小学生以上) 10組22人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆テレビ

・「母の日に手ぬぐい作り プレゼント」NHK静岡放送局『県内ニュース』、5月12日放送。



(2) プレゼントワークショップ vol.9

「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：父子揃って、それぞれの父との思い出を、絵巻のような連続した絵とことばで綴った「絵本」を制作、16:00に2世代同時にそれぞれの父へプレゼントした。その後、3世代が揃ったところで父親を主人公とした絵本の読み語りも行った。

日時：6月16日(日)13:00-16:30 **会場：**多目的室

対象・参加者数：父子(子どもは小学生以上) 9組19人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆テレビ

・「きょうは「父の日」 思い出を絵本にしてプレゼント」静岡放送『静岡新聞ニュース』、6月16日放送。

・「父の日に手作りの絵本プレゼント」NHK静岡放送局『県内ニュース』、6月16日放送。

◆新聞

・「「パパ大好き」絵本で感謝 子→父→祖父プレゼント 静岡市美術館」『静岡新聞』、6月17日。



(3) プレゼントワークショップ vol.10

「クリスマスの準備をしよう」

概要：子ども編では、クリスマスの由来を解説した後、願い事をこめた大きなオリジナル「くつした」を制作した。大人編では、クリスマスの歴史や日本への伝来等を解説した後、昨年度小学生を対象に実施した内容を大人向けにアレンジし、「オリジナルアドベントカレンダー」を制作した。

日時：①子ども編 12月7日(土)13:00-16:30

②大人編 12月14日(土)13:00-16:30

会場：①多目的室 ②ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生 23人 ②中学生以上 20人

参加料：いずれも 1人につき500円(材料費含む)



子ども編



大人編

9) 静岡大学連携事業

「静岡大学アートマネジメント力育成事業」

概要：文化庁の「平成25年度大学を活用した文化芸術推進事業：静岡大学アートマネジメント力育成事業」(3年間の継続助成事業)の「アートマネジメント実習B(美術分野)」に参画し、受講生とともに地域に縁ある作家を紹介する展覧会を企画、市内6施設で同時開催した。なお、同講座の実習は音楽、美術、舞踏、演劇の4分野で行われ、全体で44名が受講、うち美術分野は19名が参加した。

実施期間：10月1日(火)～3月31日(月)

主要広報記録：

◆新聞

・「アートで地域活性化 イベント運営人材育成 静岡大、文化施設と連携」『静岡新聞』、9月6日。

(1)「めぐりアート静岡 ワタシとアートは／きっとどこかで／つながっている」

概要：上記実習の成果として、市内6会場で今を生きる8人の作家を紹介する展覧会を開催した。受講生有志により、各会場をスムーズにめぐってもらうための「めぐりマップ」も制作された。

会期：3月4日(火)～3月23日(日)

会場：①当館エントランスホール・多目的室 ②サールナートホール ③ギャラリー・とりこ ④Gallery PSYS ⑤静岡県立美術館 ⑥GALLERY UDONOS(スノドカフェ)

来場者数：35,998人(6会場合計)

出品作家：①松澤有子/寛有子 ②Wilfrido S.A. Gonzales ③深澤孝史 ④鈴木まさこ ⑤奥中章人・大橋史人 ⑥持塚三樹(※丸囲み数字は展示場所)

出品リスト(当館展示分のみ記載)：

1. 松澤有子《そらいろに透く》2014年、和紙・染料・ワセリン
2. 寛有子《compendium of seasonal words》2013年、白麻紙、顔彩
3. 寛有子《穏やかな日々のために》2014年、布、刺繍糸、粘土、木材、キルト芯、絵絹、顔彩
4. 寛有子《水は方円の器に従う》2013年、紙、顔彩

印刷物：◆チラシ(A3二つ折り、仕上A4)

◆めぐりマップ(A3三回折り、仕上A5)

主要広報記録：

◆新聞

・「郷土ゆかりの作家が創作 静岡6会場でアート展」『静岡新聞』(夕刊)、3月14日。

記録集：

<仕様>A4判(297×210mm)、32頁



表紙

ごあいさつ/展覧会趣旨/作家紹介/会場と展示/実習記録 等

編集：白井嘉尚、平野雅彦

印刷：松本印刷

デザイン：氏デザイン

写真：遠藤幸廣、サカタヤスノ、加藤和夫、新澤一平

発行：国立大学法人 静岡大学



チラシ表面



めぐりマップ 仕上



めぐりマップ表面



めぐりマップ裏面



チラシ裏面

(2)「めぐりアート静岡」展関連事業

松澤有子 作品制作ワークショップ

概要：当館の展示作家の1人、松澤有子氏による出品作品の一部を制作するワークショップを開催。参加者は、静岡にちなんだ今回の新作のコンセプトや作家の創作の様子に親しく触れ、作品の理解を深めた。

日時：2月2日(日)・11日(火・祝) いずれも13:00-16:00

会場：多目的室 参加者数：のべ50人



(3)「めぐりアート静岡」展関連事業

アーティスト・トーク

概要：当館の展示作家2名によるアーティスト・トーク。作品のコンセプトや作品に込めた思いなどが語られた。なお、同日サールナートホールおよびギャラリーとりこでも展示作家によるトークが行われた。

日時：3月4日(火)13:00-17:00 会場：多目的室

参加者数：20人

参加アーティスト：松澤有子、寛有子

コーディネーター：以倉新(当館学芸課長)

作品展示風景



10)夜店市

概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」に出店し、「オディロン・ルドン 夢の起源」展、「はじめての美術 絵本原画の世界2013」展のチケットを販売し、美術館の広報に努めた。

日時：8月16日(金)・17日(土)・18日(日)

いずれも 16:00-21:00

場所：葵区紺屋町名店街「札幌かに本家」前「小梳神社」側

販売物：①「オディロン・ルドン 夢の起源」展 当日券

②「はじめての美術 絵本原画の世界2013」展前売券

※チケット購入者には、スピードくじを実施した。

印刷物：

◆うちわ

<仕様>

サイズ：直径185mm 縦275mm 柄付き

印刷：両面オフセット4色印刷 ニス引き

枚数：10,000枚



うちわ 表



うちわ 裏

3-2 連携事業

1)学校との連携

(1)ミュージアム教室・展示解説

※52頁を参照。

2)外部施設等との連携

(1)展示解説

※52頁を参照。

(2)生涯学習事業等への協力

(a)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業

「しずび出前講座」

概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は座学4講座6回、ワークショップ3講座を実施した。

<講座>

①「美術史講演会～文学と美術のものがたり」

概要：「名のある風景、名のない山水」、「池大雅と与謝蕪村－国宝「十便十宜画冊」を読む」、「東山魁夷 名作のできるまで」の3回連続講座を通じ、文学と美術双方にまたがる話題を提供。「巨匠の眼川端康成と東山魁夷」展のプレ講座とした。

日時：1月25日(土)・2月1日(土)・2月8日(土)

いずれも 13:30-15:00

会場：長田生涯学習センター 参加者数：計92人

講師：吉田恵理(1月25日・2月1日)、山本香瑞子(2月8日)

②「北斎と広重」

概要：「富士山」「東海道」など風景版画や花鳥画など、2人が描いた共通の題材の作品を比較しながら江戸時代の旅ブームや浮世絵を紹介した。

日時：1月29日(水)10:00-12:00

会場：北部生涯学習センター 参加者数：48人

講師：大石沙織

③「日本一の山 富士山を描いた絵師たち」

概要：富士山の歴史的展開や、富士山を描いた絵師についての美術講演会。霊山としての富士山の表現、写実的表現で描かれた富士山など、時代を追って様々な表現を概観した。

日時：2月8日(土)14:00-16:00

会場：葵生涯学習センター 参加者数：14人

講師：吉田恵理

④「古美術の魅力－宗達と光琳－」

概要：古美術鑑賞入門。俵屋宗達「風神雷神図屏風」と尾形光琳「紅白梅図屏風」を中心に宗達と光琳の作品を比較し、それぞれの本質と魅力に迫った。

日時：3月15日(土)10:00-12:00

会場：南部勤労者福祉センター 参加者数：29人

講師：吉田恵理

(2)静岡大学連携事業

「静岡大学アートマネジメント力育成事業」

※61-62頁を参照。

<ワークショップ> 講師：森谷紗世、安岡真理(①～③すべて)

①「はんこでつくろ！夢デザイン」

概要：平成23年度「しずびオープンアトリエ はんこでつくろ！夢デザイン」のために制作した当館オリジナルキットをもとに実施。全6種のプログラムから2種制作した。

日時：11月16日(土)10:00-12:00

会場：駿河生涯学習センター 対象・参加者数：小学生 21人

参加料：1人200円

②「折形とあそぼう～年玉包と祝い包」

概要：平成24年度「しずびオープンアトリエ “折形”とあそぼう」のために制作した当館オリジナルキットをもとに実施。6種類の折形の中から年玉包、祝い包を体験した。

日時：12月19日(木)14:00-15:30

会場：葵生涯学習センター 参加者数：21人

参加料：1人400円

③「出張しずびチビッコプログラム『鬼の魔除けをつくろう！』」

概要：平成24年度「しずびチビッコプログラム(近江巡礼展)」の内容をもとに実施。新年を祝い、家族を守る“鬼の魔除け”をオープン陶土を用いて制作した。

日時：1月19日(日)11:00-12:30

会場：葵生涯学習センター

対象・参加者数：2歳以上の未就学児とその保護者 11組22人

参加料：1組1,000円



(3)その他施設との連携等

(a)Kids Art Project Shizuoka

概要：平成25年4月～平成26年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka 実行委員会」に参画、県内の小学校全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。なお、本年度より県内全域に事業を拡大して実施した。

実施期間：4月1日(月)～3月31日(月)

加盟館：静岡県内の美術館・博物館 計43館

対象：静岡県内の全小学生(165校・約21万人)

主要広報記録：

◆新聞

・「県内美術・博物館無料パス 児童への配布開始 実行委」『静岡新聞』、5月23日。

・橋爪充「本音インタビュー「キッズアートプロジェクトしずおか」副実行委員長 坂田芳乃氏 芸術鑑賞機会子どもにも提供 「本物」に触れる体験を」『静岡新聞』、8月16日。



(b)静岡市番町市民活動センター主催事業

「シズオカ補完計画」

概要：番町市民活動センター主催の参加型対話イベント。「人×デザイン」がテーマのワークショップでは、静岡市の中心市街地にある当館を“アートの拠点”として、人々が交流するなかでどう活かし、人々に影響を与えていけるかなど、まちづくりにおける美術館の可能性についても検討が行われた。

日時：12月8日(日)12:00～17:40

会場：多目的室

参加者数：45人 参加料：300円

ゲスト：黒沢脩氏(元静岡県立大学非常勤講師)

内容：カフェトーク「理想のまち・駿府に学ぶ」(13:00～14:00)、ワークショップ(14:10～17:40)※12:00～13:00は「徳川慶喜展」を自由鑑賞。

(c)教員のための博物館の日in静岡

概要：静岡科学館る・く・るが主催した「教員のための博物館の日in 静岡」関連事業への出展協力。国立科学博物館や県内、市内の施設で実施された、学校連携事業や教材を紹介するブースにて、当館普及プログラムの一部を紹介した。

日時：9月27日(金)13:00～17:00

会場：静岡科学館る・く・る9階イベントホール・企画展示室

3)静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業(三館共同事業)

概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は以下の事業を当館で展開した。

(1)静岡音楽館AOI 第15期「子どものための音楽ひろば」

概要：静岡音楽館AOI主催の、音楽を通した幅広い経験することによって、子どもたちが自らの能力に気付くことを願い、実施される年間講座。本年度当館では計2日間の連続講座を行い、「はじめての美術 絵本原画の世界2013」展にちなんだ事業を実施した。

日時：①7月6日(土) ②10月5日(土) いずれも 13:30～16:45

会場：①静岡音楽館AOI講堂 ②当館展示室・多目的室

対象・参加者数：小学4年生～中学3年生 ①37人 ②36人



子どものための音楽ひろば 実施風景

(2)静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

ミュージアム・サロン・コンサート

※17頁を参照。

(3)静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

Shizubi Project 3 わたし死としてのキノコ 今村源 関連事業

ミュージアム・カフェ・トーク「キノコの教え」

※55頁を参照。

(4)レクチャーコンサート

「シャガールが愛した、故郷の旋律」

※44頁を参照。

(5)静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

講演会「この一曲をとことん語る！」

※45頁を参照。

4. 受託事業等

4-1 受託事業

1)「竹久夢二」展

概要：蒲原地区の祭事にあわせ、志田コレクションの優品を、夢二と同時代に建てられた国登録有形文化財の旧五十嵐邸で展示する、毎年恒例の展覧会。

会期：4月6日(土)～9日(火) **会場：**旧五十嵐邸

観覧者数：356人

展示内容：志田コレクションより

1. 竹久夢二《草に憩う女》(掛軸)
2. 竹久夢二《紙びな》(掛軸)
3. 竹久夢二原画 絵封筒・祝儀袋貼込帖
4. 書籍『夢二画集 秋の巻』
5. 書籍『夢二画集 都会の巻』
6. 竹久夢二《日記帳》
7. 版画『夢二名作集』より 「ゆるき流に」、「古歌の思出」、「花をたづねて」、「松原」、「宵待草」、「すみれ」 計7件12点

関連事業：

◆ワークショップ

概要：蒲原夢二研究会主催のワークショップ。当館より、夢二の代表的な図案および日本の伝統文様を消しゴムハンコにした、オリジナルキットの貸出を行った。

日時：4月7日(日)13:00～

会場：旧五十嵐邸2階 **対象：**小学生以上 **参加料：**200円

主要広報記録：

◆新聞

・「竹久夢二の美人画堪能 清水区・旧五十嵐邸 9日まで展示」『静岡新聞』、4月7日。



2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山ー江尻が生んだ彩色木彫の名匠」

【第1期】テーマ：現代的表現

【第2期】テーマ：能、歌舞伎

【第3期】テーマ：縁起物、雛祭り

概要：昨年度より開始した、静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品(彩色木彫35点、塑造等約35点、書2点)と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて展示した。

あわせて、本展示周知のための案内パンフレット制作のほか、専門家を招いて富山の収集品の調査も行うなど、作品保全や調査研究に努めた。

会期：【第1期】4月5日(金)～7月29日(月)

【第2期】7月30日(火)～12月2日(月)

【第3期】12月3日(火)～4月2日(水)

会場：静岡市清水文化会館マリナート 1階ギャラリー隣
平野富山常設展示コーナー

印刷物：

◆パンフレット

＜仕様＞紙：ニューVマット 48.5kg

サイズ・加工・数量：A4 三折り 10,000枚



パンフレット表



パンフレット中面

作品リスト：

【第1期】テーマ：現代的表現

1. (平野富山)《女学生》彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《筒井筒》昭和16年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《孫》昭和19年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《良寛》昭和55年、彩色木彫、静岡市
5. 平野富山《母子順風》昭和55年、彩色木彫、静岡市
6. 平野富山《顔》昭和40年代、ブロンズレリーフ、静岡市
7. 平野敬吉(富山)《しづか》※改組第6回日展出品、昭和49年、石膏、静岡市
8. 熊谷守一《猫》鉛筆素描、静岡市/平野富山コレクション
9. 熊谷守一《ちそう尊》鉛筆素描、静岡市/平野富山コレクション



【第2期】テーマ：能、歌舞伎

1. 平野富山《羽衣》昭和10年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《三番叟》昭和15年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《翁舞》昭和49年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《鏡獅子》昭和55年、彩色木彫、静岡市
5. 平野敬吉(富山)《おもがえり》※改組第4回日展出品、昭和47年、FRP、静岡市
6. 《小面》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション
7. 《邯鄲男》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション
8. 《父尉》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション



【第3期】テーマ：縁起物、雛祭り

1. 平野富山《福寿恵比寿尊像》昭和47年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《福寿大黒天尊像》昭和47年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《三輪雛》昭和55年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《吉野雛》昭和8年、彩色木彫、静岡市
5. 平野富山《欄間扇面散らし》昭和22年、彩色木彫、静岡市
6. 平野富山《吉祥天》昭和47年、彩色木彫、静岡市
7. 平野敬吉(富山)《楽園》※第7回新日展出品、昭和39年、FRP、静岡市



3) 静岡市収蔵品調査業務

概要：ラベック静岡(静岡市北部勤労者福祉センター)および静岡市民ギャラリー倉庫に保管されている静岡市の美術収蔵品の所在を「静岡市収蔵美術品一覧表」と照合・確認し、合わせて作品法量の計測、写真撮影(全図、落款印章、額裏他)、梱包作業を行った。また作品の状態が悪化しているものについては適宜必要な処置を実施したほか、調査結果を反映した目録調査の作成を行った。なお、市民ギャラリーの調査については、博物館実習生とともに行った。

実施場所・実施日：

- ①ラベック静岡 7月23日(火)
- ②静岡市民ギャラリー(静岡市北部勤労者福祉センター)
8月12日(月) - 15日(木)

4-2 その他事業

1)シズオカ×カンヌウィーク2013 連動企画

「エレーヌ・ジュグラリスと羽衣」

概要：静岡市主催の「シズオカ×カンヌウィーク2013」の連動企画として実施。能「羽衣」の上演に人生を捧げたフランス人ダンサー、エレーヌ・ジュグラリスを紹介するパネルや映像をエントランスホールにて展示・上映した。

会期：5月14日(火)～26日(日)

会場：エントランスホール 観覧者数：7,350人

上映内容：

記録映画『エレーヌへの讃歌』(モノクロ、6分25秒)

編集：伊勢長之助、撮影：八幡治夫、音楽：三木鶏郎、制作：マルセル・ジュグラリス

主要広報記録：

◆新聞

・「清水区ゆかりの仏ダンサー紹介 市美術館で功績展」『静岡新聞』、5月15日。

・平塚雄太「能「羽衣」上演に命さげ 三保松原を愛したフランスの舞踊家 ゆかりの映像を閲覧開始 静岡市美術館 日仏交流の一環で26日まで」『毎日新聞』静岡版、5月16日。



会場展示パネル

5. 調査研究・研修受入等

5-1 調査研究

平成25年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲

<雑誌・新聞等寄稿>

・「駿府に暮らして 歴史好きにはたまらない東海道往還の地」『美連協ニュース』5月号、19頁。

<その他>

・「大阪・中之島に文化施設集積 新美術館 計画が再始動 西日本で随一に」記事へのコメント、『日本経済新聞』大阪本社版、6月8日。

●以倉新

<館外での活動>

・静岡市立芦沢銈介美術館 協議会委員(8月31日)
・静岡県立美術館 専門評価員(6月13日)
・浜松市美術館 美術資料審査員(2月14日)
・静岡大学アートマネジメント力育成事業 実習B(美術分野)講師、同「めぐりアート静岡」展企画委員
・京都造形芸術大学通信教育部 博物館学芸員課程 非常勤講師(2013年4月1日-2014年3月31日)

<展覧会カタログ編集・執筆>

・「Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源」展公式カタログ監修、作家論執筆「今村源 軽やかな彫刻とは何か」『わた死としてのキノコ 今村源作品集』赤々舎、103-110頁。
・「めぐりアート静岡 ワタシとアートは きっとどこかでつながっている」展カタログ作家紹介執筆(「松澤有子 空に昇る透明な舟」「寛有子 穏やかな日々」)

●吉田恵理

<館外での活動>

・高浜市やきものの里かわら美術館 作品評価委員(2月19日)
<展覧会カタログ等編集・執筆>
・「没後100年 徳川慶喜」展カタログ編集、作品解説執筆
エッセイ(共著)「静岡市立清水中央図書館「徳川文庫」-その成立と蔵書印に関する調整報告」、エッセイ「徳川慶喜の書画に関する覚書」執筆
・「徳川慶喜公歌集」編集、翻刻、書誌執筆

●山本香瑞子

<展覧会カタログ編集・執筆>

・「レオナルド・フジタとパリ」展カタログ作品解説執筆
<雑誌・新聞等寄稿>
・山本香瑞子「藤田嗣治渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ(上)」『藤田嗣治』(1927年撮影)『静岡新聞』(夕刊)、4月17日。
・山本香瑞子「藤田嗣治渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ(中)」『2人の少女と人形』『静岡新聞』(夕刊)、4月18日。
・山本香瑞子「藤田嗣治渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ(下)」『裸婦』『静岡新聞』(夕刊)、4月19日。

●小川かい

<展覧会カタログ編集・執筆>

・「シャガール展」カタログ編集、エッセイ「バレエ「火の鳥」・「オペラ「魔笛」・「20世紀の画家と舞台美術-バレエ・リュスを中心

に」、「シャガールが関わった主な舞台美術一覧」執筆

●森谷紗世

<館外での活動>

・発表:「『新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界』展での学校連携の取り組みについて」(教員のための博物館の日in静岡)、静岡科学館くるくる、9月27日。
・「日本平動物園写生大会」審査(静岡市立日本平動物園、11月28日)

●伊藤祐

<展覧会カタログ編集・執筆>

・「Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源」展カタログ監修、対談、略歴・展覧会歴、参考文献一覧編集

●大石沙織

<展覧会カタログ等編集>

・「没後100年 徳川慶喜」展カタログ編集、慶喜署名・花押・落款・印章、徳川関係系図、年表、参考文献一覧等編集
・「徳川慶喜公歌集」編集・翻刻

●安岡真理

<館外での活動>

・「日本平動物園写生大会」審査(静岡市立日本平動物園、11月28日)
・発表:「静岡市美術館の教育普及事業について」(美術科教育指導論・後期)、静岡大学、12月16日。
<展覧会カタログ編集・執筆>
・「はじめての美術 絵本原画の世界2013」展カタログエッセイ「印刷を技法に」「絵本の手ざわり」「絵本を聴く」執筆、矢吹申彦インタビュー編集
<雑誌・新聞等寄稿>
・「絵本原画展を終えて」『静岡図書館友の会会報』(第11号)11月。

◆教育プログラム企画・制作(担当:森谷・安岡)

・「しずびちびっこプログラム」オリジナルプログラム(各展覧会・計6種)
・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計2種)
夏:「ルドルンの“色”とあそぼう!」 春:「シャガール展」
・「プレゼントワークショップ」オリジナルプログラム(計4種)
vol.8「母の日だ!2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.9「父の日だ!2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.10「クリスマスの準備をしよう」(子ども編・大人編)
・「暦とあそぶワークショップ」オリジナルプログラム(計6種)
vol.4「こどもの日だ!家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」、vol.5「七夕の準備をしよう」、vol.6「節分の準備をしよう!」(子ども編・大人編)、vol.7「ひな祭りだ!オリジナル“つるし飾り”をつくろう」(子ども編・大人編)
・展覧会オリジナルプログラム(計1種)
シャガール展関連ワークショップ「ステンドグラスの絵付けに挑戦!」

5-2 研修受入等

平成25年度に受け入れた学校・他施設等の職員研修は下記のとおりである。

1) 教員社会体験の研修受入

受入日：8月13日(火) 計1日間

研修者：会津香代(静岡市立和田島幼稚園)

研修内容：「探検マップ」の体験や、「オープンアトリエ」の補助等

2) 「職場見学」の受入

受入日：11月19日(火) 計1日間

見学者：静岡市立中島中学校1年生 5名

内容：美術館学芸員の仕事についてのインタビュー

3) 中学美術合同研修会の受入

受入日：10月31日(木) 計1日間

参加者：静岡市立城内中学校・井上教諭、静岡市立東中学校・平谷教諭、静岡大学付属中学校・山本教諭、静岡市立安東中学校・萩原教諭

内容：学校と美術館、当館展覧会スケジュールにあわせた鑑賞授業用ワークシートの素案作り等

5-3 博物館実習

平成25年度より、以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。

- ① 美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
- ② 静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。
- ③ パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
- ④ 学部3年生以上であること。(4年生を優先する)

実習期間：8月12日(月)～16日(金) 計5日間

受入大学・人数：和光大学、東京工芸大学、八洲学園大学、静岡大学 計4大学4人

実習内容：

| 実習日 | 時間 | 実施内容 |
|--------|--|---|
| 12日(月) | 10:10-10:45 11:00-11:45 13:00-16:45 | ガイダンス、職員紹介、施設案内 美術品の調査の仕方(講義) 作品調査① 於：静岡市民ギャラリー(実習) |
| 13日(火) | 10:10-10:45 11:00-11:45 13:00-16:45 | 静岡市美術館の特色について(講義) 展覧会の作り方①(講義) 作品調査② 於：静岡市民ギャラリー(実習) |
| 14日(水) | 10:10-10:45 11:00-11:45 13:00-13:45 14:00-14:45 15:00-15:45 16:00-16:45 | 静岡市美術館の教育普及活動について(講義) 美術館の展示・保存環境について(講義) 展覧会の作り方②(講義) 展示準備室の整理(実習) オープンアトリエ体験(実習) 展覧会見学(自習) |
| 15日(木) | 9:10-9:55 10:10-10:45 11:00-11:45 13:00-11:45 15:00-15:45 | 自記温湿度計の取扱い、収蔵庫清掃(実習) 展示・演出について(講義) 静岡市美術館の広報活動について(講義) オープンアトリエ補助(実習) 美術品の取扱いについて<掛軸等>(実習) |
| 16日(金) | 13:00-13:45 14:00-14:45 15:00-19:00 | 館長講話(講義) 「本実習で学んだこと」(実習生による発表) 夜店市補助(実習) |

5-4 視察等受入

平成25年度受入分は下記のとおりである。

| | 日 付 | 視察団体名 | 人数 |
|---|----------|----------------|-----|
| 1 | 5月23日(木) | 静岡市議会 生活文化委員会 | 11人 |
| 2 | 9月25日(水) | 島田市教育委員会 社会教育課 | 10人 |
| 3 | 1月24日(金) | 牧之原市 社会教育課 | 32人 |
| 4 | 1月31日(金) | 牧之原市 社会教育課 | 32人 |

(※外部施設との連携事業における展示解説分は除く。)

計 4件 85人

6. 収蔵品・図書等

6-1 収蔵品

<収蔵品点数> ●志田コレクション(竹久夢二作品及び関連資料) 381点
●その他(和田英作、石井柏亭、中川雄太郎、海野光弘等) 77点 計 458点

1)収蔵品貸出記録

◆「羽衣伝説と芸能」展

会期：11月2日(土)～12月19日(木)

会場(所在地)：静岡市文化財資料館(葵区宮ヶ崎町)

貸出内容：志田コレクションより

竹久夢二《羽衣(セノオ楽譜原画)》 計1点

◆富士山の日かんばらフェスティバル「竹久夢二と羽衣」展

概要：静岡市文化振興課より上記事業への貸出協力の相談があり、以下の作品を貸出した。

開催日：2月23日(日)10:00-15:00(※展覧会開催時間)

会場(所在地)：蒲原生涯学習交流館 1階エントランス(清水区蒲原新田)

貸出内容：志田コレクションより

竹久夢二《羽衣(セノオ楽譜原画)》、版画《女十題》より「舞姫」、「朝の光へ」、「黒猫」、「木場の娘」 計5点

主要広報記録：

◆新聞

・「富士山通じ町おこし 清水区蒲原地区15～25日にフェス 伝承、景観結び付きPR」『静岡新聞』、2月7日。

6-2 画像貸出等

1)画像貸出・掲載許可記録

◆金沢湯湧夢二館特別展「夢二と笠井彦乃」解説パネル／報告書

貸出画像：竹久夢二《日記帳》のうち27～28頁および137～138頁

貸出先：金沢湯湧夢二館

◆『三保の松原・美の世界』

貸出画像：竹久夢二《羽衣(セノオ楽譜原画)》

発行者：NPO法人三保の松原・羽衣村

発行部数：1,000部(平成22年3月に発行された冊子の増刷分)

発行日：平成26年(2014年)3月

体裁：B5判75頁

6-3 図書等

◆平成25年度図書等受入数

| | 購入 | 寄贈 | 合計 |
|----------|------|------|------|
| カタログ | 23冊 | 357冊 | 380冊 |
| 雑誌 | 46冊 | 60冊 | 106冊 |
| 一般図書・その他 | 85冊 | 365冊 | 450冊 |
| 合計 | 154冊 | 782冊 | 936冊 |

7. 広報活動

7-1 広報印刷物

1)年間スケジュール

平成25(2013)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

<仕様>紙：マットコート 110kg

サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm）45,000部(日本語版)・500部(英語版)

加工：観音折り(四つ折り)加工

印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール



表紙(仕上)



表面



中面

◆英語版年間スケジュール



表紙(仕上)



表面



中面

2)ワークショップシリーズ年間スケジュール

平成25(2013)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。なお、『デザイントレンドアーカイブVol.4』に掲載された。

<仕様>紙：片艶晒クラフト

サイズ・数量：A4(仕上A5) 20,000部

加工：二つ折り加工



表紙(仕上)



表面



中面

7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、ツイッターも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：<http://www.shizubi.jp>

- 展覧会
 - ・これからの展覧会
 - ・開催中の展覧会
 - ・年間スケジュール
 - ・過去の展覧会
- イベント
 - ・これからのイベント
 - ・今までのイベント
- ショップ&カフェ
 - ・ショップ&カフェ
 - ・アーカイブ
- 学校・団体鑑賞
- プレス
- アクセス・利用案内
 - ・アクセス/利用案内
 - ・駐車場
- 美術館の概要
 - ・館長挨拶
 - ・コンセプト
 - ・施設概要
 - ・ロゴについて
 - ・沿革
- その他(リンク)
 - ・ブログ(<http://www.shizubi.jp/blog/index.php>)
 - ・ツイッター(http://twitter.com/#!/shizubi_jp)

アクセス数：305,860件(1日平均 約838件)



7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1) テレビ・ラジオ

- ・「I Love しずおか協議会 富士山クイズラリー 静岡市中心市街地」静岡朝日テレビ『県内ニュース』、8月10日放送。
- ・「「おまち」で夏祭り」トコちゃんねる『TCNワイド』、8月13日放送。

2) 新聞

- ・「富士山グッズずらり 静岡市美術館で展示 8月まで」『静岡新聞』、6月30日。
- ・「入場100万人達成 杉山さんら家族に記念品 静岡市美術館」『静岡新聞』、9月15日。
- ・「開放的なカフェとおしゃれな静岡みやげ JR静岡駅前のミュージアムショップ&カフェ」『朝日新聞』東京本社版、12月31日。
- ・「新春展覧会に初もうで 干支、門松、富士…正月気分」『読売新聞』(夕刊)東京本社版、1月4日。

3) 雑誌

- ・「絵の具を知って古美術から探そう—静岡の科学館と美術館が連携」『Science Window』、春号。
- ・「静岡市美術館 誰もが気軽に立ち寄れる“おまち”にある美術館」『mignon』、2013年春号。
- ・「施設紹介」『日本の美術館 ベスト150 完全案内』。
- ・「施設紹介」『J.ARTS EAST』。
- ・「施設紹介」『クルマで楽しむ新東名ドライブガイド』。
- ・「施設紹介」『しずおか生活ガイドブック 2013』。
- ・「施設紹介」『旅 サライ』、8月号増刊。
- ・「富士山グッズ紹介」『ドゥ サムシング』、2013年冬号。
- ・「かわいい富士山グッズ」『Hanako』、1055号。
- ・「静岡で富士山アイテムをつくる人」『すろーかる』、1月号。
- ・「街を思う」『ORANGE PRESSE』、46号。
- ・「施設紹介」『日本の美術館 ベスト250完全案内』。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- ・「JR東海「Shupo」」、「JAF」、「The Japan Timesシテイガイド」、「キッズアートプロジェクトしずおか」、「ウォーカープラス」

5) その他

- ・「SHIZUOKA PARCHÉ STYLE」AUTUMN 2013、表紙他撮影協力。
- ・「まだまだ行っておきたいコース沿線お出かけスポット」『静岡マラソン公式プログラム』。

8. 管理運営

8-1 利用者数

1)利用者数(月別) (単位:人)

| | 展覧会 観覧者 | 展覧会関連事業 参加者 | 交流事業 参加者 | 連携事業 参加者 | その他事業 参加者 | 事業参加者 計 | 総入館者 |
|-----|------------|----------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------|
| 4月 | 3,718 | 172 | 33 | 0 | 356 | 4,279 | 15,380 |
| 5月 | 9,376 | 528 | 104 | 0 | 7,350 | 17,358 | 23,461 |
| 6月 | 9,990 | 480 | 202 | 0 | 0 | 10,672 | 25,519 |
| 7月 | 6,007 | 946 | 23 | 37 | 0 | 7,013 | 18,091 |
| 8月 | 10,267 | 219 | 26,512 | 0 | 0 | 36,998 | 29,662 |
| 9月 | 16,670 | 1,450 | 38,997 | 0 | 0 | 57,117 | 38,853 |
| 10月 | 27,715 | 3,343 | 55,842 | 36 | 0 | 86,936 | 57,177 |
| 11月 | 8,358 | 758 | 40 | 70 | 0 | 9,226 | 22,658 |
| 12月 | 6,902 | 269 | 124 | 66 | 0 | 7,361 | 18,014 |
| 1月 | 19,674 | 704 | 36 | 70 | 0 | 20,484 | 40,039 |
| 2月 | 15,146 | 1,161 | 278 | 106 | 0 | 16,691 | 31,167 |
| 3月 | 22,771 | 552 | 29,404 | 29 | 0 | 52,756 | 48,166 |
| 計 | 156,594 | 10,582 | 151,595 | 414 | 7,706 | 326,891 | 368,187 |
| 月平均 | 13,050 | 882 | 12,633 | 0 | 3,853 | 27,241 | 30,682 |

2)利用者数 事業別

| 展覧会名 | 会期 | 観覧者等 |
|---|--------------------------|-----------------------|
| 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 4月20日-6月23日 (開館57日間) | 22,451人 (362人/日) |
| 静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから | 6月29日-8月25日 (開館51日間) | 16,907人 (332人/日) |
| はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 9月14日-10月27日 (開館38日間) | 44,385人 (1,168人/日) |
| 徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜 | 11月2日-12月15日 (開館38日間) | 15,260人 (402人/日) |
| テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展 | 1月2日-3月30日 (開館76日間) | 57,591人 (758人/日) |
| 展覧会 観覧者 計 | | 156,594人 |
| 普及事業参加者 (展覧会関連事業参加者+交流事業参加者+連携事業参加者+その他事業参加者) | | 170,297人 |
| 事業参加者 総計 (展覧会観覧者+普及事業参加者) | | 326,891人 |
| 総入館者数(エントランス入口自動カウンター集計数) | 4月1日-3月31日 | 368,187人 |

3)利用者数(事業別詳細)

| 事業区分 | 事業名 | 実施期間 | 観覧者等 | | |
|--|--|---|---------------------|-------------------|--------|
| | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 |
| | | | (人) | (人) | (%) |
| 展覧会事業 | 展覧会 | | 計5本 156,594人 | | |
| | レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 4/20-6/23 | 20,000 | 22,451 | 112.3% |
| | オディロン・ルドン 夢の起源 | 6/29-8/25 | 18,000 | 16,907 | 93.9% |
| | はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 9/14-10/27 | 15,000 | 44,385 | 295.9% |
| | 没後100年 徳川慶喜 | 11/2-12/15 | 20,000 | 15,260 | 76.3% |
| | シャガール展 | 1/2-3/30 | 42,000 | 57,591 | 137.1% |
| 展覧会関連事業 | ミュージアム教室 | | 計5,604人(152団体/155回) | | |
| | レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 随時 | 708(13団体/14回) | | |
| | オディロン・ルドン 夢の起源 | | 734(18団体/18回) | | |
| | はじめての美術 絵本原画の世界2013 | | 2,831(75団体/77回) | | |
| | 没後100年 徳川慶喜 | | 256(7団体/7回) | | |
| | シャガール展 | | 1,075(39団体/39回) | | |
| | その他展示解説(※視察、外部施設との連携事業による展示解説は含まない) | | | 計1,347人(35団体/36回) | |
| | レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 随時 | 109(4団体/4回) | | |
| | オディロン・ルドン 夢の起源 | | 7(1団体/1回) | | |
| | はじめての美術 絵本原画の世界2013 | | 197(7団体/7回) | | |
| | 没後100年 徳川慶喜 | | 378(11団体/11回) | | |
| | シャガール展 | | 656(12団体/13回) | | |
| | レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 関連事業 | | | 計4本 | 352人 |
| | 特別記念講演会「レオナルド・フジタ-渡仏100周年を記念してパリに受け入れられ、賞賛を集めたフジタ」 | 4/20 | 70 | 110 | 157.1% |
| | スライドトーク&ギャラリーツアー | 4/20 | 50 | 62 | 124.0% |
| | ギャラリートーク | 5/18、6/15 | - | 80 | - |
| | 記念講演会「フジタ-第一次世界大戦直前から狂乱の20年代のパリを生き抜いた日本人画家」 | 6/1 | 70 | 100 | 142.9% |
| | オディロン・ルドン 夢の起源 関連事業 | | 計5本 | 424人 | |
| | 講演会「ルドン-幻想の起源」 | 7/6 | 70 | 92 | 131.4% |
| | ギャラリートーク | 7/14、8/4 | - | 59 | - |
| | 特別鑑賞会 | 7/19 | 60 | 66 | 110.0% |
| | 講演会「ルドンとゴッホ-魂の対話」 | 7/20 | 70 | 92 | 131.4% |
| | 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ミュージアム・サロン・コンサート | 8/10 | 100 | 115 | 115.0% |
| | はじめての美術 絵本原画の世界2013 関連事業 | | 計6本 | 1,716人 | |
| | 絵本を楽しむおはなし会 | 9/14、9/21、10/5 10/12、10/19、10/26 (計6日、全12回) | - | 830 | - |
| | だいいちテレビアナウンサーの絵本読み語り会 | 9/14 | - | 121 | - |
| | ギャラリートーク | 9/22、10/14 | - | 83 | - |
| | 講演会「子どもと絵本、大人も絵本を」 | 9/23 | 100 | 125 | 125.0% |
| | 柿木原さんの絵本ワークショップ A.「絵本とおもちゃのおはなし」 | 9/28 | 50 | 71 | 142.0% |
| | 柿木原さんの絵本ワークショップ B.「ひとつもじえほん」 | 9/29 | 40 | 44 | 110.0% |
| | 没後100年 徳川慶喜 関連事業 | | 計6本 | 393人 | |
| | 写真展「徳川慶喜の姿」 | 10/5-12/15 | - | - | - |
| | 対談「徳川慶朝氏とカフェ・トーク」 | 11/3 | 60 | 50 | 83.3% |
| | 講演会①「徳川慶喜没後100年が投げかけるメッセージ」 | 11/9 | 70 | 75 | 107.1% |
| | ギャラリートーク | 11/10、12/8 | - | 61 | - |
| | シンポジウム「徳川慶喜の油絵を読む-幕府開成所と近代洋画」 | 11/16 | 70 | 61 | 87.1% |
| | 特別鑑賞会(徳川慶喜展) | 11/21 | - | 49 | - |
| | 講演会②「『徳川慶喜公伝』編さんへの道-渋沢栄一の熱き想い」 | 11/30 | 70 | 146 | 208.6% |
| | シャガール展 関連事業 | | 計6本 | 622人 | |
| | ワークショップ「ステンドグラスの絵付けに挑戦！」 | 1/12、1/26 | 20 | 29 | 145.0% |
| 学芸員によるスライドトーク「シャガールでめぐる聖書の世界」 | 1/25、2/15、3/15 | - | 194 | - | |
| レクチャーコンサート「シャガールが愛した、故郷の旋律」 | 1/29 | - | 150 | - | |
| 講演会①「シャガール-モニュメント作品をめぐる旅」 | 2/22 | 70 | 85 | 121.4% | |
| 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 講演会「この1曲をとことん語る！」 | 2/23 | - | 57 | - | |

| 事業区分 | 事業名 | 実施期間 | 観覧者等 | | |
|------|--|-----------------------------|------|----------|--------|
| | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 |
| | | | (人) | (人) | (%) |
| | 講演会②「シャガールの晩年・ユダヤの記憶」 | 3/8 | 70 | 107 | 152.9% |
| | Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源 | | 計4本 | 120,893人 | |
| | Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源 | 8/6-10/27 | - | 120,733 | - |
| | 関連事業「今村源 アーティストトーク」 | 8/7 | - | 16 | - |
| | 関連事業「記念対談&ライブ」 | 9/1 | 50 | 111 | 222.0% |
| | 作品集刊行記念対談/静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 Shizubi Project 3 わた死としてのキノコ 今村源 関連事業 ミュージアム・カフェ・トーク「キノコの教え」 | 9/21 | 50 | 33 | 66.0% |
| | Shizubiシネマアワー | | 計6本 | 481人 | |
| | シズオカ×カンヌウィーク2013連動企画 vol.8「猫」①「ティファニーで朝食を」 | 5/4 | 70 | 60 | 85.7% |
| | シズオカ×カンヌウィーク2013連動企画 vol.8「猫」②「ネコを探して」 | 6/8 | 70 | 79 | 112.9% |
| | シズオカ×カンヌウィーク2013連動企画 vol.8「猫」③「こねこ」 | 6/9 | 70 | 80 | 114.3% |
| | vol.9 『月世界旅行』&『メリエスの素晴らしき映画魔術』 | 12/23 | 70 | 81 | 115.7% |
| | vol.10「バレエ・ドキュメンタリー特集」 ①「バリ・オペラ座のすべて」 | 2/8 | 70 | 89 | 127.1% |
| | vol.10「バレエ・ドキュメンタリー特集」 ②「バレエ・リュス 踊る喜び、生きる喜び」 | 2/9 | 70 | 92 | 131.4% |
| | ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 | | 計1本 | 93人 | |
| | 第7回「絵本を聴く」 | 10/20 | 100 | 93 | 93.0% |
| | しずびオープンアトリエ | | 計2本 | 741人 | |
| | 「ルドンの“色”とあそぼう！」 | 8/1-8/18 (計17日間・34回) | 238 | 323 | 135.7% |
| | 「シャガール展」 | 2月3月の毎週土・日曜日 (計16日間・32回) | 320 | 418 | 130.6% |
| | しずびチビッコプログラム | | 計5本 | 132人 | |
| | レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 5/25 | 20 | 22 | 110.0% |
| | オディロン・ルドン 夢の起源 | 7/27 | 20 | 23 | 115.0% |
| | はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 10/6、10/13 | 40 | 42 | 105.0% |
| | 没後100年 徳川慶喜 | 11/23 | 20 | 21 | 105.0% |
| | シャガール展 | 3/21 | 20 | 24 | 120.0% |
| | ワークショップシリーズ | | 計10本 | 224人 | |
| | 暦とあそぶワークショップ vol.4 「こどもの日だ！家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」 | 4/28 | 20 | 33 | 165.0% |
| | プレゼントワークショップ vol.8 「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」 | 5/12 | 20 | 22 | 110.0% |
| | プレゼントワークショップ vol.9 「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」 | 6/16 | 20 | 19 | 95.0% |
| | 暦とあそぶワークショップ vol.5 「七夕の準備をしよう」 | 6/29 | 20 | 24 | 120.0% |
| | プレゼントワークショップ vol.10 「クリスマスの準備をしよう」子ども編 | 12/7 | 20 | 23 | 115.0% |
| | プレゼントワークショップ vol.10 「クリスマスの準備をしよう」大人編 | 12/14 | 20 | 20 | 100.0% |
| | 暦とあそぶワークショップ vol.6 「節分の準備をしよう！」子ども編 | 1/18 | 20 | 23 | 115.0% |
| | 暦とあそぶワークショップ vol.6 「節分の準備をしよう！」大人編 | 1/25 | 20 | 13 | 65.0% |
| | 暦とあそぶワークショップ vol.7 「ひな祭りだ！オリジナル“つるし飾り”をつくろう」親子編 | 2/22 | 20 | 25 | 125.0% |
| | 暦とあそぶワークショップ Vol.7 「ひな祭りだ！オリジナル“つるし飾り”をつくろう」大人編 | 2/23 | 20 | 22 | 110.0% |
| | 静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」 | | 計3本 | 29,031人 | |
| | アートマネジメント実習B（美術分野） | 10/1-3/31 | - | 19 | - |

| 事業区分 | 事業名 | 実施期間 | 観覧者等 | | |
|------------------------------|---|---------------------------|--------------|--------|-------|
| | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 |
| | | | (人) | (人) | (%) |
| 交流事業 | 「めぐるりアート静岡」展 関連事業 松澤有子 作品制作ワークショップ | 2/2、2/11 | - | 50 | - |
| | 「めぐるりアート静岡」展 関連事業 アーティスト・トーク | 3/4 | - | 20 | - |
| | めぐるりアート静岡 「ワタシとアートは／きっとどこかで／つながっている」 | 3/4-3/23 | - | 28,962 | - |
| | その他交流事業 | | 計2本 | - | |
| | Kids Art Project Shizuoka | 通年 | - | - | - |
| | 夜店市 | 8/16-8/18 | - | - | - |
| 連携事業 | ■三館連携事業 | | 計6本 | - | |
| | 静岡音楽館AOI 第15期「子どものための音楽ひろば」① | 7/6 | 50 | 37 | 74.0% |
| | 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 ミュージアム・サロン・コンサート | 8/10 | ※展覧会関連事業欄に記載 | | |
| | 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 Shizubi project 3 わたしとしてのキノコ 今村源関連事業 ミュージアム・カフェ・トーク「キノコの教え」 | 9/21 | ※交流事業欄に記載 | | |
| | 静岡音楽館AOI 第16期「子どものための音楽ひろば」② | 10/5 | 50 | 36 | 72.0% |
| | レクチャーコンサート「シャガールが愛した、故郷の旋律」 | 1/29 | ※展覧会関連事業欄に記載 | | |
| | 静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 講演会「この1曲をとことん語る！」 | 2/23 | ※展覧会関連事業欄に記載 | | |
| | ■生涯学習センターとの連携事業 | | | | |
| | 展示解説付き講座 | | 計8本 | | |
| | 西部生涯学習センター 「絵本について」 | 10/5 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 西奈生涯学習センター 高齢者学級みのり大学 西奈学級 | 11/6 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 長田生涯学習センター 「美術館へいこう！歴史散策と慶喜展」 | 11/20 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 薬科生涯学習センター 高齢者学級みのり大学 薬科学級 | 11/28 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 大里生涯学習センター 「大里から美術館へ！歴史散策と慶喜展」 | 12/12 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 長田生涯学習センター 高齢者学級みのり大学 長田学級 | 1/10 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 東部生涯学習センター 高齢者学級みのり大学 東部学級 | 1/28 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | 大里生涯学習センター 高齢者学級みのり大学 大里学級 | 2/20 | ※展示解説の実績に含む | | |
| | しずび出前講座(講座) | | 計4本 | 183人 | |
| | 長田生涯学習センター 「美術史講演会～文学と美術のものがたり」 | 1/25、2/1、2/8 (全3日、全3回) | - | 92 | - |
| | 北部生涯学習センター 「北斎と広重」 | 1/29 | - | 48 | - |
| | 葵生涯学習センター 「日本一の山 富士山を描いた絵師たち」 | 2/8 | - | 14 | - |
| | 南部勤労者福祉センター 「古美術の魅力-宗達と光琳-」 | 3/15 | - | 29 | - |
| | しずび出前講座(ワークショップ) | | 計3本 | 64人 | |
| | 駿河生涯学習センター 「はんこでつくる！夢デザイン」 | 11/16 | - | 21 | - |
| | 葵生涯学習センター 「折形とあそぼう～年玉包と祝い包」 | 12/19 | - | 21 | - |
| | 葵生涯学習センター 「出張しずびチビッコプログラム『鬼の魔除けをつくろう！』」 | 1/19 | - | 22 | - |
| | ■静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成講座」 | | | 計3本 | |
| | アートマネジメント実習B(美術分野) | 10/1-3/31 | ※交流事業欄に記載 | | |
| | 「めぐるりアート静岡」展 関連事業 松澤有子 作品制作ワークショップ | 2/2、2/11 | ※交流事業欄に記載 | | |
| | 「めぐるりアート静岡」展 関連事業 アーティスト・トーク | 3/4 | ※交流事業欄に記載 | | |
| | めぐるりアート静岡 ワタシとアートは／きっとどこかで／つながっている | 3/4-3/23 | ※交流事業欄に記載 | | |
| | ■その他連携事業 | | 計1件 | 45人 | |
| 静岡市番町市民活動センター主催事業 「シズオカ補完計画」 | 12/8 | - | 45 | - | |

| 事業区分 | 事業名 | 実施期間 | 観覧者等 | | |
|-------|---|--|------------|------------|------------|
| | | | 目標値 (人) | 実績値 (人) | 達成率 (%) |
| その他 | 静岡市委託事業等 | | 計4件 | 7,706人 | |
| | 平成25年度 静岡市文化活動振興事業 「竹久夢二」展 | 4/6-4/9 | 500 | 356 | 71.2% |
| その他事業 | シズオカ×カヌウィーク2013 連動企画 「エレース・ジュグラリスと羽衣」 | 5/14-5/26 | - | 7,350 | - |
| | 平成25年度静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山—江尻が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】テーマ：現代的表現 【第2期】テーマ：能、歌舞伎 【第3期】テーマ：縁起物、雛祭り | 【第1期】4/5-7/29 【第2期】7/30-12/2 【第3期】12/3-4/2 | - | - | - |
| | 平成25年度静岡市文化活動振興事業 静岡市収蔵品調査業務 | 【ラベック静岡】7/23 【静岡市民ギャラリー】 8/12-8/15 | - | - | - |

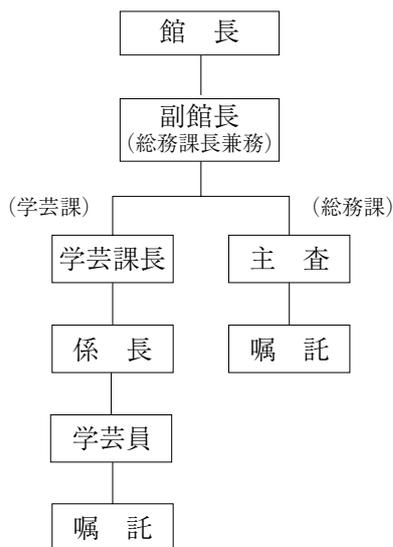
8-2 過去展覧会一覧

| | 展覧会名 | 会期 | 観覧者数 |
|---------------|---|---|-----------------------|
| ●平成22(2010)年度 | | | 計3本 93,654人 |
| 1 | 開館記念展<Ⅰ> ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ | 10月2日(土)-11月28日(日) <開館51日間> | 38,695人 (759人/日) |
| 2 | 開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜-徳川家と静岡 | 12月11日(土)-1月30日(日) <開館42日間> | 34,424人 (820人/日) |
| 3 | 開館記念展<Ⅲ> 棟方志功 祈りと旅 | 2月11日(金・祝)-3月27日(日) <開館39日間> | 20,535人 (527人/日) |
| ●平成23(2011)年度 | | | 計5本 131,904人 |
| 1 | ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新 | 4月9日(土)-6月26日(日) <開館69日間> | 16,395人 (238人/日) |
| 2 | 没後150年 歌川国芳展 | 7月9日(土)-8月21日(日) <開館38日間> 前期:7月9日(土)-31日(日) 後期:8月2日(火)-21日(日) | 30,404人 (801人/日) |
| 3 | 開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガンティーニ -光と山- | 9月3日(土)-10月23日(日) <開館44日間> | 17,806人 (405人/日) |
| 4 | 開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想 | 11月3日(木・祝)-12月25日(日) <開館46日間> | 53,136人 (1,156人/日) |
| 5 | 竹久夢二と静岡ゆかりの美術 (前期:中川雄太郎と静岡の創作版画の世界) (後期:平野富山“彩色木彫”の美) | 1月7日(土)-3月25日(日) <開館64日間> 前期:1月7日(土)-2月12日(日) 後期:2月18日(土)-3月25日(日) | 14,163人 (222人/日) |
| ●平成24(2012)年度 | | | 計6本 100,862人 |
| 1 | 森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史 | 4月7日(土)-6月10日(日) <開館57日間> | 7,976人 (140人/日) |
| 2 | 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる | 6月23日(土)-8月19日(日) <開館51日間> 前期:6月23日(土)-7月22日(日) 後期:7月24日(火)-8月19日(日) | 10,929人 (214人/日) |
| 3 | フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活 | 9月1日(土)-10月8日(月・祝) <開館38日間> | 41,258人 (1,086人/日) |
| 4 | ストラスブル美術館展 モダンアートへの招待 | 10月27日(土)-12月16日(日) <開館44日間> | 12,016人 (273人/日) |
| 5 | 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展 | 1月2日(水)-2月11日(月・祝) <開館36日間> 前期:1月2日(水)-1月20日(日) 後期:1月22日(火)-2月11日(月・祝) | 11,256人 (313人/日) |
| 6 | 新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界 | 2月23日(土)-3月31日(日) <開館32日間> | 17,427人 (545人/日) |

| | 展覧会名 | 会期 | 観覧者数 |
|---------------|---|---|-----------------------|
| ●平成25(2013)年度 | | | 計5本 156,594人 |
| 1 | 藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 | 4月20日(土) - 6月23日(日) <開館57日間> | 22,451人 (362人/日) |
| 2 | 静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから | 6月29日(土) - 8月25日(日) <開館51日間> | 16,907人 (332人/日) |
| 3 | はじめての美術 絵本原画の世界2013 | 9月14日(土) - 10月27日(日) <開館38日間> | 44,385人 (1,168人/日) |
| 4 | 徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜 | 11月2日(土) - 12月15日(日) <開館38日間> 前期: 11月2日(土) - 11月24日(日) 後期: 11月26日(火) - 12月15日(日) | 15,260人 (402人/日) |
| 5 | テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展 | 1月2日(木) - 3月30日(日) <開館76日間> | 57,591人 (758人/日) |

8-3 組織図・職員名簿

<組織図>



<職員名簿>(平成25年度)

| | |
|-------------|----------------|
| 館長 | 田中 豊稲 |
| 副館長(総務課長兼務) | 落合 廣明 |
| (総務課) | |
| 主査 | 村上 真琴 |
| 嘱託 | 良井 雅也 |
| 嘱託 | 青島 祐司 |
| 嘱託 | 内山 奈穂 |
| (学芸課) | |
| 学芸課長 | 以倉 新(近・現代美術) |
| 係長 | 吉田 恵理(日本美術) |
| 学芸員 | 山本 香瑞子(日本近代美術) |
| 学芸員 | 小川 かい(西洋美術) |
| 学芸員 | 森谷 紗世(教育普及) |
| 学芸員 | 青木 良平(西洋美術) |
| 学芸員 | 伊藤 鮎(西洋美術) |
| 学芸員 | 大石 沙織(日本史) |
| 学芸員 | 安岡 真理(教育普及) |
| 嘱託 | 大庭 千恵子(広報) |

8-4 条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

| 名称 | 位置 |
|--------|----------------|
| 静岡市美術館 | 静岡市葵区紺屋町17番地の1 |

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
- (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
- (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
- (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するもののうちから、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあつては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

| |
|---------------------------------------|
| 事業計画の理念・方針 |
| 実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表) |
| 実施体制図 |
| 特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等) |

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

| 収入 | | | 千円 |
|----|----|-------|----|
| | 科目 | 内容・数量 | 金額 |
| | | | 千円 |
| 支出 | | | 千円 |
| | 科目 | 内容・数量 | 金額 |
| | | | 千円 |

8-5 施設・建築概要

所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の1号 葵タワー3階

設置者：静岡市

構造：S造(一部RC・SRC造)

内装設計：株式会社丹青研究所

内装建築工事：株式会社木内建設

延床面積：3,393.22㎡

館内施設：

(展示関係)展示室1：209.76㎡ 展示室2：713.03㎡

展示室3：204.17㎡

天井高：4.1m-4.5m

総壁面長(可動壁含む)：290m

床荷重：500kg/㎡

ウォールケース：総長60m (エアータイト型壁面ガラスケース)

(収蔵関係)収蔵庫：141㎡ 収蔵庫前室：46㎡

(管理関係)事務室・学芸員室：179㎡ 会議室31㎡

館長室兼応接室：19㎡

(交流ゾーン)エントランスホール：612㎡ (天井高6m) 多目的室：180㎡ (天井高5m) ワークショップ室：92㎡ (天井高3m)

設備：

(電気)[本体ビル]3相3線6.6KV (地中引込方式)、非常用発電設備

(給排水)[本体ビル]給水：上水、雑用水2系統 排水：汚水、雑排水分流方式

(消火)N2ガス消火設備(展示収蔵エリア)、スプリンクラー(その他エリア)、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備(空調)[本体ビル]ガス焼き吸収冷温水機及び排熱冷温水機(熱源)、4管方式により冷温水供給

[美術館]展示室：エアハンドリングユニット(床置きコンパクト型)

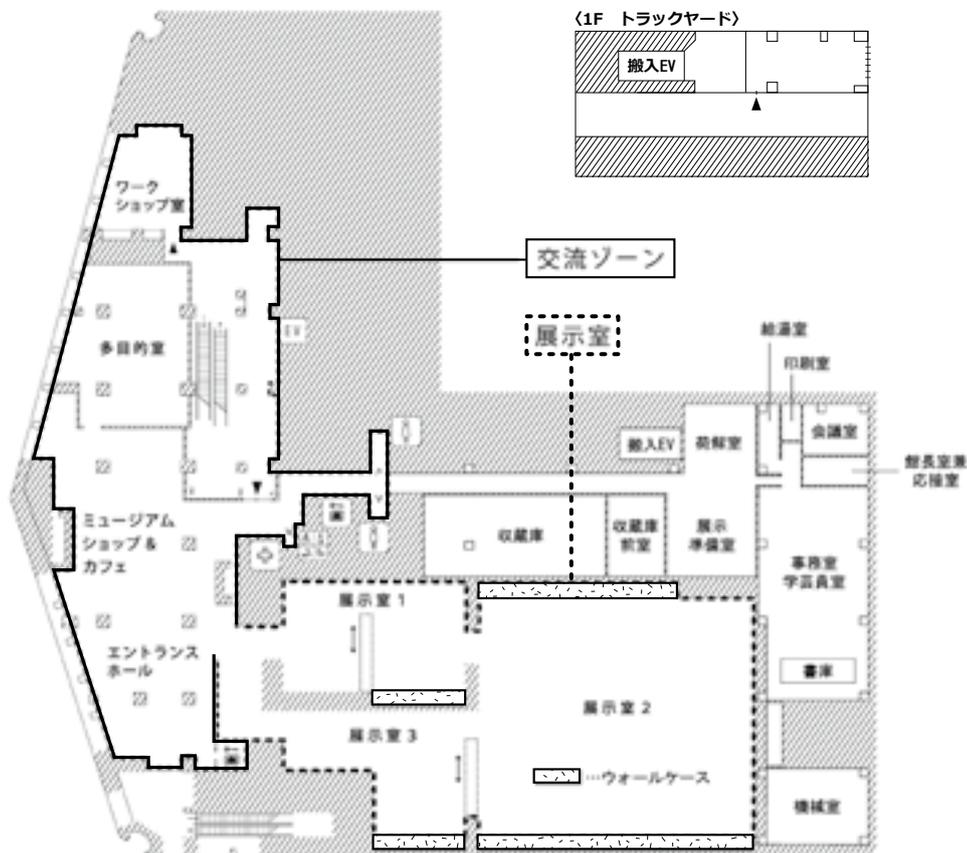
収蔵庫：空冷パッケージ(インバータ・セパレート型)エアコン

その他エリア：ファンコイルユニット

<静岡市美術館整備費内訳(単位：円)>

| | |
|---------------------------------|----------------|
| 保留床購入費 (葵タワー再開発組合からの占有床購入経費) | ¥2,461,200,000 |
| 内装・展示工事費 | ¥859,533,150 |
| (内訳)建築工事費 | ¥712,007,100 |
| 電気工事費 | ¥132,826,050 |
| 衛生工事費 | ¥14,700,000 |
| 整備費合計 | ¥3,378,123,924 |
| (内訳)まちづくり交付金(国庫補助金) | ¥1,180,000,000 |
| 市債(合併特例債) | ¥1,571,200,000 |
| 一般財源 | ¥626,923,924 |

施設見取り図



平成25(2013)年度
静岡市美術館 年報 No.4
2014年12月 発行

編集・発行 静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷 松本印刷株式会社

©Shizuoka City Museum of Art 2014

